

(様式第 10)

海大第 1080 号  
平成 28 年 10 月 25 日

厚生労働大臣

殿

北海道大学総長 山口 佳三 (印)

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
氏 名	国立大学法人北海道大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人北海道大学 北海道大学病院
---------------------

3 所在の場所

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目 電話( 011 ) 716 - 1161
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 循環器内科 3 血液内科 4 腫瘍内科 5 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 循環器外科 3 呼吸器外科 4 乳腺外科 5 小児外科 6 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
---

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 小児歯科 2 矯正歯科 3 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科
----------------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
72床	床	床	床	874床	946床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	318人	375人	693人	看 護 補 助 者	133人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	136人	130人	266人	理 学 療 法 士	14人	臨 床 検 査 技 師	78人
薬 剤 師	64人	0人	64人	作 業 療 法 士	9人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	11人	そ の 他	0人
助 産 師	30人	0人	30人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	863人	31人	894人	臨 床 工 学 士	18人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	22人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	10人
歯 科 衛 生 士	12人	0人	12人	歯 科 技 工 士	4人	事 務 職 員	286人
管理栄養士	7人	0人	7人	診 療 放 射 線 技 師	53人	そ の 他 の 職 員	160人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年6月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	55人	眼科専門医	16人
外科専門医	52人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	17人	放射線科専門医	38人
小児科専門医	35人	脳神経外科専門医	22人
皮膚科専門医	15人	整形外科専門医	32人
泌尿器科専門医	14人	麻酔科専門医	29人
産婦人科専門医	23人	救急科専門医	13人
		合 計	376人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 寶金清博 ) 任命年月日 平成25年4月1日

「リスクマネジメント委員会委員」	
ME機器管理センター部長	平成22年4月1日～
医療安全管理部長 (副病院長)	平成22年9月1日～
病院長	平成25年4月1日～現在に至る

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	763人	18人	781人
1日当たり平均外来患者数	2,323人	750人	3,073人
1日当たり平均調剤数	1139 剤		
必要医師数	212人		
必要歯科医師数	41人		
必要薬剤師数	42人		
必要(准)看護師数	494人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	940m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	10床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	222m <sup>2</sup>	病床数	6床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品 情報管理室	[専用室の場合]	床積	13m <sup>2</sup>			
	[移動式の場合]	台数	台			
化学検査室	93m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	173m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) オートクレーブ			
病理検査室	799m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 切り出し台			
病理解剖室	208m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 剖検台			
研究室	2,031m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
講義室	37m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	室数	1室	収容定員	50人
図書室	178m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	室数	4室	蔵書数	1,400冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	84.7 %	逆紹介率	48.2 %
算出根拠	A：紹介患者の数	16,477 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,739 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	649 人	
	D：初診の患者の数	20,210 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注) (現在選考中)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況 (現在選考中)

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	56	ベーチェット病	232
2	筋萎縮性側索硬化症	10	57	特発性拡張型心筋症	78
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	肥大型心筋症	60
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	47
6	パーキンソン病	244	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	102
9	神経有棘赤血球症	2	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	41
11	重症筋無力症	77	66	IgA腎症	22
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	88
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	103	68	黄色靭帯骨化症	9
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	18	69	後縦靭帯骨化症	103
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	149
17	多系統萎縮症	38	72	下垂体性ADH分泌異常症	44
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	156	73	下垂体性TSH分泌亢進症	15
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	12
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	29
21	ミトコンドリア病	15	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	146	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	91
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	257
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	24
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	14	83	アジソン病	4
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	328
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	21
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	30
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	27
34	神経線維腫症	50	89	リンパ脈管筋腫症	16
35	天疱瘡	54	90	網膜色素変性症	42
36	表皮水疱症	12	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	14	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	ステイヴンス・ジョンソン症候群	4	93	原発性胆汁性肝硬変	81
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	55	95	自己免疫性肝炎	16
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	100
42	結節性多発動脈炎	30	97	潰瘍性大腸炎	173
43	顕微鏡的多発血管炎	44	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	24	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	21	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	480	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	152	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	109	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	39	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	288	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	13	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	6	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	8
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	1	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	17	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	1
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	3	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	1	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・退院支援加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・精神疾患診療体制加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・特定集中治療室管理料4
・超急性期脳卒中加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医師事務作業補助体制加算1	・小児入院医療管理料2
・急性期看護補助体制加算(25対1)	・
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・高度難聴指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・喘息治療管理料	・国際標準検査管理加算
・糖尿病合併症管理料	・遺伝カウンセリング加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料3	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・脳波検査判断料1
・糖尿病透析予防指導管理料	・遠隔脳波診断
・外来放射線照射診療料	・脳磁図
・ニコチン依存症管理料	・神経学的検査
・がん治療連携計画策定料	・補聴器適合検査
・排尿自立指導料	・ロービジョン検査判断料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・小児食物アレルギー負荷検査
・薬剤管理指導料	・内服・点滴誘発試験
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・医療機器安全管理料1	・有床義歯咀嚼機能検査
・医療機器安全管理料2	・画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料(歯科)	・歯科画像診断管理加算1
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・歯科画像診断管理加算2
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ポジトロン断層撮影
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・遺伝学的検査	・CT撮影及びMRI撮影

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・冠動脈CT撮影加算	・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
・心臓MRI撮影加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来化学療法加算1	・腫瘍脊椎骨全摘術
・無菌製剤処理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・運動器リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん患者リハビリテーション料	・網膜再建術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・児童思春期精神科専門管理加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・精神科作業療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・医療保護入院等診療料	・経カテーテル大動脈弁置換術
・硬膜外自家血注入	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・透析液水質確保加算1	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・透析液水質確保加算2	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・磁気による膀胱等刺激法	・補助人工心臓
・手術用顕微鏡加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・CAD/CAM冠	・同種心移植術

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下小切開胃腸吻合術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術 等	・放射線治療専任加算
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下肝切除術	・高エネルギー放射線治療
・生体部分肝移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・同種死体肝移植術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・定位放射線治療
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・粒子線治療
・同種死体腎移植術	・粒子線治療適応判定加算
・生体腎移植術	・粒子線治療医学管理加算
・膀胱水圧拡張術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込・置換術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・
・輸血管理料 I	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
アレルギー疾患対策に必要なとされる疫学調査と疫学データベース作成に関する研究(分担)	今野 哲	内科 I	300,000	補 委	厚生労働省
ALK融合遺伝子陽性のⅢ期非小細胞肺癌に対する集学的治療法の開発に関する研究(分担)	大泉聡史	内科 I	2,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
リンパ脈管筋腫症に対するラパマイシン長期内服の効果と安全性評価のためのコホート調査(分担)	鈴木 雅	内科 I	300,000	補 委	日本医療研究開発機構
自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組換えGM-CSF吸入の多施設共同医師主導治験(分担)	鈴木 雅	内科 I	500,000	補 委	日本医療研究開発機構
難治性気道疾患の病態解明と個別化治療への展開	西村正治	内科 I	8,710,000	補 委	日本学術振興会
肺血管標的型多機能性エンベロープナノ構造体を用いた難治性肺疾患治療の挑戦	西村正治	内科 I	1,820,000	補 委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた肺原発肉腫様癌におけるバイオマーカー解析	大泉聡史	内科 I	1,950,000	補 委	日本学術振興会
呼吸器疾患に伴う肺高血圧症の肺血管および右心系に関する臨床病理学的検討	辻野一三	内科 I	240,000	補 委	日本学術振興会
CT所見、バイオマーカーから見た気管支喘息における上下気道の連関	今野 哲	内科 I	1,430,000	補 委	日本学術振興会
気管支擦過肺癌細胞の培養による肺癌診断と治療法の探索	菊地英毅	内科 I	1,430,000	補 委	日本学術振興会
閉塞性肺疾患の重症化に関わるエクソソームmicroRNAの同定と臨床応用	鈴木 雅	内科 I	1,820,000	補 委	日本学術振興会
閉塞性肺疾患における肺CT3次元軌道解析	清水薫子	内科 I	1,820,000	補 委	日本学術振興会
肺炎球菌の嫌気培養による病原性の変化の検討	長岡健太郎	内科 I	2,340,000	補 委	日本学術振興会
新規抗リン脂質抗体症候群モデルマウスの作成	渥美達也	内科II	3,510,000	補 委	日本学術振興会
抗リン脂質抗体症候群におけるアデノシン二リン酸(ADP)受容体を介した血栓形成機	渥美達也	内科II	1,400,000	補 委	日本学術振興会
免疫抑制剤の効果的な併用による難治性膠原病治療プロトコール作成のための研究	渥美達也	内科II	16,900,000	補 委	AMED
医学部及び医学研究科におけるグローバル化促進のための英語教育プログラム	オルガ・アメンゲアル	内科II	1,560,000	補 委	日本学術振興会
NETsによる単球分化を介した自己免疫機序の解明	坊垣暁之	内科II	1,430,000	補 委	日本学術振興会
抗リン脂質抗体症候群における補体活性化機序の関与について	奥 健志	内科II	2,210,000	補 委	日本学術振興会
2型糖尿病病態における膵β細胞量増加への治療戦略	中村昭伸	内科II	1,560,000	補 委	日本学術振興会
多発性嚢胞腎の高血圧に関わる嚢胞増悪因子の解析と治療法の解明	西尾妙織	内科II	1,430,000	補 委	日本学術振興会

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

常染色体優性多発性嚢胞腎患者の肝嚢胞に対する球状塞栓物質による治療法開発	西尾妙織	内科II	6,156,000	補委	AMED
次世代シーケンシング・ゲノムワイド関連解析を用いたC型肝炎治療に伴う肝病態進展軽快、肝発癌に関わる宿主因子の解析	坂本直哉	消化器内科	23,400,000	補委	日本医療研究開発機構
モデル動物等を用いたHCV感染病態と関連する宿主・ウイルス因子の解析と新規治療法の開発に関する研究	坂本直哉(分担者) (研究代表者:大阪大・竹原哲郎)	消化器内科	3,000,000	補委	日本医療研究開発機構
高速分子動力学法によるHCV抗ウイルス薬耐性化予測仮想アッセイシステムの構築	坂本直哉	消化器内科	1,430,000	補委	文科省
卵膜由来間葉系幹細胞の分泌する低分子生理活性物質を用いた再生医療の開発	大西俊介	消化器内科	1,800,000	補委	文科省
炎症性腸疾患に対するヒト羊膜由来間葉系幹細胞の注腸投与法の確立	大西礼造	消化器内科	400,000	補委	ノーステック財団
真菌感染症とGVHDのクロストーク	豊嶋崇徳	血液内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
GVHDによるホメオスタシス破綻のメカニズム	豊嶋崇徳	血液内科	4,550,000	補委	日本学術振興会
Ph陽性急性リンパ性白血病のチロシンキナーゼ阻害剤抵抗機序の解析と克服	近藤 健	血液内科	2,210,000	補委	日本学術振興会
テロメラーゼによるDNA二重鎖切断修復機構の解明	小野澤真弘	血液内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	豊嶋崇徳	血液内科	4,500,000	補委	厚生労働省
国内で流行するHIVとその薬剤耐性株の動向把握に関する研究	豊嶋崇徳	血液内科	2,500,000	補委	日本医療研究開発機構
移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間HLA半合致移植法の開発研究	豊嶋崇徳	血液内科	8,000,000	補委	日本医療研究開発機構
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型	遠藤知之	血液内科	1,000,000	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	遠藤知之	血液内科	500,000	補委	厚生労働省
造血幹細胞移植後の食細胞システムの再構築	橋本大吾	血液内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
新たな造血幹細胞移植法の開発:生着効率の向上を目指して	豊嶋崇徳	血液内科	700,000	補委	日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究	豊嶋崇徳	血液内科	650,000	補委	日本医療研究開発機構
人工キメラ遺伝子と肝臓特異的な輸送担体の開発を基盤とした肝臓内HBVDNA不活化を目指した新規治療法の開発	武富 紹信	消化器外科学分野 I	13,000,000	補委	日本医療研究開発機構
体外誘導免疫制御性リンパ球を用いた細胞治療による免疫寛容誘導に関する研究	山下健一郎	臓器移植医療部	5,590,000	補委	日本学術振興会
臓器不足解消を目指した画期的脂肪肝グラフト修復法の開発	嶋村剛	臓器移植医療部	1,690,000	補委	日本学術振興会
消化器癌の微小転移同定システムの臨床応用	崎浜秀康	消化器外科 I	910,000	補委	日本学術振興会

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

新規バイオマーカーAPC結合蛋白EB1の肝細胞癌発 癌進展における分子機構の解明	中西一彰	消化器外科学分野 I	1,040,000	補 委	日本学術振 興会
大腸癌浸潤・転移におけるHCG βの機能解析とその 臨床応用	本間重紀	消化器外科 I	390,000	補 委	日本学術振 興会
肝芽腫の発生・進展過程におけるDNAメチル化異常 の解明	本多昌平	消化器外科 I	2,080,000	補 委	日本学術振 興会
肝細胞癌血管内皮の多様性と新規分子標的薬への 応用	高橋典彦	手術部	650,000	補 委	日本学術振 興会
シャペロン分子により生存シグナルを増強させる画期的な肝グRAFT修復法の開発	嶋村剛	臓器移植医療部	1,820,000	補 委	日本学術振 興会
肝臓グRAFTへの移植前siRNA導入による肝炎ウイルス 再感染予防法の開発	武富紹信	消化器外科学分野 I	1,690,000	補 委	日本学術振 興会
遺伝子導入を用いずに移植片のシャペロン発現を体 外で調節する方法の開発	三野和宏	消化器外科学分野 I	1,820,000	補 委	日本学術振 興会
体外でタンパク質を発現させる画期的な心グRAFT機 能修飾法の開発	若山顕治	消化器外科 I	780,000	補 委	日本学術振 興会
血漿タンパク質LRGの翻訳後修飾に着目した膵癌早 期診断マーカーの解析	柿坂達彦	消化器外科学分野 I	910,000	補 委	日本学術振 興会
三重大学大学院医学研究科がんワクチン治療学遺伝子・免疫細胞学 難病・がん等の疾患分野の医療の実現化研究事業	平野 聡	消化器外科 II	2,000,000	補 委	厚生労働省
PHA4を標的とした膵癌バイオマーカーの探索と膵癌 新規治療法の開発	平野 聡	消化器外科 II	1,300,000	補 委	文部科学省
固形癌術前化学療法による項腫瘍免疫能誘導と術後 再発予防への個別化治療戦略	土川貴裕	消化器外科 II	1,300,000	補 委	文部科学省
プロドラッグシステムを応用した増殖型レトロウイルスに よる新規膵癌治療法の開発	平岡 圭	消化器外科 II	1,300,000	補 委	文部科学省
内視鏡外科手術修練を支援するcadaver trainingカリ キュラムの構築	七戸俊明	消化器外科 II	1,040,000	補 委	文部科学省
術中蛍光イメージングの応用による大量肝切除時の肝 不全予測法の確立	田中栄一	消化器外科 II	1,170,000	補 委	文部科学省
早期胃癌に対する新しい蛍光腹腔鏡システムを用い たセンチネルリンパ節同定法の確立	海老原裕磨	消化器外科 II	1,430,000	補 委	文部科学省
膵癌新規治療法の開発へ向けた細胞膜透過性ペプ チドの応用	中村 透	消化器外科 II	1,170,000	補 委	文部科学省
双方向インターネット通信を利用した遠隔外科教育カリ キュラム構築	倉島 庸	消化器外科 II	1,040,000	補 委	文部科学省
蛍光イメージングの応用による肝門部領域癌センチネ ルリンパ節の同定方法の確立	野路武寛	消化器外科 II	2,340,000	補 委	文部科学省
腫瘍血管特異的マーカーを標的とした次世代 肺癌治療の開発	樋田泰浩	循環器・呼吸器外科	7,150,000	補 委	日本学術振 興会
心臓手術術後の心房細動とインスリン抵抗 性との関連	新宮康栄	循環器・呼吸器外科	130,000	補 委	日本学術振 興会
悪性胸膜中皮腫細胞の細胞ストレスからの回避機構と してのRNA編集	加賀基知三	循環器・呼吸器外科	1,560,000	補 委	日本学術振 興会
マウスiPS細胞から軟骨細胞への分化制御 機能を有する糖鎖マーカーの探索	岩崎倫政	整形外科	1,430,000	補 委	日本学術振 興会

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

骨粗鬆症予防効果を有する天然物由来機能性食品の開発	高畑雅彦	整形外科	2,000,000	補委	ノーステック財団
人工膝・股関節置換術適用患者の荷重免除型トレッドミルにおける三次元歩行計測	入江 徹	整形外科	2,210,000	補委	日本学術振興会
胎児期の内分泌かく乱物質への曝露が性分化・性腺機能および第二次性徴発来に及ぼす影響:環境遺伝交互作用の解明	篠原 信雄	泌尿器科	38,284,000	補委	環境省
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	篠原 信雄	泌尿器科	299,000	補委	AMED
腫瘍血管内皮分泌たんぱくを用いた腎がんの転移予測	篠原 信雄	泌尿器科	117,000	補委	文部科学省
尿道下裂症例における思春期以降の排尿動態、内分泌環境、父性獲得能に関する研究	守屋 仁彦	泌尿器科	1,560,000	補委	文部科学省
インシデント報告、ニアミス報告を利用した高信頼性手術チームの醸成に関する研究	安部 崇重	泌尿器科	1,690,000	補委	文部科学省
ダイオキシン受容体リガンド依存性のアンドロゲン受容体分解を介した前立腺癌制御	丸山 覚	泌尿器科	910,000	補委	文部科学省
排尿障害における前頭前野皮質の役割の解明	橘田 岳也	泌尿器科	1,300,000	補委	文部科学省
ユビキチン化酵素を標的とした去勢抵抗性前立腺癌の治療法開発	宮島 直人	泌尿器科	1,300,000	補委	文部科学省
リンパ浮腫を薬で治す! DDS技術を駆使したVEGF-C徐放治療の開発	小山 明彦	北大病院形成外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
ケロイドの免疫細胞治療を目指して! ~制御性T細胞は炎症&線維化を抑制する~	村尾 尚規	北大病院形成外科	4,680,000	補委	日本学術振興会
郭清術後のリンパ組織再構築術~悪性黒色腫予後の改善を目指して	古川 洋志	医学研究科 形成外科学分野	6,370,000	補委	日本学術振興会
多機能ゲルによる関節軟骨自然再生誘導法の最適化に関わる機序の解明と制御	北村 信人	スポーツ医学診療科	5,980,000	補委	日本学術振興会
損傷した腱マトリクスの治癒過程におけるマクロファージ遊走阻止因子の役割の解明	小野寺 純	スポーツ医学診療科	910,000	補委	日本学術振興会
晩期再発乳癌の生物学的特徴と予測因子に関する研究	山下 啓子	乳腺外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
多系統萎縮症の自然歴とその修飾因子に関する研究	佐々木 秀直	神経内科	9,580,000	補委	日本医療研究開発機構
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	矢部 一郎	神経内科	800,000	補委	日本医療研究開発機構
多発性硬化症におけるinnate T細胞の機能に関する研究	廣谷 真	神経内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
結膜EMZLにおけるRAS系の関与	安藤亮	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会
IκBキナーゼ阻害によるぶどう膜炎制御	石嶋 漢	眼科	1,690,000	補委	日本学術振興会
後眼部DDS強膜リングを用いたレニン-アンジオテンシン系制御による失明疾患治療	石田 晋	眼科	3,120,000	補委	日本学術振興会
グライコプロテイング法による糖尿病網膜症関連糖鎖の網羅的解析	石田 晋	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

Angptl2阻害点眼薬によるぶどう膜炎軽症 化の検討	岩田大樹	眼科	1,560,000	補 委	日本学術振 興会
糖尿病網膜症における $\alpha$ -クリスタリンのリン酸化機序	加瀬諭	眼科	1,690,000	補 委	日本学術振 興会
糖尿病網膜症におけるアクロレインの病態 関与	齋藤 航	眼科	1,430,000	補 委	日本学術振 興会
網羅的糖鎖解析グライコミクスによるぶどう 膜炎炎症増悪マーカー探索	南場研一	眼科	1,560,000	補 委	日本学術振 興会
糖尿病網膜症におけるポリアミン代謝経路 の病態関与	野田航介	眼科	1,690,000	補 委	日本学術振 興会
ユビキチンプロテアソーム機能低下による 網膜変性の解析	野田実香	眼科	1,560,000	補 委	日本学術振 興会
網膜の恒常性維持における胎盤増殖因子 (PlGF)の役割の解析	村田美幸	眼科	600,000	補 委	日本学術振 興会
糖尿病網膜症におけるGAG糖鎖および RAGEの関連性解析	吉澤史子	眼科	1,560,000	補 委	日本学術振 興会
アレルギー性鼻炎の根治を指向 したSIRT1活性化剤の基礎的研究	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科	2,080,000	補 委	日本学術 振興会
高悪性度唾液腺癌に対する オーダーメイド治療の開発	加納 里志	耳鼻咽喉科	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
好酸球性副鼻腔炎における NKT細胞の役割と新しい治療戦略	高木 大	耳鼻咽喉科	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
バイオインフォマティクスアプローチによる 頭頸部癌のシグナル伝達ネットワークの解 明	畠山 博充	耳鼻咽喉科	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
ミトコンドリアDNAの解析による 頭頸部癌の癌化、予後因子の解明	水町 貴諭	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
頭頸部癌におけるcyclin D1標的sgRNAに よる新規遺伝子標的治療の開発	坂下 智博	耳鼻咽喉科	650,000	補 委	日本学術 振興会
呼吸による電気喉頭の電源及び 抑揚制御に関する研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	106,920	補 委	独立行政法人新エネ ルギー・産業技術 総合開発機構
進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法 を併用した放射線治療による新規治療法開発 に関する研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	23,766,000	補 委	日本医療 研究開発機構
頭頸部がんに対する標準治療確立のため の多施設共同研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	400,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
治験の実施に関する研究 [A型ボツリヌス毒素]	畠山 博充	耳鼻咽喉科	1,280,000	補 委	日本医療研究 開発機構
重症薬疹発症機序における包括的検討	阿部理一郎	皮膚科	9,360,000	補 委	日本学術振 興会
角化におけるミトコンドリアの関与	阿部理一郎	皮膚科	3,640,000	補 委	日本学術振 興会
重症薬疹におけるネクロプトーシスの関与	阿部理一郎	皮膚科	2,990,000	補 委	日本医療研 究開発機構
経口免疫寛容を応用した水疱性類天疱瘡 自己抗体の産生制御	西江 涉	皮膚科	3,640,000	補 委	日本学術振 興会
17型コラーゲン発現制御による画期的水 疱症モデルの作成と応用(国際共同研究 強化)	西江 涉	皮膚科	1,820,000	補 委	日本学術振 興会
復帰変異モザイクを応用したiPS細胞による 表皮水疱症の治療	藤田靖幸	皮膚科	1,950,000	補 委	日本学術振 興会

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

制御性T細胞を応用した自己免疫性水疱症の新規治療法の開発	氏家英之	皮膚科	2,340,000	補委	日本学術振興会
遺伝子編集技術を用いた表皮水疱症の多角的再生医療の開発	新熊 悟	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会
皮膚悪性腫瘍におけるPCTAIRE1の発現解析と結合蛋白の同定	柳 輝希	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会
悪性黒色腫におけるTRAIL耐性機構の解明と新規併用治療の試み	柳 輝希	皮膚科	4,940,000	補委	科学技術振興機構
復帰変異モザイク(Revertant mosaicism)を応用した先天性難治性皮膚疾患に対する自家培養表皮シート療法	清水 宏	皮膚科	21,189,000	補委	独立行政法人医薬基盤研究所
重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	清水 宏	皮膚科	3,000,000	補委	厚生労働省
17型コラーゲン発現制御による画期的水疱症モデルの作成と応用	西江 渉	皮膚科	1,400,000	補委	日本学術振興会
水疱性類天疱瘡における疾患特異的水疱形成機序の解明	岩田浩明	皮膚科	2,080,000	補委	日本学術振興会
乳房外パジェット病の悪性度に対するMUC5A発現の関与の包括的検討	秦 洋郎	皮膚科	1,040,000	補委	日本学術振興会
プラスミンをターゲットとした水疱性類天疱瘡の発症機序解明	中村秀樹	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会
7型コラーゲンプロモーターを標的にした劣性栄養障害型表皮水疱症の新規治療法の開発	有田 賢	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会
自殺対策大綱に関する自殺の要因分析や支援方法等に関する研究	齋藤 卓弥	精神科神経科	700,000	補委	厚生労働省
DNAメチル化修飾に着目したうつ病のマーカー作成ー双極、単極、治療抵抗性うつ病の識別を目指してー	久住 一郎	精神科神経科	1,105,000	補委	厚生労働省
脳脊髄液サンプルを用いたうつ病バイオマーカーの開発	中川 伸	精神科神経科	1,300,000	補委	厚生労働省
日本食におけるストレス・脳機能改善効果の解明	久住 一郎	精神科神経科	66,921,400	補委	農業・食品産業技術総合研究機構
児童思春期の学校における自殺関連要因の前方視的研究	齋藤 卓弥	精神科神経科	1,690,000	補委	文部科学省
青年期の抑うつ症状に関わる要因の縦断的研究	朝倉 聡	精神科神経科	2,470,000	補委	文部科学省
マイクログリアからみた統合失調症の覚せい剤動物モデルにおける病態解明と治療法研究	伊藤 侯輝	精神科神経科	1,560,000	補委	文部科学省
イオマゼニルSPECTとMRI拡散尖度画像を用いた高次脳機能障害の脳機能解析	生駒一憲	リハビリテーション科	1,820,000	補委	日本学術振興会
術後下肢キネマティクスが再建前十字靭帯の機能に与える影響に関する運動解析学的研究	遠山晴一	リハビリテーション科	1,430,000	補委	日本学術振興会
肺蛋白血症、遺伝性間質性肺疾患に関する研究:重要難治化要因とその克服	長和俊	周産母子センター	384,000	補委	日本医療研究開発機構
周産期心筋症ハイリスク群同定を目指した臨床的有用性の高いリスク因子抽出の研究	山田崇弘	医学研究科(産科)	1,560,000	補委	日本学術振興会
異常胎児心拍パターンと胎児ー母体輸血症候群の関係	水上尚典	医学研究科(産科)	1,820,000	補委	日本学術振興会
がんに対する正しい知識・態度・意識の涵養を目指す小中学生向けがん教育教材の開発	シャロン・ハンリー	婦人科	4,550,000	補委	日本学術振興会
An innovative system to investigate HPV vaccine efficacy and increase cervical screening in young women	シャロン・ハンリー	婦人科	1,300,000	補委	日本学術振興会
iASPP遺伝子発現の調節機構と子宮頸癌細胞における機能的役割	董 培新	婦人科	1,300,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

新たな子宮頸癌検診システムの構築:受診率向上を目指した自己採取HPV検査の導入	櫻木 範明	婦人科	2,990,000	補委	日本学術振興会
「早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	櫻木 範明	婦人科	900,000	補委	厚生労働省
脳磁場計測を用いた乳児・小児障害脳における言語機能獲得の予後評価	白石秀明	小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会
O-17水分子・酸素分子MRIによる定量的脳血流・酸素代謝イメージングの開発	工藤 與亮	放射線部	5,460,000	補委	文科省
320列MDCTによる包括的冠動脈形態および機能的狭窄度評価法の確立	真鍋 徳子	放射線診断科	1,560,000	補委	文科省
デジタルファントムによる超音波画像診断トレーニングシステム構築のための基礎的検討	作原 祐介	放射線診断科	1,170,000	補委	文科省
新しいNBCA塞栓術“balloon閉塞下NBCA塞栓術”の開発	阿保 大介	放射線部	650,000	補委	文科省
MRIを用いた頭頸部腫瘍の治療感受性マップおよび高精度予後予測診断法の開発	藤間 憲幸	放射線診断科	1,950,000	補委	文科省
乳癌のコンパニオン診断に向けた3T-MRIのマルチパラメトリック解析モデルの開発	加藤 扶美	放射線部	650,000	補委	文科省
待ち伏せ照射の高精度化を目的とした体内呼吸運動に基づく呼吸位相モニタの開発	宮本 直樹	放射線治療科	2,080,000	補委	日本学術振興会
ヘリウム・陽子線ハイブリッド治療の研究開発	白土博樹	医学研究科 放射線医学分野	4,810,000	補委	文部科学省
患者にやさしい最先端医療技術を核としたヘルス・イノベーションプロジェクト(地域イノベーション戦略支援プログラム「北大リサーチ&ビジネスパーク」)	白土博樹	医学研究科 放射線医学分野	19,655,000	補委	文部科学省
微粒子腫瘍マーカーリアルタイム3次元透視を融合した次世代高精度粒子線治療技術の開発	白土博樹	医学研究科 放射線医学分野	50,291,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
4D-CBCT治療計画のCTの容積マッチング法による4D-IGRTの試み	清水伸一	医学研究科 放射線治療医学分野	4,680,000	補委	日本学術振興会
スポットスキヤニング法による頭頸部癌に対する強度変調陽子線治療計画の開発	土屋和彦	放射線治療科	650,000	補委	日本学術振興会
金ナノロッド製剤を用いた難治性癌分子追跡陽子線治療法の開発	橋本孝之	医学研究科 放射線医学分野	1,820,000	補委	日本学術振興会
イン・シリコ・サロゲートエンドポイントによる術後陽子線治療の晩期有害事象の評価	木下留美子	放射線治療科	1,170,000	補委	日本学術振興会
分子イメージングを用いた原発性肺癌に対する高精度放射線治療の研究	井上哲也	放射線治療科	1,300,000	補委	日本学術振興会
低酸素癌細胞に対する放射線治療～生物学的に最適な線量投与法の確立～	安田耕一	医学研究科 放射線医学分野	650,000	補委	日本学術振興会
PETによる心血管疾患の活動性の画像化と治療戦略への応用	玉木長良	核医学分野	6,630,000	補委	日本学術振興会
新規放射性薬剤IIMUによる頭頸部癌化学療法の治療前効果予測法の確立	平田健司	核医学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会
神経膠腫におけるマイクロRNA解析を用いたメチオニン取り込み機序の探索	山口秀	核医学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会
炭素-11C標識メチオニンPETによる脳腫瘍診断	玉木 長良	核医学分野	47,998,000	補委	日本医療研究開発機構

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

[18F]DiFAによる革新的がん診断PET低酸素イメージングシステム	志賀哲	核医学分野	34,684,000	補委	日本医療研究開発機構
悪性神経内分泌腫瘍に対する131I-MIBG内照射療法の開発(以下「本研究開発課題」)	志賀哲 絹谷清剛	核医学分野	3,150,000	補委	日本医療研究開発機構
Toll様受容体とケモカインに着目した歯槽骨代謝機構の解明	中村 公也	予防歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
新しい唾液pH判定キットの開発	兼平 孝	予防歯科	1,170,000	補委	日本学術振興会
新規開発自律神経活動モニターシステムを用いた安全・安心な高齢者歯科治療の確立	下地伸司	歯周・歯内療法科	1,020,000	補委	日本学術振興会
TCP複合化レジンとナノHAPコラーゲンのハイブリッドによる垂直歯根破折の治療法	菅谷 勉	歯周・歯内療法科	1,790,000	補委	日本学術振興会
ナノカーボンコーティングを用いた新規歯周病治療法	宮治裕史	歯周・歯内療法科	1,560,000	補委	日本学術振興会
S-PRGファイラー含有ルートキャナルシーラーのイオン徐放による生体内機能発現	宮治裕史	歯周・歯内療法科	500,000	補委	榊松風
新型骨補填材の骨再生効果の研究	宮治裕史	歯周・歯内療法科	2,000,000	補委	昭和薬品化工(株)
多孔質体を形成するエマルジョン骨ペーストの歯周病治療への応用	加藤昭人	歯周・歯内療法科	1,560,000	補委	日本学術振興会
歯周病による重度組織破壊を再生する新規骨ペースト材の開発	加藤昭人	歯周・歯内療法科	400,000	補委	ノーステック財団
FGF徐放性超気孔性 $\beta$ -TCPと培養細胞シートを用いた歯周組織再生療法の確立	福田 寛恵	歯周・歯内療法科	650,000	補委	日本学術振興会
炭酸カルシウム複合化レジンとBMP-2含浸アテロコラーゲンを用いた骨増生法の開発	中塚 愛	歯周・歯内療法科	910,000	補委	日本学術振興会
空間的ドラッグデリバリーシステムによる成長因子複合移植法の開発	齋藤恵美子	歯周・歯内療法科	1,690,000	補委	日本学術振興会
新規開発自律神経活動モニターシステムを用いた安全・安心な高齢者歯科治療の確立	下地伸司	歯周・歯内療法科	1,820,000	補委	日本学術振興会
咬合違和感症候群と口腔内知覚閾値の関連性一脳磁図にSPM解析を応用した定量評価一	佐藤華織	冠橋義歯補綴科	1,820,000	補委	日本学術振興会
睡眠時ブラキシズム診断における問診・臨床診査の信頼性と診断精度向上の検討	谷内田渉	冠橋義歯補綴科	1,170,000	補委	日本学術振興会
顎顔面筋の抗疲労性に関する研究	有馬太郎	冠橋義歯補綴科	650,000	補委	日本学術振興会
自己防御システム誘導型の新規材料の開発	佐野英彦	歯学研究科 歯科保存学教室	3,640,000	補委	日本学術振興会
バイオガラスによる脱灰象牙質の再石灰化を目指す試み	星加修平	歯学研究科 歯科保存学教室	390,000	補委	日本学術振興会
バイオアクティブガラスのう蝕抑制能を各種イオンと中和作用の両面から解明する	角田晋一	歯学研究科 歯科保存学教室	1,170,000	補委	日本学術振興会
歯科材料の微小接着強さ試験に対する信頼性データ分析の導入	池田考績	歯学研究科 歯科保存学教室	780,000	補委	日本学術振興会
象牙質接着におけるコラーゲン劣化プロセスの多面的評価と架橋形成の影響の検討	松本真理子	北海道大学病院 歯冠修復科	843,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

マイクロナ構造を有する薄膜を用いた新たなインプラント周囲炎治療法の開発	横山敦郎	歯学研究科 口腔機能補綴学教室	1,820,000	補委	日本学術振興会
ナノ物質を用いたハイブリット型口腔領域用生体材料の創製と安全性の検討	横山敦郎	歯学研究科 口腔機能補綴学教室	3,770,000	補委	日本学術振興会
咬合および咀嚼機能と全身姿勢の関連性を解明するための総合的解析	坂口 究	歯学研究科 口腔機能補綴学教室	3,640,000	補委	日本学術振興会
機能性ペプチドを固定化したカーボンナノ物質の歯槽骨再生への応用	平田 恵理	歯学研究科 口腔機能補綴学教室	1,430,000	補委	日本学術振興会
歯科治療恐怖症患者における音楽鎮静の効果ー自律神経活動の面からの検討	藤澤 俊明	歯科麻酔学教室	1,430,000	補委	日本学術振興会
「脳の透明化」による神経障害性疼痛発症メカニズムの解明	詫間 滋	歯科麻酔学教室	2,340,000	補委	日本学術振興会
脳内ATPaseに対する全身麻酔薬の作用に関する研究	長谷 由理	歯科麻酔学教室	1,329,000	補委	日本学術振興会
糖尿病患者における機械的刺激に対する微小血管応答性の変化とその原因	飯田順一郎	矯正歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
エナメル質を保全できる矯正歯科治療-大気圧低温プラズマと蛍光物質の応用-	山方秀一	矯正歯科	2,860,000	補委	日本学術振興会
矯正学的持続的機械ストレス環境におけるボドプラン依存性骨再生機構に関する研究	金井壮律	矯正歯科	1,950,000	補委	日本学術振興会
新素材を矯正歯科臨床に応用するための研究-アクチュエーター(人工筋肉)の応用-	山本隆昭	矯正歯科	1,040,000	補委	日本学術振興会
頭蓋顔面形態異常におけるゲノムワイドな遺伝的関連解析	斉藤文男	矯正歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
幹細胞を用いた顎骨再生に関する基礎的研究	福島久夢	矯正歯科	910,000	補委	日本学術振興会
低侵襲化をめざした口唇口蓋裂治療体系の開発と多施設比較による有効性の検証	三古谷 忠	高次口腔医療センター	780,000	補委	日本学術振興会
インプラントサポートデンチャーにおけるフィクスチャーの選択基準:FEAによる検討	齋藤 絃子	高次口腔医療センター	169,000	補委	日本学術振興会
交感神経活動の変動は日中の低レベル咀嚼筋活動習癖に影響を及ぼすか	三上 紗季	高次口腔医療センター 顎関節治療部門	910,000	補委	日本学術振興会
低酸素遺伝子応答分子イメージングに基づく新しい口腔癌治療戦略	北川 善政	口腔内科	4,030,000	補委	日本学術振興会
唾液中の細胞を標的としたフローサイトメトリーによる新しい口腔内科診断戦略	北川 善政	口腔内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
ビスホスホネート関連顎骨壊死に対する高気圧酸素療法のPETと骨シンチによる評価	北川 善政	口腔内科	900,000	補委	日本学術振興会
交感神経活動が咀嚼筋の痛み、分化、機能および神経線維分布に与える影響	佐藤 淳	口腔内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
PTHrP産生口腔腫瘍の微小環境における間質細胞の変化は何に基づいているのか?	佐藤 千晴	口腔内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
口腔癌における腫瘍血管内皮細胞の多様性解明と新規分子標的薬への応用	大賀 則孝	口腔内科	1,040,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌におけるDNp53の予後マーカーとしての応用	吉川 和人	口腔内科	1,430,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

BRONJに対する多血小板フィブリンによる新たな治療戦略の確立	浅香 卓哉	口腔内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
ビスフォスフォネート製剤の骨芽細胞・骨細胞への直接作用ーBRONJと糖尿病の関連	坪井 香奈子	口腔内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
幹細胞のニッチに注目した顎骨再建法の開発	鄭 漢忠	口腔外科	1,220,000	補委	日本学術振興会
口腔がん幹細胞ニッチを標的とした新しい治療方法の開発	大廣 洋一	口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
マイクロ加速度センサーを用いた咬合力3次元可視化への挑戦ー外科矯正の観点からー	松下 和裕	口腔外科	910,000	補委	日本学術振興会
口腔がんにおけるがん幹細胞ニッチの同定と治療への応用	松沢 祐介	口腔外科	1330000	補委	日本学術振興会
口腔がん血管由来因子の診断法への応用	小野 貢伸	口腔外科	1170000	補委	日本学術振興会
癌骨転移環境下での癌細胞と骨細胞間ネットワーク機構の解明	山田 珠希	口腔外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
導電性ナノマテリアルを応用した生体再生材料の開発	松岡 真琴	口腔外科	910,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管由来miRNAの同定とがん診断・治療への応用	佐藤 和代	口腔外科	2,210,000	補委	日本学術振興会
HuRをターゲットとした分子標的薬の開発ーがんの制御を目指してー	格口 渉	口腔外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
口腔内扁平上皮癌に対するMR顕微鏡の開発	箕輪 和行	歯学研究科 (歯科放射線)	1,278,313	補委	日本学術振興会
適切な高齢者の口腔管理を目指して！！～歯科医師として貢献できること～	阿部 貴恵	高齢者歯科	2,080,000	補委	日本学術振興会
多施設共同研究の質的向上に必要な病理診断	松野 吉宏	病理診断科	1,000,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究セン
先端がん医療実施のための地域完結型病理診断および臨床・病理連携ネットワークの構築	畑中 豊	コンパニオン診断寄附研究部門	1,400,000	補委	厚生労働省
卵膜由来間葉系幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する新規治療法の開発	桂田 武彦	光学医療診療部	1,430,000	補委	文部科学省
抗菌薬3剤併用による難治性潰瘍性大腸炎の治療	桂田 武彦	光学医療診療部	7,974,000	補委	日本医療研究開発機構研究費
がん特異的蛍光プローブの散布による新規の頭頸部がん検出法の開発	小野 尚子	光学医療診療部	1,170,000	補委	文部科学省
抗精神病薬クロザピンの副作用発現助長因子の解明を目的とした研究 (科研費奨励研究・課題番号:15H00540)	石川修平	薬剤部	500,000	補委	日本学術振興会
配合変化による輸液ルート閉塞の実態調査と検証に関する研究 (科研費奨励研究・課題番号15H00549)	沖 洋充	薬剤部	400,000	補委	日本学術振興会
マグネシウム投与によるシスプラチン起因性腎障害の予防効果およびその機序の解明(科研費奨励研究・課題番号:15H00484)	齊藤佳敬	薬剤部	600,000	補委	日本学術振興会
妊娠期を通じた新規抗てんかん薬の胎盤輸送に関する研究(科研費奨励研究・課題番号:15H00489)	古堅彩子	薬剤部	600,000	補委	日本学術振興会
革新的医薬品・医療機器・再生医療等製品実用化促進事業	寶金清博	脳神経外科	34,000,000	補委	厚生労働省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

もやもや病(ウイルス動脈輪閉塞症)の診断・治療に関する研究	寶金清博	脳神経外科	9,722,000	補委	厚生労働省
経脳室および経動脈冷却灌流による新規局所低温療法の臨床応用	鏡谷武雄	脳神経外科	3,300,000	補委	日本医療研究開発機構
もやもや病診療の質を高めるためのエビデンス構築を目指した包括的研究	寶金清博	脳神経外科	10,000,000	補委	日本医療研究開発機構
新たな培養・移植・イメージング技術を駆使した自己骨髄間質細胞移植による脳梗塞再生治療	寶金清博	脳神経外科	39,000,000	補委	日本医療研究開発機構
もやもや病患者由来iPS細胞を用いた血管平滑筋細胞の分化誘導と機能解析	寶金清博	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞を用いた、もやもや病における脳出血発症メカニズムの解析	数又研	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
骨髄間質細胞移植による癒着性くも膜炎及び難治性神経障害性疼痛に対する治療法の確立	関俊隆	脳神経外科	910,000	補委	日本学術振興会
ラット脊髄損傷モデルにおける脊髄刺激療法の有効性評価	笹森徹	脳神経外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
易破裂大型脳動脈瘤の新規動物モデルとヒト臨床標本による破裂防止薬剤治療法の開拓	中山若樹	脳神経外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
重症くも膜下出血の予後は炎症反応制御で改善するか？	穂刈正昭	脳神経外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
表現促進現象を有する家族性もやもや病のCNV解析	吉本哲之	脳神経外科	2,730,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫に対するALA-PET誘導式音響力学療法の開発	小林浩之	脳神経外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「未来創薬・医療イノベーション拠点形成	玉木 長良	核医学分野	182,123,305	補委	文部科学省
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「未来創薬・医療イノベーション拠点形成	石田 晋	眼科	6,650,000	補委	文部科学省
(補正予算)臨床研究品質確保体制整備事業(繰越分)	佐藤 典宏	臨床研究開発センター	58,680,000	補委	北海道
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「未来創薬・医療イノベーション拠点形成	佐藤 典宏	臨床研究開発センター	2,550,000	補委	文部科学省
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「未来創薬・医療イノベーション拠点形成	寶金清博	脳神経外科	1,870,000	補委	文部科学省
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「未来創薬・医療イノベーション拠点形成	坂本直哉	消化器内科	1,700,000	補委	文部科学省
橋渡し研究_オール北海道先進医学・医療拠点形成	寶金清博	脳神経外科	629,289,026	補委	日本医療研究開発機構
臨床研究品質確保体制整備事業	佐藤 典宏	臨床研究開発センター	131,948,552	補委	日本医療研究開発機構
ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	121,000,000	補委	日本医療研究開発機構

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Dong P, Ihira K, Hamada J, Watari H, Yamada T, Hosaka M, Hanley SJ, Kudo M, Sakuragi N.	婦人科	Reactivating p53 functions by suppressing its novel inhibitor iASPP: a potential therapeutic opportunity in p53 wild-type tumors.	Oncotarget. 2015 Aug 21;6(24):19968-75. Review.
2	Nio-Kobayashi J, Kudo M, Sakuragi N, Kimura S, Iwanaga T, Duncan WC.	婦人科	Regulated C-C motif ligand 2 (CCL2) in luteal cells contributes to macrophage infiltration into the human corpus luteum during luteolysis.	Mol Hum Reprod. 2015 Aug;21(8):645-54.
3	Mitamura T, Watari H, Yamashiro K, Kato T, Hosaka M, Shimada C, Fukumoto S, Noshiro K, Sasaki T, Sakuragi N.	婦人科	Human papillomavirus type 16 sequence variation in concurrent vulvar and penile carcinoma in a married couple.	Sex Transm Dis. 2015 Jun;42(6):342-3.
4	Todo Y, Kato H, Okamoto K, Minobe S, Yamashiro K, Sakuragi N.	婦人科	Isolated tumor cells and micrometastases in regional lymph nodes in stage I to II endometrial cancer.	J Gynecol Oncol. 2016 Jan;27(1):e1.
5	Hassan MK, Watari H, Mitamura T, Mohamed Z, El-Khamisy SF, Ohba Y, Sakuragi N.	婦人科	P18/Stathmin1 is regulated by miR-31 in ovarian cancer in response to taxane.	Oncoscience. 2015 Mar 23;2(3):294-308.
6	Sakuragi N.	婦人科	Nerve-sparing radical hysterectomy: time for a new standard of care for cervical cancer?	J Gynecol Oncol. 2015 Apr;26(2):81-2.
7	Nio-Kobayashi J, Trendell J, Giakoumelou S, Boswell L, Nicol L, Kudo M, Sakuragi N, Iwanaga T, Duncan WC.	婦人科	Bone morphogenetic proteins are mediators of luteolysis in the human corpus luteum.	Endocrinology. 2015 Apr;156(4):1494-503.
8	Satoh T, Aoki Y, Kasamatsu T, Ochiai K, Takano M, Watanabe Y, Kikkawa F, Takeshima N, Hatae M, Yokota H, Saito T, Yaegashi N, Kobayashi H, Baba T, Kodama S, Saito T, Sakuragi N, Sumi T, Kamura T, Yoshikawa H.	婦人科	Administration of standard-dose BEP regimen (bleomycin+etoposide+cisplatin) is essential for treatment of ovarian yolk sac tumour.	Eur J Cancer. 2015 Feb;51(3):340-51.
9	Sudo S, Hattori N, Manabe O, Kato F, Mimura R, Magota K, Sugimori H, Hirata K, Sakuragi N, Tamaki N.	婦人科	FDG PET/CT diagnostic criteria may need adjustment based on MRI to estimate the presurgical risk of extrapelvic infiltration in patients with uterine endometrial cancer.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2015 Apr;42(5):676-84.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	Yokoyama Y, Ito K, Takamatsu K, Takehara K, Nakanishi T, Harano K, Watari H, Susumu N, Aoki D, Saito T	婦人科	How do Japanese gynecologists view hormone replacement therapy for survivors of endometrial cancer? Japanese Gynecologic Oncology Group (JGOG) survey.	Int J Clin Oncol. 2015 Oct;20(5):997-1004.
11	Watari H, Shigyo M, Tanabe N, Tohda M, Cho KH, Kyung PS, Jung WS, Shimada Y, Shibahara N, Kuboyama T, Tohda C.	婦人科	Comparing the effects of kamikihito in Japan and kami-guibi-tang in Korea on memory enhancement: working towards the development of a global study.	Phytother Res. 2015 Mar;29(3):351-6.
12	Hanley SJ, Pollock KG, Cuschieri K.	婦人科	Peripheral Sympathetic Nerve Dysfunction in Adolescent Japanese Girls Following Immunization with the Human Papillomavirus Vaccine.	Intern Med. 2015;54(15):1953.
13	Hanley SJ, Yoshioka E, Ito Y, Kishi R.	婦人科	HPV vaccination crisis in Japan.	Lancet. 2015 Jul 18;386(9990):248.
14	Tadano S, Takeda R, Sasaki K, Fujisawa T, Tohyama H	リハビリテーション科	Gait characterization for osteoarthritis patients using wearable gait sensors.	J Biomech 49:684-90, 2016.
15	Koshino Y, Ishida T, Yamanaka M, Ezawa Y, Okunuki T, Kobayashi T, Samukawa M, Saito H, Tohyama H	リハビリテーション科	Kinematics and muscle activities of the lower limb during a side-cutting task in subjects with chronic ankle instability.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc,2015
16	Ishigaki T, Ishida T, Samukawa M, Saito H, Hirokawa M, Ezawa Y, Sugawara M, Tohyama H, Yamanaka M	リハビリテーション科	Comparing trapezius muscle activity in the different planes of shoulder elevation.	J Phys Ther Sci 5:1495-7, 2015.
17	Ishigaki T, Ishida T, Samukawa M, Saito H, Ezawa Y, Hirokawa M, Kato T, Sugawara M, Tohyama H, Yamanaka M	リハビリテーション科	Does restriction of glenohumeral horizontal adduction reflect posterior capsule thickening of the throwing shoulder?	J Phys Ther Sci 27:1299-302, 2015.
18	Ino T, Ohkoshi Y, Maeda T, Kawakami K, Suzuki S, Tohyama H	リハビリテーション科	Side-to-side differences of three-dimensional knee kinematics during walking by normal subjects.	J Phys Ther Sci 27:1803-7, 2015.
19	Matsuda S, Yamaguchi T, Mikami S, Okada K, Gotouda A	冠橋義歯補綴科	Rhythm and amplitude of Rhythmic Masticatory Muscle Activity during sleep in bruxers -Comparison with gum chewing-	CRANIO
20	Tamaki K, Ishigaki S, Ogawa T, Oguchi H, Kato T, Suganuma T, Shimada A, Sadamori S, Tsukiyama Y, Nishikawa Y, Masumi S, Yamaguchi T, Aita H, Ono T, Kondo H, Tsukasaki H, Fueki K, Fujisawa M, Matsuka Y, Baba K, Koyano K	冠橋義歯補綴科	Japan Prosthodontic Society position paper on "occlusal discomfort syndrome"	J Prosthodont Res

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	Dreyer P, Yachida W, Huynh N, Lavigne GJ, Haugland M, Svensson P, Castrillon EE	冠橋義歯補綴科	How close can single-channel EMG data come to PSG scoring of Rhythmic Masticatory Muscle Activity?	JDSM
22	Uekita H, Takahashi S, Domon T, Yamaguchi T	冠橋義歯補綴科	Changes in collagens and chondrocytes in the temporomandibular joint cartilage in growing rats fed a liquid diet	Ann Anat
23	Yachida W, Arima T, Castrillon E, Baad-Hansen L, Ohata N, Svensson P	冠橋義歯補綴科	Diagnostic validity of self-reported measures of sleep bruxism using an ambulatory single-channel EMG device	J Prosthodont Res
24	Takeuchi T, Arima T, Ernberg M, Yamaguchi T, Ohata N, Svensson P	冠橋義歯補綴科	Symptoms and physiological responses to prolonged, repeated, low-level tooth-clenching in humans	Headache
25	Saito M, Yamaguchi T, Mikami S, Watanabe K, Gotouda A, Okada K, Hishikawa R, Shibuya E, Shibuya Y, Lavigne G	冠橋義歯補綴科	Weak Association between Sleep Bruxism and Obstructive Sleep Apnea. A Sleep Laboratory Study	Sleep breath
26	Ukita M, Yamaguchi T, Ohata N, Tamura M	冠橋義歯補綴科	Sclerostin enhances adipocyte differentiation in 3T3-L1 cells	J Cel Biochem
27	Ishiguro N, Koseki N, Kaiho M, Kikuta H, Togashi T, Oba K, Morita K, Nagano N, Nakanishi M, Hazama K, Watanabe T, Sasaki S, Horino A, Kenri T, Ariga T; Hokkaido Pediatric Respiratory Infection Study Group	Hokkaido Univ. School of Medicine, Dept. of pediatrics	Hokkaido Pediatric Respiratory Infection Study Group. (2016) "Regional Differences in Rates of Macrolide-Resistant Mycoplasma pneumoniae in Hokkaido, Japan	Jpn J Infect Dis. 69(3):186-90
28	Ishiguro N, Oyamada R, Nasuhara Y, Yamada T, Miyamoto T, Imai S, Akizawa K, Fukumoto T, Iwasaki S, Iijima H, Ono K	Hokkaido Univ. Hostital	Three-day regimen of oseltamivir for postexposure prophylaxis of influenza in wards.	J Hosp Infect doi:10.1016/j.jhin.2016.05.012
29	Kase S, Namba K, Iwata D, Mizuuchi K, Kitaichi N, Tagawa Y, Okada-Kanno H, Matsuno Y, Ishida S.	眼科	Diagnostic efficacy of cell block method for vitreoretinal lymphoma.	Diagn Pathol.
30	Horie Y, Meguro A, Ohta T, Lee EB, Namba K, Mizuuchi K, Iwata D, Mizuki N, Ota M, Inoko H, Ishida S, Ohno S, Kitaichi N.	眼科	HLA-B51 Carriers are Susceptible to Ocular Symptoms of Behçet Disease and the Association between the Two Becomes Stronger Towards the East Along the Silk Road: A Literature Survey.	Ocul Immunol Inflamm.
31	Hashimoto Y, Saito W, Saito M, Hasegawa Y, Mori S, Noda K, Ishida S.	眼科	Relationship between choroidal thickness and visual impairment in multiple evanescent white dot syndrome.	Acta Ophthalmol.
32	Kinoshita S, Noda K, Saito W, Kanda A, Ishida S.	眼科	Vitreous levels of vascular endothelial growth factor-B in proliferative diabetic retinopathy.	Acta Ophthalmol.
33	Hirooka K, Saito W, Namba K, Mizuuchi K, Iwata D, Hashimoto Y, Ishida S.	眼科	Significant role of the choroidal outer layer during recovery from choroidal thickening in Vogt-Koyanagi-Harada disease patients treated with systemic corticosteroids.	BMC Ophthalmol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
34	Kanda A, Noda K, Saito W, Ishida S.	眼科	Aflibercept Traps Galectin-1, an Angiogenic Factor Associated with Diabetic Retinopathy.	Sci Rep.
35	Kase S, Yokoi M, Ishida S, Kase M.	眼科	Measurement of interleukins in vitreous infusion fluid.	Biomed Rep.
36	Saito M, Saito W, Hirooka K, Hashimoto Y, Mori S, Noda K, Ishida S.	眼科	Pulse Waveform Changes in Macular Choroidal Hemodynamics With Regression of Acute Central Serous Chorioretinopathy.	Invest Ophthalmol Vis Sci.
37	Tagawa Y, Namba K, Ogasawara R, Kanno H, Ishida S.	眼科	A Case of Mature Natural Killer-Cell Neoplasm Manifesting Multiple Choroidal Lesions: Primary Intraocular Natural Killer-Cell Lymphoma.	Case Rep Ophthalmol.
38	Hashimoto Y, Saito W, Saito M, Hirooka K, Mori S, Noda K, Ishida S.	眼科	Decreased choroidal blood flow velocity in the pathogenesis of multiple evanescent white dot syndrome.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.
39	Inafuku S, Noda K, Amano M, Ohashi T, Yoshizawa C, Saito W, Murata M, Kanda A, Nishimura S, Ishida S.	眼科	Alteration of N-Glycan Profiles in Diabetic Retinopathy.	Invest Ophthalmol Vis Sci.
40	Hashimoto Y, Saito W, Saito M, Hirooka K, Mori S, Noda K, Ishida S.	眼科	Increased choroidal blood flow velocity with regression of unilateral acute idiopathic maculopathy.	Jpn J Ophthalmol.
41	Kanda A, Noda K, Ishida S.	眼科	ATP6AP2/(pro)renin receptor contributes to glucose metabolism via stabilizing the pyruvate dehydrogenase E1 $\beta$ subunit.	J Biol Chem.
42	Hirooka K, Saito W, Namba K, Takemoto Y, Mizuuchi K, Uno T, Tagawa Y, Hashimoto Y, Ishida S.	眼科	Relationship between choroidal blood flow velocity and choroidal thickness during systemic corticosteroid therapy for Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.
43	Fujiya A, Noda K, Yoshida S, Saito W, Ishida S.	眼科	Increased vascular endothelial growth factor level in the subretinal fluid of eye with vasoproliferative retinal tumors.	Retin Cases Brief Rep.
44	Wada T	救急科	Pharmacokinetics and the optimal regimen for levofloxacin in critically ill patients receiving continuous hemodiafiltration.	J Intensive Care. 2015 May;3(1):22
45	Ono Y	救急科	Effects of prehospital epinephrine administration on neurological outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest.	J Intensive Care. 2015 Jun;3(1):29
46	Gando S	先進急性期医療センター	Activated protein C does not increase in the early phase of trauma with disseminated intravascular coagulation: comparison with acute coagulopathy of trauma-shock.	J Intensive Care. 2016 Jan 4;4:1
47	Gando S	先進急性期医療センター	Journal of Intensive Care reviewer acknowledgement 2015.	J Intensive Care. 2016 Feb 2;4:11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
48	Hayakawa M	先進急性期医療センター	Rapid evaluation of fibrinogen levels using the CG02N whole blood coagulation analyzer.	Semin Thromb Hemost. 2015 Apr;41(3):267-71
49	Gando S	先進急性期医療センター	Pathophysiology of Trauma-Induced Coagulopathy and Management of Critical Bleeding Requiring Massive Transfusion.	Semin Thromb Hemost. 2016 Mar;42(2):155-65
50	Ono Y	救急科	Should laryngeal tubes or masks be used for out-of-hospital cardiac arrest patients?	Am J Emerg Med. 2015 Oct;33(10):1360-3
51	Hayakawa, T, Yoshimura, Y., Kikui, T., Matsuno, M., Hasegawa, T., Fukushima, K., Shibata, K., Deyama, Y., Suzuki, K., Iida, J.	矯正歯科	Optimal compressive force accelerates osteoclastogenesis in RAW264.7 cells.	Mol. Med. Rep. (Molecular Medicine Reports), 12(4):5879-5885, July 29th 2015
52	Ohtsuka, M, Kaneko, T, Iida, J	矯正歯科	Effectiveness of training methods to improve orbicularis oris muscle endurance in patients with incompetent lips.	Orthodontic Waves, 74(4): 99-104, December 2015.
53	Mutoh, M., Abe, S., Hyono, A., Matsuura, H., Nakanishi, K., Kawai, K., Nakamura, M., Inoue, S., Yoshida, Y., Iida, J., Yonezawa, T.	矯正歯科	Electroconductive pretreatment of several type of non-conductive wet biological samples for SEM using a room temperature ionic liquid: simple and rapid conductive preparation.	Nano biomedicine. 7(2): 72-80, December 2015.
54	Mutoh, M., Abe, S., Nakayama, K., Yoshizawa, S., Nakamura, M., Terui Kusaka, T., Yoshida, Y., Iida, J., Takeda, T.	矯正歯科	Simple size-controlled preparation of micro-/nanosized fullerene C60 particles using different chain-length diaminoalkane compounds.	Nano biomedicine. 7(2): 87-92, December 2015.
55	Furukawa H	北海道大学医学部形成外科	Effectiveness of intraoperative indocyanine-green fluorescence angiography during inguinal lymph node dissection for skin cancer to prevent postoperative wound dehiscence.	Surg Today 45: 973-978, 2015
56	Homma A	形成外科	Early and long-term morbidity after minimally invasive total laryngo-pharyngo-esophagectomy with gastric pull-up reconstruction via thoracoscopy, laparoscopy and cervical incision	Eur Arch Otorhinolaryngol 272: 3551-3556, 2015
57	Fujisawa Y	形成外科	The role of sentinel lymph node biopsy in the management of invasive extramammary Paget's disease	J Dermatol Sci 79: 38-42, 2015
58	Warabi T	北海道大学医学部形成外科(医局所属)	Dynamic change of myogenin in denervated rat mimetic muscle	Facial Plast Surg 31: 152-159, 2015
59	Maeda T	北海道大学医学部形成外科	Promising long-term outcomes of the reused skin-graft technique for chronic gluteal hidradenitis suppurativa	J Plast Reconstr Aesthet Surg 68: 1268-1275, 2015
60	Matsukawa T	血液内科	Ceramide-CD300f binding suppresses experimental colitis by inhibiting ATP-mediated mast cell activation.	Gut
61	Cui Y	血液内科	Thymic expression of a T-cell receptor targeting a tumor-associated antigen coexpressed in the thymus induces T-ALL.	Blood

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
62	Aoki T	血液内科	Long-term survival following autologous and allogeneic stem cell transplantation for blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm	Blood
63	Uryu H(DC)	血液内科	$\alpha$ -Mannan induces Th17-mediated pulmonary graft-versus-host disease in mice.	Blood
64	Tan EJ	血液内科	The high mobility group A2 protein epigenetically silences the Cdh1 gene during epithelial-to-mesenchymal transition	Nucleic Acids Res
65	Imafuku K	血液内科	Erythema annulare centrifugum-like mycosis fungoides after unrelated bone marrow transplantation.	British J Haematol
66	Suenaga F	血液内科	Loss of lymph node fibroblastic reticular cells and high endothelial cells is associated with humoral immunodeficiency in mouse graft-versus-host disease	J Immunol.
67	Shichino S	血液内科	Reduced Supply of Monocyte-Derived Macrophages Leads to a Transition from Nodular to Diffuse Lesions and Tissue Cell Activation in Silica-Induced Pulmonary Fibrosis in Mice	Am J Pathol.
68	Onozawa M	血液内科	Landscape of insertion polymorphisms in the human genome.	Genome Biol Evol.
69	Takemura R	血液内科	PolyI:C-induced, TLR3/RIP3-dependent necroptosis backs up immune effector-mediated tumor elimination in vivo.	Cancer Immunol Res
70	Moskalenko M	血液内科	Requirement for Innate Immunity and CD90+ NK1.1- Lymphocytes to Treat Established Melanoma with Chemo-Immunotherapy.	Cancer Immunol Res.
71	Aoki J	血液内科	Impact of age on outcomes of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with reduced intensity conditioning in elderly patients with acute myeloid leukemia.	Am J Hematol
72	Miyauchi T	血液内科	CD4/CD8 Double-negative T-cell Lymphoma: A Variant of Primary Cutaneous CD8+ Aggressive Epidermotropic Cytotoxic T-cell Lymphoma?	Acta Derm Venereol
73	Nakasone H	血液内科	Impact of conditioning intensity and TBI on acute GVHD after hematopoietic cell transplantation.	Bone Marrow Transplant.
74	Shima T	血液内科	Preserved in vivo reconstitution ability of PBSCs cryopreserved for a decade at $-80^{\circ}$ C.	Bone Marrow Transplant.
75	Arai S	血液内科	Increasing incidence of chronic graft-versus-host disease in allogeneic transplantation - A Report from CIBMTR	Biol Blood Marrow Transplant

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
76	Inamoto Y	血液内科	Tacrolimus versus Cyclosporine after Hematopoietic Cell Transplantation for Acquired Aplastic Anemia.	Biol Blood Marrow Transplant
77	Sugita J	血液内科	HLA-Haploidentical Peripheral Blood Stem Cell Transplantation with Post-Transplant Cyclophosphamide after Busulfan-Containing Reduced-Intensity Conditioning.	Biol Blood Marrow Transplant
78	Shiratori S	血液内科	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation following reduced-intensity conditioning for mycosis fungoides and Sezary syndrome.	Hematol Oncol
79	Shiratori S	血液内科	Late onset toxic epidermal necrolysis induced by mogamulizumab, an anti-CC chemokine receptor 4 antibody for the treatment of adult T-cell leukaemia/lymphoma	Hematol Oncol
80	Kasamatsu J	血液内科	PolyI:C and mouse survivin artificially embedding human 2B peptide induce a CD4+ T cell response to autologous survivin in HLA-A*2402 transgenic mice.	Immunobiology.
81	Ishida Y	血液内科	Pharmacokinetics and pharmacodynamics of dasatinib in the chronic phase of newly diagnosed chronic myeloid leukemia.	Eur J Clin Pharmacol.
82	Shiratori S*	血液内科	Ultra-high level of serum soluble interleukin-2 receptor at diagnosis predicts poor outcome for angioimmunoblastic T-cell lymphoma	Leuk Lymphoma.
83	Yutaka T	血液内科	Sustained CD4 and CD8 lymphopenia after rituximab maintenance therapy following bendamustine and rituximab combination therapy for lymphoma.	Leuk Lymphoma
84	Takashima S	血液内科	Eosinophilic pustular folliculitis in a patient with mycosis fungoides	J Eur Acad Dermatol Venereol
85	Shibayama Y	血液内科	Upregulation of microRNA-126-5p is associated with drug resistance to cytarabine and poor prognosis in AML patients.	Oncol Rep.
86	Takahata M	血液内科	Occurrence of adverse events caused by valganciclovir as pre-emptive therapy for cytomegalovirus infection after allogeneic stem cell transplantation is reduced by low-dose administration.	Transpl Infect Dis.
87	Eriguchi Y	血液内科	Decreased secretion of Paneth cell $\alpha$ -defensin in graft-versus-host disease.	Transpl Infect Dis
88	Takashima S	血液内科	Effects of conditioning intensity in allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	Int J Hematol.
89	Schmeel LC	血液内科	In vitro efficacy of cinnarizine against lymphoma and multiple myeloma.	Anticancer Res

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	Schmeel LC	血液内科	Flunarizine exhibits in vitro efficacy against lymphoma and multiple myeloma cells.	Anticancer Res
91	Tsutsumi Y	血液内科	Analysis of the influence of dabigatran on coagulation factors and inhibitors.	Int J Lab Hematol
92	Nishida M	血液内科	Ultrasonographic evaluation of gastrointestinal graft-versus-host disease after hematopoietic stem cell transplantation.	Clin Transplant
93	Hayase E	血液内科	Primary Bone Lymphoma: A Clinical Analysis of 17 Patients in a Single Institution.	Acta Haematol
94	Ishio T	血液内科	Human Herpesvirus-6 pneumonitis around the engraftment of cord blood transplantation following foscarnet prophylaxis in a patient with acute leukemia.	Case Rep Hematol
95	Takahashi N	血液内科	Multicenter phase II clinical trial of nilotinib for patients with imatinib-resistant or -intolerant chronic myeloid leukemia from the East Japan CML study group evaluation of molecular response and the efficacy and safety of nilotinib.	Biomark Res.
96	Suehiro Y	血液内科	Clinical outcomes of a novel therapeutic vaccine with Tax peptide-pulsed dendritic cells for adult T cell leukaemia/lymphoma in a pilot study.	Br J Haematol.
97	Ishio T	血液内科	Human Herpesvirus-6 Pneumonitis around the Engraftment of Cord Blood Transplantation following Foscarnet Prophylaxis in a Patient with Acute Leukemia.	Case Rep Hematol.
98	Miyauchi T	血液内科	CD4/CD8 Double-negative T-cell Lymphoma: A Variant of Primary Cutaneous CD8+ Aggressive Epidermotropic Cytotoxic T-cell Lymphoma?	Acta Derm Venereol.
99	Imafuku K	血液内科	Erythema annulare centrifugum-like mycosis fungoides after unrelated bone marrow transplantation.	British J Haematol
100	Haga N	血液内科	Mucocutaneous pyoderma gangraenosa due to trisomy 8 neutrophilic infiltrates in a patient with myelodysplastic syndrome.	Br J Dermatol.
101	Ochando J	血液内科	The mononuclear phagocyte system in organ transplantation.	Am J Transplant.
102	Ogata M	血液内科	Human herpesvirus-6 encephalitis after allogeneic hematopoietic cell transplantation: What we do and do not know.	Bone Marrow Transplant.
103	Teshima T	血液内科	The primacy of IL-6 in IPS?	Blood

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
104	Tsutsumi Y	血液内科	Hepatitis B virus reactivation with a rituximab-containing regimen.	World J Hepatol
105	Teshima T	血液内科	Acute Graft-versus-Host Disease: Novel Biological Insights.	Biol Blood Marrow Transplant.
106	Nakano K, Yasuda K, Shibuya H, Moriyama T, Kahata K, Shimizu C	1Division of Laboratory and Transfusion Medicine, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan.	Transient human anti-mouse antibody generated with immune enhancement in a carbohydrate antigen 19-9 immunoassay after surgical resection of recurrent cancer	Ann Clin Biochem
107	増田 裕弥	検査・輸血部	Diverse CD36 expression among Japanese population: defective CD36 mutations cause platelet and monocyte CD36 reductions in not only deficient but also normal phenotype subjects.	Thromb Res
108	Okada K, Yamada S, Iwano H, Nishino H, Nakabachi M, Yokoyama S, Abe A, Ichikawa A, Kaga S, Nishida M, Hayashi T, Murai D, Mikami T, Tsutsui H	検査・輸血部(筆頭保健学科, 循環器内科共著)	Myocardial shortening in three orthogonal directions and its transmural variation in patients with nonobstructive hypertrophic cardiomyopathy	Circ J
109	Nishida M, Shigematsu A, Sato M, Kudo Y, Omotehara S, Horie T, Iwai T, Endo T, Iguchi A, Shibuya H, Hatanaka K, Shimizu C, Teshima T	検査・輸血部	Ultrasonographic evaluation of gastrointestinal graft-versus-host disease after hematopoietic stem cell transplantation.	Clin Transplant
110	Shibasaki S, Takahashi N, Homma S, Nishida M, Shimokuni T, Yoshida T, Kawamura H, Oyama-Manabe N, Kudo K, Taketomi A	検査・輸血部(筆頭消化器外科)	Use of transabdominal ultrasonography to preoperatively determine T-stage of proven colon cancers.	Abdom Imaging
111	Tomiyama Y, Yoshinaga K, Fujii S, Ochi N, Inoue M, Nishida M, Aziki K, Horie T, Katoh C, Tamaki N	検査・輸血部(保健学科筆頭, 核医学共著)	Accurate quantitative measurements of brachial artery cross-sectional vascular area and vascular volume elastic modulus using automated oscillometric measurements: comparison with brachial artery ultrasound	Hypertens Res
112	Sakano R, Kamishima T, Nishida M, Horie T	検査・輸血部(保健学科筆頭)	Power Doppler signal calibration between ultrasound machines by use of a capillary-flow phantom for pannus vascularity in rheumatoid finger joints: a basic study	Radiol Phys Technol
113	Omotehara S, Nishida M, Satoh M, Inoue M, Kudoh Y, Horie T, Homma A, Nakamaru Y, Hatanaka KC, Shimizu C	検査・輸血部	Sonographic findings of immunoglobulin G4-related sclerosing sialadenitis	J Med Ultrasonics
114	Ochi N, Yoshinaga K, Ito YM, Tomiyama Y, Inoue M, Nishida M, Manabe O, Shibuya H, Shimizu C, Suzuki E, Fujii S, Katoh C, Tamaki N	検査・輸血部(保健学科筆頭, 核医学共著)	Comprehensive assessment of impaired peripheral and coronary artery endothelial function in smokers using brachial artery ultrasound and oxygen-15-labeled water PET	J Cardiol
115	Yoshitani K, Asakawa N, Sakakibara M, Noguchi K, Tokuda Y, Kamiya K, Iwano H, Yamada S, Kudou Y, Nishida M, Shimizu C, Amano T, Tsutsui H	検査・輸血部(筆頭循環器内科)	Value of virtual touch quantification elastography for assessing liver congestion in patients with heart failure	Circ J

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
116	Hayase S, Sasaki Y, Matsubara T, Seo D, Miyakoshi M, Murata T, Ozaki T, Kakudo K, Kumamoto K, Ylaya K, Cheng SY, Thorgeirsson SS, Hewitt SM, Ward JM, Kimura S	Oral Medicine	Expression of stanniocalcin 1 in thyroid side population cells and thyroid cancer cells.	Thyroid. 25(4):425-436, 2015.
117	Yamada S, Yanamoto S, Otani S, Hasegawa T, Miyakoshi M, Minamikawa T, Ohga N, Kamata T, Komori T, Kitagawa Y, Kurita H, Umeda M	Oral Medicine	Evaluation of the level of progression of extracapsular spread for cervical lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma.	Int J Oral Maxillofac Surg. 45(2):141-146, 2016.
118	Sugiyama M, Saeki A, Hasebe A, Kamesaki R, Yoshida Y, Kitagawa Y, Suzuki T, Shibata K	Oral Medicine	Activation of inflammasomes in dendritic cells and macrophages by Mycoplasma salivarium.	Mol oral Microbiol. 31(3):259-69,2016.
119	Sato J, Kuroshima T, Wada M, Satoh A, Watanabe S, Okamoto S, Shiga T, Tamaki N, Kitagawa Y	Oral Medicine	Use of FDG-PET to detect a chronic odontogenic infection as a possible source of the brain abscess.	Odontology. 104(2):239-43, 2016.
120	Liu Z, Yamamoto T, Hasegawa T, Hongo H, Tsuboi K, Tsuchiya E, Haraguchi M, Abe M, Freitas PH, Kudo A, Oda K, Li M, Amizuka N	Oral Medicine	Immunolocalization of osteocyte-derived molecules during bone fracture healing of mouse ribs.	Biomed Res. in press
121	Tanaka Y, Hasegawa T, Yamada T, Yamamoto T, Sasaki M, Hongo H, Tsuboi K, Haraguchi M, de Freitas PH, Li M, Oda K, Totsuka Y, Tei K, Amizuka N	Oral Medicine	Histological assessment for femora of ovariectomized obesity (db/db) mice carrying mutated leptin receptor.	Histol Histopathol. in press
122	Oouchi M, Hasebe A, Hata H, Segawa T, Yamazaki Y, Yosida Y, Kitagawa Y, Shibata KI	Oral Medicine	Age-related alteration of expression and function of TLRs and NK activity in oral candidiasis.	Oral Dis 21(5):645-651 2015.
123	Fatema CN, Sato J, Yamazaki Y, Hata H, Hattori N, Shiga T, Tamaki N, Kitagawa Y	Oral Medicine	FDG-PET may predict the effectiveness of hyperbaric oxygen therapy in a patient with bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw: report of a case.	Odontology 103(1):105-8, 2015.
124	Satoh A, Ohga N, Asaka T, Kitagawa Y	Oral Medicine	Marked bone production from the mandibular head to the reconstructed fibula after chemoradiotherapy for the recurrent tumor.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 27(6): 829-833, 2015
125	Ohga N, Yamazaki Y, Tsuboi K, Kitagawa Y	Oral Medicine	Healing of osteonecrosis of the jaw (ONJ) after discontinuation of denosumab in a patient with bone metastases of colorectal cancer: a case report and hypothesis	Quintessence Int. 46(7):621-626, 2015.
126	Wada M, Sato J, Shindoh M, Ujiie H, Natsuga K, Nishie W, Shimizu H, Kitagawa Y	Oral Medicine	Anti-BP180-type mucous membrane pemphigoid: Report of two cases.	Odontology. 104(1): 114-118, 2016.
127	Murata T, Ishikawa M, Kyan-Onodera M, Kitagawa Y	Oral Medicine	Accidental leakage of root canal filling material into the greater palatine canal diagnosed by computed tomography scan: unusual complications after root canal therapy.	Oral Radiol 32(1): 66-70, 2016.
128	Mikoya T, Shibukawa T, Susami T, Sato Y, Tengan T, Katashima H, Oyama A, Matsuzawa Y, Ito Y, Funayama E	高次口腔医療センター	Dental Arch Relationship Outcomes in One- and Two-Stage Palatoplasty for Japanese Patients with Complete Unilateral Cleft Lip and Palate.	Cleft Palate Craniofac J. 52(3): 277-286, 2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
129	Matsushita K, Inoue N, Yamaguchi H, Mikoya T, Tei K	高次口腔医療センター	Post-operative stability after bimaxillary surgery in patients with facial asymmetry: Comparison of differences among different original skeletal class patterns	J Maxillofac Oral Surg. 14(3): 789-798, 2015
130	Uekita H, Takahashi S, Domon T, Yamaguchi T	高次口腔医療センター	Changes in collagens and chondrocytes in the temporomandibular joint cartilage in growing rats fed a liquid diet.	Ann Anat. 202: 78-87, 2015.
131	Mai Ohtsuka, Tomoo Kaneko, Junichiro Iida:	高次口腔医療センター	Effectiveness of training methods to improve orbicularis oris muscle endurance in patients with incompetent lips.	Orthodontic Waves. 74(4):99-104,2015.
132	Murata T, Ishikawa M, Kyan-Onodera M, Kitagawa Y:	高次口腔医療センター	Accidental leakage of root canal filling material into the greater palatine canal diagnosed by computed tomography scan: unusual complications after root canal therapy.	Oral Radiol 32(1): 66-70, 2016.
133	Matsumoto M, Mine A, Miura J, Minamino T, Iwashita T, Nakatani H, Nishida T, Takeshige F, Yatani H	歯冠修復科	Bonding effectiveness and multi-interfacial characterization of two direct buildup resin core systems bonded to post-space dentin.	Clin Oral Investig. 2016 Mar 22. [Epub ahead of print]
134	Saikaew P, Chowdhury AF, Fukuyama M, Kakuda S, Carvalho RM, Sano H	歯冠修復科	The effect of dentine surface preparation and reduced application time of adhesive on bonding strength.	J Dent.47:63-70, 2016 Apr
135	Hoshika S, De Munck J, Sano H, Sidhu SK, Van Meerbeek B	歯冠修復科	Effect of Conditioning and Aging on the Bond Strength and Interfacial Morphology of Glass-ionomer Cement Bonded to Dentin.	J Adhes Dent. 17(2):141-146,2015 Apr
136	Higashi M, Matsumoto M, Kawaguchi A, Miura J, Minamino T, Kabetani T, Takeshige F, Mine A, Yatani H	歯冠修復科	Bonding effectiveness of self-adhesive and conventional-type adhesive resin cements to CAD/CAM resin blocks. Part 1: Effects of sandblasting and silanization	Dent Mater J. 35(1): 21-28, 2016
137	Kawaguchi A, Matsumoto M, Higashi M, Miura J, Minamino T, Kabetani T, Takeshige F, Mine A, Yatani H	歯冠修復科	Bonding effectiveness of self-adhesive and conventional-type adhesive resin cements to CAD/CAM resin blocks. Part 2: Effect of ultrasonic and acid cleaning.	Dent Mater J. 35(1): 29-36, 201
138	Minamino T, Mine A, Matsumoto M, Sugawa Y, Kabetani T, Higashi M, Kawaguchi A, Ohmi M, Awazu K, Yatani H.	歯冠修復科	Nondestructive observation of teeth post core-space using optical coherence tomography: comparison with microcomputed tomography and live images.	J Biomed Opt. 20(10): 1070011-1070015, 2015
139	Kakuda S, Sidhu SK, Sano H	歯冠修復科	Buffering or non-buffering, an action of pit-and fissure sealants.	J Dent.43(10):1285-1289,2015 Oct
140	Kawano S, Fu J, Saikaew P, Chowdhury AF, Fukuzawa N, Kadowaki Y, Kakuda S, Hoshika S, Nakaoki Y, Ikeda T, Tanaka T, Sano H	歯冠修復科	Microtensile bond strength of a newly developed resin cement to dentin.	Dent Mater J.34(1):61-69,2015
141	Ting S, Chowdhury AF, Pan F, Fu J, Sun J, Kakuda S, Hoshika S, Matsuda Y, Ikeda T, Nakaoki Y, Abe S, Yoshida Y, Sano H	歯冠修復科	Effect of remaining dentin thickness on microtensile bond strength of current adhesive systems.	Dent Mater J.34(2):181-188,2015
142	Kadowaki Y, Kakuda S, Kawano S, Katsumata A, Ting S, Hoshika S, Ikeda T, Tanaka T, Carvalho RM, Sano H	歯冠修復科	Bond performance of "Touch and Cure" adhesives on resin core systems.	Dent Mater J.35(3):386-391,2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
143	Yoshida T, Miyaji H, Otani K, Inoue K, Nakane K, Nishimura H, Ibara A, Shimada A, Ogawa K, Nishida E, Sugaya T, Sun L, Fugetsu B, Kawanami M	歯周・歯内療法科	Bone augmentation using a highly porous PLGA/ $\beta$ -TCP scaffold containing fibroblast growth factor-2	J Periodont Res
144	Nishida E, Miyaji H, Umeda J, Kondoh K, Takita H, Kanayama I, Tanaka S, Kato A, Fugetsu B, Akasaka T, Kawanami M	歯周・歯内療法科	Biological response to nanostructure of carbon nanotube/titanium composite Surfaces	Nano Biomedicine
145	Umeda J, Fugetsu B, Nishida E, Miyaji H, Kondoh K	歯周・歯内療法科	Friction behavior of network-structured CNT coating on pure titanium plate	Appl Surf Sci
146	Sugaya T, Nakatsuka M, Motoki Y, Inoue K, Tanaka S, Miyaji H, Kawanami M, Sakagami R	歯周・歯内療法科	Sealing the gap of vertical root fracture through the root canal	Dntistry
147	Morozumi T, Nakagawa T, Nomura Y, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobayashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K, Sekino S, Numabe Y, Fukaya C, Yoshinari N, Fukuda M, Noguchi T, Kono T, Umeda M, Fujise O, Nishimura F, Yoshimura A, Hara Y, Nakamura T, Noguchi K, Kakuta E, Hanada N, Takashiba S, Yoshie H	歯周・歯内療法科	Salivary pathogen and serum antibody to assess the progression of chronic periodontitis. A 24-month prospective multicenter cohort study	J Periodontal Res
148	Sugaya T, Tomita M, Motoki Y, Miyaji H, Kawamami M	歯周・歯内療法科	Influence of enamel matrix derivative on healing of root surfaces after bonding treatment and intentional replantation of vertically fractured roots	Dent Traumatol
149	Suzuki M, Watanabe M, Nakamaru Y, Takagi D, Takahashi H, Fukuda S, Hatakeyama S.	耳鼻咽喉科	TRIM39 negatively regulates the NF $\kappa$ B-mediated signaling pathway through stabilization of Cactin.	Cell Mol Life Sci. 73:1085-1101.
150	Sakashita T, Homma A, Hatakeyama H, Furusawa J, Kano S, Mizumachi T, Iizuka S, Onimaru R, Tsuchiya K, Yasuda K, Shirato H, Fukuda S	耳鼻咽喉科	Comparison of acute toxicities associated with cetuximab-based bioradiotherapy and platinum-based chemoradiotherapy for head and neck squamous cell carcinomas: A single-institution retrospective study in Japan.	Acta Otolaryngol. 135:853-858.
151	Sakashita T, Homma A, Hatakeyama H, Furusawa J, Kano S, Mizumachi T, Iizuka S, Onimaru R, Tsuchiya K, Yasuda K, Shirato H, Fukuda S	耳鼻咽喉科	Clinical outcomes of weekly cisplatin chemoradiotherapy for patients with pyriform sinus cancer.	Int J Clin Oncol. 20:1081-1085.
152	Sakashita T, Hayashi R, Homma A, Matsuura K, Kato K, Kawabata K, Monden N, Hasegawa Y, Onitsuka T, Fujimoto Y, Iwae S, Okami K, Matsuzuka T, Yoshino K, Fujii M.	耳鼻咽喉科	Multi-institutional retrospective study for the evaluation of ocular function-preservation rates in maxillary sinus squamous cell carcinomas with orbital invasion.	Head Neck. 37:537-542.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
153	Nakamaru Y, Takagi D, Homma A, Hatakeyama S, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Oxidative stress regulates IL-4 gene expression in mast cells through the reduction of histone deacetylase.	Otolaryngol Head Neck Surg. 152:48-52.
154	Morita S, Nakamaru Y, Homma A, Sakashita T, Hatakeyama H, Masuya M, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Comparison of hearing outcomes after treatment for early stage external auditory canal cancer.	Head Neck. 38:E1110-E1116.
155	Mizumachi T, Homma A, Kakizaki T, Sakashita T, Kano S, Hatakeyama H, Tsuchiya K, Yasuda K, Onimaru R, Shirato H, Taguchi J, Shimizu Y, Kinoshita I, Akita H, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Feasibility and efficacy of induction docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil chemotherapy combined with concurrent weekly cisplatin chemoradiotherapy for locally advanced head and neck squamous cell carcinoma.	Int J Clin Oncol. 20:431-437.
156	Homma A, Yamada Y, Nakamaru Y, Fukuda S, Honma K, Honma S.	耳鼻咽喉科	Glucocorticoids Reset the Nasal Circadian Clock in Mice.	Endocrinology. 156:4302-4311.
157	Homma A, Sakashita T, Hatakeyama H, Kano S, Mizumachi T, Nakamaru Y, Yoshida D, Onimaru R, Tsuchiya K, Yasuda K, Shirato H, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	The efficacy of superselective intra-arterial infusion with concomitant radiotherapy for adenoid cystic carcinoma of the head and neck.	Acta Otolaryngol. 135:950-954.
158	Homma A, Nakamura K, Matsuura K, Mizusawa J, Onimaru R, Fukuda H, Fujii M.	耳鼻咽喉科	Dose-finding and efficacy confirmation trial of superselective intra-arterial infusion of cisplatin and concomitant radiotherapy for patients with locally advanced maxillary sinus cancer (JCOG1212, RADPLAT-MS).	Jpn J Clin Oncol. 45:119-122.
159	Homma A, Nakamaru Y, Sakashita T, Onimaru R, Terasaka S, Tsuchiya K, Yoshida D, Yasuda K, Hatakeyama H, Furusawa J, Mizumachi T, Kano S, Shirato H, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Management for squamous cell carcinoma of the nasal cavity and ethmoid sinus: A single institution experience.	Auris Nasus Larynx. 42:377-381.
160	Homma A, Nakamaru Y, Hatakeyama H, Mizumachi T, Kano S, Furusawa J, Sakashita T, Shichinohe T, Ebihara Y, Hirano S, Furukawa H, Hayashi T, Yamamoto Y, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Early and long-term morbidity after minimally invasive total laryngo-pharyngo-esophagectomy with gastric pull-up reconstruction via thoracoscopy, laparoscopy and cervical incision.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 272:3551-3556.
161	Homma A, Hatakeyama H, Mizumachi T, Furusawa J, Kano S, Sakashita T, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Lymph node metastasis in the suprasternal space from thyroid papillary cancer.	Int Canc Conf J. 4:57-60.
162	Hatakeyama H, Takahashi H, Oridate N, Kuramoto R, Fujiwara K, Homma A, Takeda H, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Hangeshashinto improves the completion rate of chemoradiotherapy and the nutritional status in patients with head and neck cancer.	ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec. 77:100-108.
163	Fukuda A, Tagami Y, Takasawa A, Sugita S, Kuramoto R, Imai S, Hasegawa T, Iizuka K.	耳鼻咽喉科	<Case report> Nasopharyngeal hyalinizing clear cell carcinoma with EWSR1 rearrangements diagnosed by fluorescence in situ hybridization.	Auris Nasus Larynx. 42:412-415.
164	Fujiwara K, Furuta Y, Nakamaru Y, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Comparison of facial synkinesis at 6 and 12 months after the onset of peripheral facial nerve palsy .	Auris Nasus Larynx. 42:271-274.
165	Fujiwara K, Furuta Y, Fukuda S.	耳鼻咽喉科	Idiopathic oculostapedial synkinesis without history of facial nerve palsy.	Otology & Neurotology. 36:510-512.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
166	Sugawara S, Oizumi S, Minato K, Harada T, Inoue A, Fujita Y, Maemondo M, Yoshizawa H, Ito K, Gemma A, Nishitsuji M, Harada M, Isobe H, Kinoshita I, Morita S, Kobayashi K, Hagiwara K, Kurihara M, Nukiwa T	1Department of Pulmonary Medicine, Sendai Kousei Hospital, Sendai. 2First Department of Medicine, Hokkaido University School of Medicine, Sapporo soizumi@med.hokudai.ac.jp. 3Department of Respiratory Medicine, Gunma Prefectural Cancer Center, Gunma. 4Center for Respiratory Diseases, JCHO Hokkaido Hospital, Sapporo. 5Department of Respiratory Medicine, Tohoku University Hospital, Sendai. 6Department of Respiratory Medicine, National Hospital Organization Asahikawa Medical Center, Asahikawa. 7Department of Respiratory Medicine, Miyagi Cancer Center, Natori. 8Bioscience Medical Research Center, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata. 9Department of Respiratory Medicine, Niigata City General Hospital, Niigata. 10Department of Pulmonary Medicine and Oncology, Nippon Medical School, Graduate School of Medicine, Tokyo. 11Department of Respiratory Medicine, Ishikawa Prefectural Central Hospital, Kanazawa. 12Department of Respiratory Medicine, National Hospital Organization Hokkaido Cancer Center, Sapporo. 13Department of Medical	Randomized phase II study of concurrent versus sequential alternating gefitinib and chemotherapy in previously untreated non-small cell lung cancer with sensitive EGFR mutations: NEJ005/TCOG0902	Ann Oncol 26: 888-94

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
167	Iida T, Shiba M, Yoshino I, Miyaoka E, Asamura H, Date H, Okumura M, Tada H, Nakanishi Y, Dosaka-Akita H, Kobayashi H, Takahashi K, Inoue M, Yokoi K; Japanese Joint Committee of Lung Cancer Registry	<p>#Department of Thoracic Surgery, Kimitsu Central Hospital, Chiba, Japan; Department of General Thoracic Surgery, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, Japan; Department of Mathematics, Science University of Tokyo, Tokyo, Japan; § Division of Thoracic Surgery, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan; Department of Thoracic Surgery, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan; Department of General Thoracic Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan; #Department of General Thoracic Surgery, Suita Tokushukai Hospital, Osaka, Japan; **Department of Clinical Medicine, Research Institute for Diseases of the Chest, Faculty of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan; Department of Medical Oncology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan; Division of Respiratory Disease, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan; § § Division of Respiratory Medicine, Juntendo University Faculty of Medicine &amp; Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan; and Department of</p>	Surgical Intervention for Non-Small-Cell Lung Cancer Patients with Pleural Carcinomatosis: Results From the Japanese Lung Cancer Registry in 2004	J Thorac Oncol 10:1076-82

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
168	Yamada Y, Tomaru U, Ishizu A, Ito T, Kiuchi T, Ono A, Miyajima S, Nagai K, Higashi T, Matsuno Y, Dosaka-Akita H, Nishimura M, Miwa S, Kasahara M.	[1] Department of Pathology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan [2] Department of Surgical Pathology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan. 2Department of Pathology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan. 3Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, Sapporo, Japan. 4First Department of Medicine, Hokkaido University School of Medicine, Sapporo, Japan. 5Department of Cellular Pharmacology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan. 6Department of Surgical Pathology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan. 7Department of Medical Oncology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan.	Decreased proteasomal function accelerates cigarette smoke-induced pulmonary emphysema in mice	Lab Invest 95:625-34
169	Komohara Y, Morita T, Annan DA, Horlad H, Ohnishi K, Yamada S, Nakayama T, Kitada S, Suzu S, Kinoshita I, Dosaka-Akita H, Akashi K, Takeya M, Jinushi M	1Department of Cell Pathology, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan. 2Research Center for Infection-Associated Cancer, Institute for Genetic Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan. 3Department of Pathology and Cell Biology, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan.	The coordinated actions of TIM-3 on cancer and myeloid cells in the regulation of tumorigenicity and clinical prognosis in clear cell renal cell carcinomas	Cancer Immunol Res 3(9):999-1007.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
170	Ito S (DC), Barrett AJ, Dutra A, Pak E, Miner S, Keyvanfar K, Hensel NF, Rezvani K, Muranski P, Liu P, Melenhorst JJ, Larochelle A.	1Hematology Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health, Bethesda, MD 20892, USA. Electronic address: itos2@mail.nih.gov. 2Hematology Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health, Bethesda, MD 20892, USA. 3Cytogenetics and Microscopy Core, Department of Laboratory Medicine, Miyagi Cancer Center, 47-1 Nodayama, Medeshima-Shiode, Natori 981-1293, Japan. Electronic address: fukuhara-tatsuro@miyagi-pho.jp.	A. Long term maintenance of myeloid leukemic stem cells cultured with unrelated human mesenchymal stromal cells.	Stem Cell Res. 14: 95-104
171	Fukuhara T, Maemondo M, Inoue A, Kobayashi K, Sugawara S, Oizumi S, Isobe H, Gemma A, Harada M, Yoshizawa H, Kinoshita I, Fujita Y, Saijo Y, Hagiwara K, Morita S, Nukiwa T	1Department of Laboratory Medicine, Miyagi Cancer Center, 47-1 Nodayama, Medeshima-Shiode, Natori 981-1293, Japan. Electronic address: fukuhara-tatsuro@miyagi-pho.jp. 2Department of Respiratory Medicine, Miyagi Cancer Center, 47-1 Nodayama, Medeshima-Shiode, Natori 981-1293, Japan. 3Department of Preventive Medicine, Tohoku University School of Medicine, 1-1, Seiryochō, Aobaku, Sendai 980-8574, Japan. Electronic address: akinoue@idac.tohoku.ac.jp.	Factors associated with a poor response to gefitinib in the NEJ002 study: smoking and the L858R mutation	Lung Cancer 88: 181-186
172	Inoue A, Sugawara S, Maemondo M, Mori Y, Oizumi S, Harada M, Taima K, Morikawa N, Ishida T, Kinoshita I, Watanabe H, Suzuki T, Nakagawa T, Saito R, Nukiwa T	2Department of Pulmonary Medicine, Sendai Kousei Hospital, Sendai, Japan. 3Department of Respiratory Medicine, Miyagi Cancer Center, Natori, Japan.	Randomized phase II trial comparing amrubicin with re-challenge of platinum doublet in patients with sensitive-relapsed small-cell lung cancer: North Japan Lung Cancer Study Group trial 0702	Lung Cancer 89: 61-65
173	Ito S (DC), Jain NA, Tian X, Kurlander R, Battiwalla M, Lu K, Savani BN, Malkovska V, Rezvani K, Le RQ, Shenoy A, Hourigan CS, Keyvanfar K, Koklanaris E, Superata J, Muranski P, Barrett AJ, Yong AS.	1Hematology Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA. 2Office of Biostatistics Research, National Heart, Lung and Blood Institute, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA. 3Department of Laboratory Medicine, Clinical Research Center, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA. 4Hematology/Oncology, Washington Cancer Institute, Medstar Washington Hospital Center, Washington, DC, USA.	Clinical and biological predictors of outcome following relapse of CML post-allo-SCT. Bone Marrow Transplant.	Bone Marrow Transplant 50 : 189

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
174	Honma R, Kinoshita I, Miyoshi E, Tomaru U, Matsuno Y, Shimizu Y, Takeuchi S, Kobayashi Y, Kaga K, Taniguchi N, Dosaka-Akita H	1Department of Medical Oncology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan.	Expression of fucosyltransferase 8 is associated with an unfavorable clinical outcome in non-small cell lung cancers	Oncology 88: 298-308
175	Ohhara Y, Suenaga M, Matsusaka S, Shinozaki E, Mizunuma N, Yamaguchi T	1Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan ; Department of Medical Oncology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Hokkaido, Japan.2Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.3Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Comparison between the three oxaliplatin-based regimens with bevacizumab in patients with metastatic colorectal cancer	Onco Targets Ther 8:529-537
176	Mizumachi T, Homma A, Kakizaki T, Sakashita T, Kano S, Hatakeyama H, Tsuchiya K, Yasuda K, Onimaru R, Shirato H, Taguchi J, Shimizu Y, Kinoshita I, Akita H, Fukuda S	1Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Kita 15, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-8638, Japan, mizumati@med.hokudai.ac.jp.	Feasibility and efficacy of induction docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil chemotherapy combined with concurrent weekly cisplatin chemoradiotherapy for locally advanced head and neck squamous cell carcinoma	Int J Clin Oncol 20: 431-437
177	Yokouchi H, Ishida T, Yamazaki S, Kikuchi H, Oizumi S, Uramoto H, Tanaka F, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Fukuhara T, Takamura K, Kojima T, Harada T, Higuchi M, Matsuura Y, Honjo O, Minami Y, Watanabe N, Nishihara H, Suzuki H, Dosaka-Akita H, Isobe H, Nishimura M, Munakata M.	1Department of Pulmonary Medicine, Fukushima Medical University, Fukushima 960-1295, Japan. Electronic address: hyokouch@gmail.com. 2Department of Pulmonary	Prognostic impact of clinical variables on surgically resected small-cell lung cancer: Results of a retrospective multicenter analysis (FIGHT002A and HOT1301A).	Lung Cancer 90:548-553

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
178	Taichi Takashina, 1 Ichiro Kinoshita, corresponding author 2 Junko Kikuchi, 1 Yasushi Shimizu, 2 Jun Sakakibara-Konishi, 1 Satoshi Oizumi, 1 Masaharu Nishimura, 1 and Hirotochi Dosaka-Akita 2	1First Department of Medicine, Hokkaido University School of Medicine, Sapporo, Japan 2Department of Medical Oncology, Hokkaido University Graduate School of Medicine	Combined inhibition of EZH2 and histone deacetylases as a potential epigenetic therapy for non-small-cell lung cancer cells.	Cancer Sci 107(7):955-62.
179	Aiman Z. Elmansuri1, Mishie A. Tanino1, Roshan Mahabir1, Lei Wang2, Taichi Kimura2, Hiroshi Nishihara2, Ichiro Kinoshita3, Hirotochi Dosaka-Akita3, Masumi Tsuda1 and Shinya Tanaka1,2	Pathology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan 2 Department of Translational Pathology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan 3 Department of Medical Oncology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan	Novel signaling collaboration between TGF-beta and adaptor protein Crk facilitates EMT in human lung cancer	Oncotarget 10;7(19):27094-107.
180	Yoshihara T, Yawaka Y	小児・障害者歯科	Restricted daily feeding of liquid meal reduces the motivation of rats to get food.	J BEHAVIORAL AND BRAIN SCIENCES
181	Ushimura S, Nakamura K, Matsuda Y, Minamikawa H, Abe S, Yawaka Y	小児・障害者歯科	Assessment of the inhibitory effects of fissure sealants on the demineralization of primary teeth using an automatic pH-cycling system.	Dent Mater J
182	Abe S, Seitoku E, Iwadera N, Hamba Y, Yamagata S, Akasaka T, Kusaka T, Inoue S, Yawaka Y, Iida J, Sano H, Yonezawa T, Yoshida Y	小児・障害者歯科	Estimation of biocompatibility of nano-sized ceramic particles with osteoblasts, osteosarcomas and hepatocytes by static and time-lapse observation.	J Biomed Nanotechnol
183	Maezawa H, Onishi K, Yagyū K, Shiraishi H, Hirai Y, Funahashi M	小児科	Modulation of stimulus-induced 20-Hz activity for the tongue and hard palate during tongue movement in humans	Clin Neurophysiol.
184	Ueda Y, Egawa K, Ito T, Takeuchi F, Nakajima M, Otsuka K, Asahina N, Takahashi K, Nakane S, Kohsaka S, Shiraishi H	小児科	The presence of short and sharp MEG spikes implies focal cortical dysplasia.	Epilepsy Res.
185	Ichihara-Takeda S, Yazawa S, Murahara T, Toyoshima T, Shinozaki J, Ishiguro M, Shiraishi H, Ikeda N, Matsuyama K, Funahashi S, Nagamine T.	小児科	Modulation of Alpha Activity in the Parieto-occipital Area by Distractors during a Visuospatial Working Memory Task: A Magnetoencephalographic Study	J Cogn Neurosci.
186	Ito T, Otsubo H, Shiraishi H, Yagyū K, Takahashi Y, Ueda Y, Takeuchi F, Takahashi K, Nakane S, Kohsaka S, Saitoh S.	小児科	Advantageous information provided by magnetoencephalography for patients with neocortical epilepsy.	Brain Dev.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
187	Nakajima M, Widjaja E, Baba S, Sato Y, Yoshida R, Tabei M, Okazaki A, Sakuma S, Holowka SA, Ochi A, Snead OC 3rd, Rutka JT, Drake JM, Shiraishi H, Doesburg S, Otsubo H	小児科	Remote MEG dipoles in focal cortical dysplasia at bottom of sulcus.	Epilepsia
188	Komatsu Y, Okita K, Yuki S, Furuhata T, Fukushima H, Masuko H, Kawamoto Y, Isobe H, Miyagishima T, Sasaki K, Nakamura M, Ohsaki Y, Nakajima J, Tateyama M, Eto K, Minami S, Yokoyama R, Iwanaga I, Shibuya H, Kudo M, Oba K, Takahashi Y.	腫瘍センター	Open-label, randomized, comparative, phase III study on effects of reducing steroid use in combination with Palonosetron.	Cancer Sci
189	Komatsu Y, Ishioka C, Shimada K, Yamada Y, Gamoh M, Sato A, Yamaguchi T, Yuki S, Morita S, Takahashi S, Goto R, Kurihara M.	腫瘍センター	Study protocol of the TRICOLORE trial: a randomized phase III study of oxaliplatin-based chemotherapy versus combination chemotherapy with S-1, irinotecan, and bevacizumab as first-line therapy for metastatic colorectal cancer.	BMC Cancer
190	Komatsu Y, Ohki E, Ueno N, Yoshida A, Toyoshima Y, Ueda E, Houzawa H, Togo K, Nishida T	腫瘍センター	Safety, efficacy and prognostic analyses of sunitinib in the post-marketing surveillance study of Japanese patients with gastrointestinal stromal tumor.	Jpn J Clin Oncol
191	Komatsu Y, Doi T, Sawaki A, Kanda T, Yamada Y, Kuss I, Demetri GD, Nishida T	腫瘍センター	Regorafenib for advanced gastrointestinal stromal tumors following imatinib and sunitinib treatment: a subgroup analysis evaluating Japanese patients in the phase III GRID trial.	Int J Clin Oncol
192	Kobayashi Y, Komatsu Y, Yuki S, Fukushima H, Sasaki T, Iwanaga I, Uebayashi M, Okuda H, Kusumi T, Miyagishima T, Sogabe S, Tateyama M, Hatanaka K, Tsuji Y, Nakamura M, Konno J, Yamamoto F, Onodera M, Iwai K, Sakata Y, Abe R, Oba K, Sakamoto N.	腫瘍センター	Randomized controlled trial on the skin toxicity of panitumumab in Japanese patients with metastatic colorectal cancer: HGCSG1001 study; J-STEPP	Future Oncol
193	Abe Y, Kawakami H, Oba K, Hayashi T, Yasuda I, Mukai T, Isayama H, Ishiwatari H, Doi S, Nakashima M, Yamamoto N, Kuwatani M, Mitsuhashi T, Hasegawa T, Hirose Y, Yamada T, Tanaka M, Sakamoto N	消化器内科	Effect of a stylet on a histological specimen in EUS-guided fine-needle tissue acquisition by using 22-gauge needles: a multicenter, prospective, randomized, controlled trial	Gastrointest Endosc
194	Kawakubo K, Ohnishi S, Hatanaka Y, Hatanaka KC, Hosono H, Kubota Y, Kamiya M, Kuwatani M, Kawakami H, Urano Y, Sakamoto N	消化器内科	Feasibility of Using an Enzymatically Activatable Fluorescence Probe for the Rapid Evaluation of Pancreatic Tissue Obtained Using Endoscopic Ultrasound-Guided Fine Needle Aspiration: a Pilot Study.	Mol Imaging Biol
195	Miyamoto S, Watanabe Y, Oikawa R, Ono S, Mabe K, Kudo T, Yamamoto H, Itoh F, Kato M, Sakamoto N.	光学医療診療部	Analysis of Helicobacter pylori genotypes in clinical gastric wash samples	Tumour Biol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
196	Tsunematsu S, Chuma M, Kamiyama T, Miyamoto N, Yabusaki S, Hatanaka K, Mitsuhashi T, Kamachi H, Yokoo H, Kakisaka T, Tsuruga Y, Orimo T, Wakayama K, Ito J, Sato F, Terashita K, Nakai M, Tsukuda Y, Sho T, Suda G, Morikawa K, Natsuizaka M, Nakanishi M, Ogawa K, Taketomi A, Matsuno Y, Sakamoto N	消化器内科	Intratumoral artery on contrast-enhanced computed tomography imaging: differentiating intrahepatic cholangiocarcinoma from poorly differentiated hepatocellular carcinoma	Abdom Imaging
197	Suda G, Yamamoto Y, Nagasaka A, Furuya K, Kudo M, Chuganji Y, Tsukuda Y, Tsunematsu S, Sato F, Terasita K, Nakai M, Horimoto H, Sho T, Natsuizaka M, Ogawa K, Ohnishi S, Chuma M, Fujita Y, Abe R, Taniguchi M, Nakagawa M, Asahina Y, Sakamoto N; NORTE Study Group.	消化器内科	Serum granulysin levels as a predictor of serious telaprevir-induced dermatological reactions.	Hepatol Res
198	Kawakami H, Kuwatani M, Abe Y, Kawahata S, Kawakubo K, Kubo K, Sakamoto N	消化器内科	A guidewire-assisted biopsy technique to assist advancement through a biliary stricture to perform selective mapping biopsy.	Endoscopy
199	Kawakami H, Kuwatani M, Kawahata S, Kubota Y, Kubo K, Kawakubo K, Sakamoto N	消化器内科	Endoscopic ultrasound-guided pelvic abscess drainage using a dedicated, wide, flared-end, fully covered self-expandable metal stent.	Endoscopy
200	Kawakami H, Kuwatani M, Kawahata S	消化器内科	Peroral ultra-slim endoscopy-guided biliary drainage and stone extraction for postoperative upper gastrointestinal stenosis with a naïve papilla (with videos).	J Hepatobiliary Pancreat Sci
201	Kawakami H, Kuwatani M, Kawakubo K, Kubota Y, Kawahata S, Kubo K, Sakamoto N	消化器内科	Acute pancreatitis-like bile leakage around the portal vein system after endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy.	Endoscopy
202	Kawakami H, Kuwatani M, Kubota Y, Kawahata S, Kubo K, Kawakubo K, Sakamoto N	消化器内科	Endoscopic ultrasound-guided antegrade bile duct stone treatment followed by direct peroral transhepatic cholangioscopy in a patient with Roux-en-Y reconstruction	Endoscopy
203	Kawakami H, Kuwatani M, Sakamoto N	消化器内科	Double Penetrated Duodenal Wall during Endoscopic Ultrasound-Guided Choledochoduodenostomy	Gut Liver
204	Kawakubo K, Kawakami H, Kuwatani M, Sakamoto N.	消化器内科	Education and imaging. Hepatobiliary and pancreatic: A splenic artery aneurysm presenting as a calcified pancreatic mass.	J Gastroenterol Hepatol
205	Kawakubo K, Hata H, Kawakami H, Kuwatani M, Kawahata S, Kubo K, Imafuku K, Kitamura S, Sakamoto N.	消化器内科	Pazopanib-Induced Severe Acute Pancreatitis	Case Rep Oncol
206	Yabe I, Matsushima M, Yoshida K, Ishikawa K, Shirai S, Takahashi I, Sasaki H	神経内科	Rare frequency of downbeat positioning nystagmus in spinocerebellar ataxia type 31.	J Neurol Sci 2015;350(1-2):90-92

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
207	Katayama, K., Misawa, S., Sato, Y., Sobue, G., Yabe, I., Watanabe, O., Nishizawa, M., Kusunoki, S., Kikuchi, S., Nakashima, I., Ikeda, S., Kohara, N., Kanda, T., Kira, J., Hanaoka, H., Kuwabara, S., on behalf of the J-POST Trial study investigators	神経内科	Japanese POEMS syndrome with Thalidomide (J-POST) Trial: study protocol for a phase II/III multi-centre, randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	BMJ Open 5; e007330, 2015
208	Hama Y, Yabe I, Wakabayashi K, Kano T, Hirotani M, Iwakura Y, Utsumi J, Sasaki H	神経内科	Level of plasma neuregulin-1 SMDF is reduced in patients with idiopathic Parkinson's disease.	Neurosci Lett 2015;587:17-21
209	Yaguchi H, Tsuzaka K, Shirai S, Niino M, Takahashi T, Tanaka K, Yabe I, Sasaki H	神経内科	Importance of T1-MRI enhanced pyramidal tracts in differential diagnosis as to paraneoplastic encephalomyelitis.	Clin Neurol Neurosurg. 132:9-11,May,2015
210	Mitsui J, Matsukawa T, Sasaki H, Yabe I, Matsushima M, Alexandra Dürr, Alexis Brice, Takashima H, Kikuchi A, Aoki M, Ishiura H, Yasuda T, Date H, Budrul Ahsan, Iwata A, Goto J, Ichikawa Y, Nakahara Y, Momose Y, Takahashi Y, Hara K, Kakita A, Mitsunori Yamada, Hitoshi Takahashi, Osamu Onodera, Masatoyo Nishizawa, Hirohisa Watanabe, Mizuki Ito, Gen Sobue, Kinya Ishikawa, Hidehiro Mizusawa, Kazuaki Kanai, Takamichi Hattori, Satoshi Kuwabara, Kimihito Arai, Shigeru Koyano, Yoshiyuki Kuroiwa, Kazuko Hasegawa, Tatsuhiko Yuasa, Kenichi Yasui, Kenji Nakashima, Hijiri Ito, Yuishin Izumi, Ryuji Kaji, Takeo Kato, Susumu Kusunoki, Yasushi Osaki, Masahiro Horiuchi, Tomoyoshi Kondo, Shigeo Murayama, Nobutaka Hattori, Mitsutoshi Yamamoto, Miho Murata, Wataru Satake, Tatsushi Toda, Alessandro Filla, Thomas Klockgether, Ullrich Wüllner, Garth Nicholson, Sid Gilman, Caroline M. Tanner, Walter A. Kukull, Mathew B. Stern, Virginia M.-Y. Lee, John Q. Trojanowski, Eliezer Masliah, Phillip A. Low, Paola Sandroni, Laurie J. Ozelius, Tatiana Foroud and Shoji Tsuji	神経内科	Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy.	Annals of Clinical and Translational Neurology, Volume 2, Issue 4, pages 417-426, April 2015
211	Sakushima K, Nishimoto N, Nojima M, Matsushima M, Yabe I, Sato N, Mori M, Sasaki H	神経内科	Epidemiology of Multiple System Atrophy in Hokkaido, the Northernmost Island of Japan.	THE CEREBELLUM, vol14, No6, 682-687, December 2015
212	Nakamura K, Mori F, Tanji K, Miki Y, Yamada M, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K	神経内科	Isopentenyl diphosphate isomerase, a cholesterol synthesizing enzyme, is localized in Lewy bodies.	Neuropathology, 2015 October, 35(5), 432-440
213	Kon T, Miki Y, Tanji K, Mori F, Tomiyama M, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K	神経内科	Localization of nuclear receptor subfamily 4, group a, member 3 (NR4A3) in Lewy body disease and multiple system atrophy.	Neuropathology, 2015 December, 35(6), 503-509
214	Shirai S, Yabe I, Matsushima M, Ito Y, Yoneyama M, Sasaki H	神経内科	Quantitative evaluation of gait ataxia by accelerometers.	J Neurol Sci, 2015 November, 358(1-2), 253-258
215	Mori F, Miki Y, Tanji K, Kakita A, Takahashi H, Utsumi J, Sasaki H, Wakabayashi K	神経内科	Sortilin-related receptor CNS expressed 2 (SorCS2) is localized to Bunina bodies in amyotrophic lateral sclerosis.	Neurosci Lett. 2015 November, 3; 608:6-11.
216	Takahashi I, Hama Y, Matsushima M, Hirotani M, Kano T, Hohzen H, Yabe I, Utsumi J, Sasaki H	神経内科	Identification of plasma microRNAs as a biomarker of sporadic Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Mol Brain. 2015 October 24; 8(1):67.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
217	Ken S, Yamazaki S, Fukuma S, Hayashino Y, Yabe I, Fukuhara S, Sasaki H	神経内科	Influence of urinary urgency and other urinary disturbances on falls in Parkinson's disease.	J Neurol Sci.360(2016),153-157
218	Yabe I, Nakano F, Shirai S, Matsushima M, Takahashi I, Sasaki H	神経内科	Frontotemporal dementia and progressive supranuclear palsy-like syndrome with a novel TARDBP mutation	Neurology and Clinical Neuroscience 2016; 4(2): 76-77
219	Mori Fumiaki, Tanji Kunikazu, Miki Yasuo, Toyoshima Yasuko, Yoshida Mari, Kakita Akiyoshi, Utsumi Jun, Sasaki Hidenao, Wakabayashi Koichi	神経内科	G protein-coupled receptor 26 immunoreactivity in intranuclear inclusions associated with polyglutamine and intranuclear inclusion body diseases.	Neuropathology,2016 Feb;36(1):50-5.
220	Li S, Zhang P, Freibaum BD, Kim NC, Kolaitis RM, Molliex A, Kanagaraj AP, Yabe I, Tanino M, Tanaka S, Sasaki H, Ross ED, Taylor JP, Kim HJ	神経内科	Genetic interaction of hnRNPA2B1 and DNAJB6 in a Drosophila model of multisystem proteinopathy.	Hum Mol Genet. 2016 Mar 1;25(5):936-50.
221	Kadoya K, Lu P, Nguyen K, Lee-Kubli C, Kumamaru H, Yao L, Knackert J, Poplawski G, Dulin JN, Strobl H, Takashima Y, Biane J, Conner J, Zhang SC, Tuszynski MH.	整形外科	Spinal cord reconstitution with homologous neural grafts enables robust corticospinal regeneration.	Nat Med. 2016 Mar 28. [Epub ahead of print]
222	Kondo E, Yasuda K, Kawaguchi Y, Onodera J, Kawaguchi Y, Kitamura N.	整形外科	Effects of remnant tissue preservation on clinical and arthroscopic results after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstructions.	Am J Sports Med. 2015 Aug;43(8):1882-92.
223	Funakoshi T, Furushima K, Momma D, Endo K, Abe Y, Itoh Y, Fujisaki K, Tadanao S, Iwasaki N.	整形外科	Alteration of Stress Distribution Patterns in the Symptomatic Valgus Instability of the Elbow in Baseball Players Using Computed Tomography Osteoabsorptiometry.	Am J Sports Med. In press.
224	Shimizu T, Takahata M, Kameda Y, Endo T, Hamano H, Hiratsuka S, Ota M, Iwasaki N.	整形外科	Sialic acid-binding immunoglobulin-like lectin 15 (Siglec-15) mediates periarticular bone loss, but not joint destruction, in murine antigen-induced arthritis.	Bone. 2015 Oct;79:65-70.
225	Sudo H, Mayer M, Kaneda K, Pereira SN, Shono Y, Hitzl W, Iwasaki N, Koller H:	整形外科	Maintenance of spontaneous lumbar curve correction following thoracic fusion of main thoracic curves in adolescent idiopathic scoliosis.	Bone Joint J, In press
226	Urita A, Funakoshi T, Suenaga N, Oizumi N, Iwasaki N.	整形外科	A combination of subscapularis tendon transfer and small-head hemiarthroplasty for rotator cuff tear arthropathy A PILOT STUDY.	Bone Joint J. 2015 Aug;97(8):1090-95.
227	Sudo H*, Kaneda K, Shono Y, Iwasaki N.	整形外科	Short fusion strategy for thoracolumbar and lumbar adolescent idiopathic scoliosis using anterior dual-rod instrumentation.	Bone Joint J. 2016 Mar;98-b(3):402-9.
228	Tsukuda Y, Onodera T, Ito M, Izumisawa Y, Kasahara Y, Igarashi T, Ohzawa N, Todoh M, Tadano S, Iwasaki N.	整形外科	Therapeutic effects of intra-articular ultra-purified low endotoxin alginate administration on an experimental canine osteoarthritis model.	J Biomed Mater Res A. 2015 Nov;103(11):3441-8.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
229	Iwasaki K, Sudo H, Kasahara Y, Yamada K, Ohnishi K, Tsujimoto T, Iwasaki N	整形外科	Effects of multiple intra-articular injections of 0.5% bupivacaine on normal and osteoarthritic joints in rats.	Arthroscopy. 2016 Apr 29. pii: S0749-8063(16)00132-8. doi: 10.1016/j.arthro.2016.02.011. [Epub ahead of print]
230	Hamano H, Takahata M*, Ota M, Hiratsuka S, Shimizu T, Kameda Y, Iwasaki N	整形外科	Teriparatide Improves Trabecular Osteoporosis but Simultaneously Promotes Ankylosis of the Spine in the Twy Mouse Model for Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis.	Calcif Tissue Int. 2016 Feb;98(2):140-8.
231	Kuroki K, Sudo H, Iwasaki N.	整形外科	Right thoracic thoracolumbar scoliosis.	Spine J .2015 May 1;15(5):1154-5.
232	Sudo H, Kaneda K, Shono Y, Iwasaki N.	整形外科	Selection of the upper vertebra to be instrumented in the treatment of thoracolumbar and lumbar adolescent idiopathic scoliosis by anterior correction and fusion surgery using dual-rod instrumentation: a minimum 12-year follow-up study.	Spine J. 2016 Mar;16(3):281-7. doi: 10.1016/j.spinee.2015.08.021. Epub 2015 Aug 17.
233	Urita A, Funakoshi T, Amano T, Matsui Y, Kawamura D, Kameda Y, Iwasaki N.	整形外科	Predictive Factors of long head biceps tendon disorders—the bicipital groove morphology and subscapularis tendon tear.	J Shoulder Elbow Surg. 2016 Mar;25(3):384-9.
234	Sudo H*, Abe Y, Abumi K, Iwasaki N, Ito M.	整形外科	Surgical treatment of double thoracic adolescent idiopathic scoliosis with a rigid proximal thoracic curve.	Eur Spine J 2016 Feb; 25(2);569-77.
235	Matsui Y, Funakoshi T, Kobayashi H, Mitsuhashi T, Kamishima T, Iwasaki N.	整形外科	Bizarre parosteal osteochondromatous proliferation (Nora's lesion) affecting the distal end of the ulna: a case report.	BMC Musculoskelet Disord. 2016 Mar 16;17(1):130.
236	Kondo E, Kitamura N, Onodera J, Yokota M, Yagi T, Iwasaki N, Yasuda K.	整形外科	Effects of initial graft tension on clinical outcome after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction: Comparison of two graft tension protocols.	BMC Musculoskelet Disord. 2016 Feb 9;17:65.
237	Endo K, Yamada S, Todoh M, Takahata M, Iwasaki N, Tadano S.	整形外科	Structural strength of cancellous specimens from bovine femur under cyclic compression.	PeerJ. 2016 Jan 25;4:e1562.
238	Takahata M, Abumi K, Sudo H, Nagahama K, Iwasaki N.	整形外科	Cervical myelopathy due to atraumatic odontoid fracture in patients with rheumatoid arthritis: A case series.	Mod Rheumatol. 2015 Jun 29;1-4. [Epub ahead of print]
239	Matsui Y, Kon S, Funakoshi T, Miyashita T, Matsuda T, Iwasaki N.	整形外科	Increased expression of $\alpha v$ integrin as a regulator of fibrosis in Dupuytren's nodules. .	J Hand Surg Eur Vol. 2016 Mar 11. pii: 1753193416635489. [Epub ahead of print]
240	Nakahara M, Ito M, Hattori N, Magota K, Takahata M, Nagahama K, Sudo H, Kamishima T, Tamaki N, Iwasaki N.	整形外科	<sup>18</sup> F-FDG-PET/CT better localizes active spinal infection than MRI for successful minimally invasive surgery.	Acta Radiol. 2015 Jul;56(7):829-36.
241	Onodera T, Kasahara Y, Kasemura T, Suzuki Y, Kondo E, Iwasaki N.	整形外科	A comparative study with in vitro ultrasonographic and histologic grading of metatarsal head cartilage in rheumatoid arthritis.	Foot Ankle Int. 2015 Jul;36(7):774-779.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
242	Tsujimoto T, Takahata M, Kokabu T, Matsuhashi M, Iwasaki N.	整形外科	Pyogenic spondylodiscitis following anti-interleukin-6 therapy in a patient with rheumatoid arthritis -implication of hematogenous infection risk in degenerative intervertebral discs- : a case report and review of the literature.	Journal of Orthopedic Science. 2015 Jun 30. pii: S0949-2658(15)00020-2. doi: 10.1016/j.jos.2015.06.018.
243	Matsuoka M, Onodera T, Sasazawa F, Momma D, Baba R, Hontani K, Iwasaki N.	整形外科	An Articular Cartilage Repair Model in Common C57Bl/6 Mice.	Tissue Eng Part C Methods. 2015 Aug;21(8):767-72.
244	Tsukuda Y, Funakoshi T, Nasuhara Y, Nagano Y, Shimizu C, Iwasaki N.	整形外科	Venipuncture nerve injuries in the upper extremity from more than 1 million procedures.	Journal of Patient Safety, Jun 16. [Epub ahead of print]
245	Konno S, Taniguchi N, Makita H, Nakamaru Y, Shimizu K, Shijubo N, Fuke S, Takeyabu K, Oguri M, Kimura H, Maeda Y, Suzuki M, Nagai K, Ito YM, Wenzel SE, Nishimura M, Hi-CARAT Investigators	First department of medicine, Hokkaido University	Distinct Phenotypes of Cigarette Smokers Identified by Cluster Analysis of Patients with Severe Asthma	Ann Am Thorac Soc
246	Shimizu K, Makita H, Hasegawa M, Kimura H, Fuke S, Nagai K, Yoshida T, Suzuki M, Konno S, Ito YM	First department of medicine, Hokkaido University	Regional bronchodilator response assessed by computed tomography in chronic obstructive pulmonary disease	Eur J Radiol
247	Inomata T, Konno S, Azuma A	First department of medicine, Hokkaido University	Historical transition of management of sarcoidosis	World Journal of Respiriology
248	Kimura H, Konno S, Isada A, Maeda Y, Musashi M, Nishimura M	First department of medicine, Hokkaido University	Contrasting associations of body mass index and measles with asthma and rhinitis in young adults	Allergy Asthma Proc
249	Terui H, Konno S, Kaga K, Matsuno Y, Hatanaka C K, Kanno H, Moriyama H, Uo M, Nishimura M	First department of medicine, Hokkaido University	Two cases of hard metal lung disease showing gradual improvement in pulmonary function after avoiding dust exposure	Journal of Occupational Medicine and Toxicology
250	Kimura H, Suzuki M, Konno S, Nishimura M, Bobolea I, Barranco P, Del Pozo V, Romero D, Sanz V, López-Carrasco V, Canabal J, Villasante C, Quirce S	First department of medicine, Hokkaido University	Sputum periostin in patients with different severe asthma phenotypes	Allergy
251	Ohira H, Beanlands RS, Chow BJ	First department of medicine, Hokkaido University	Cardiac Imaging Fellowship Training Program at the University of Ottawa Heart Institute	Annals of Nuclear Cardiology
252	Ohira H, Birnie DH, Pena E, Bernick J, Mc Ardle B, Leung E, Wells GA, Yoshinaga K, Tsujino I, Sato T, Manabe O, Oyama-Manabe N, Nishimura M, Tamaki N, Dick A, Dennie C, Klein R, Renaud J, deKemp RA, Ruddy TD, Chow BJ, Davies R, Hessian R, Liu P, Beanlands RS, Nery PB	University of Ottawa Heart Institute	Comparison of (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography (FDG PET) and cardiac magnetic resonance (CMR) in corticosteroid-naive patients with conduction system disease due to cardiac sarcoidosis	Eur J Nucl Med Mol Imaging
253	Watanabe T, Tsujino I, Konno S, Ito YM, Takashina C, Sato T, Isada A, Ohira H, Ohtsuka Y, Fukutomi Y, Nakamura H, Kawagishi Y, Okada C, Hizawa N, Taniguchi M, Akasawa A, Nishimura M	First department of medicine, Hokkaido University	Association between Smoking Status and Obesity in a Nationwide Survey of Japanese Adults	PLoS One

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
254	Kusunoki, Y	免疫代謝内科学分野	Peptidylarginine Deiminase Inhibitor Suppresses Neutrophil Extracellular Trap Formation and MPO-ANCA Production	Front Immunol
255	Nakazawa, D., Shida, H., Kusunoki, Y., Miyoshi, A., Nishio, S., Tomaru, U., Atsumi, T., and Ishizu, A	免疫代謝内科学分野	The responses of macrophages in interaction with neutrophils that undergo NETosis	J Autoimmun
256	Amengual, O	免疫代謝内科学分野	Evaluation of phosphatidylserine-dependent antiprothrombin antibody testing for the diagnosis of antiphospholipid syndrome: results of an international multicentre study.	Lupus
257	Atsumi, T.	免疫代謝内科学分野	The first double-blind, randomised, parallel-group certolizumab pegol study in methotrexate-naïve early rheumatoid arthritis patients with poor prognostic factors, C-OPERA, shows inhibition of radiographic progression.	Ann Rheum Dis
258	Fujieda, Y.	免疫代謝内科学分野	Ribophorin II is involved in the tissue factor expression mediated by phosphatidylserine-dependent antiprothrombin antibody on monocytes	Rheumatology
259	Ishiguro, N	免疫代謝内科学分野	Effectiveness and safety of tocilizumab in achieving clinical and functional remission, and sustaining efficacy in biologics-naïve patients with rheumatoid arthritis: The FIRST Bio study.	Mod Rheumatol
260	Kanda, M	免疫代謝内科学分野	Transcriptional regulator Bhlhe40 works as a cofactor of T-bet in the regulation of IFN-gamma production in iNKT cells.	Proc Natl Acad Sci U S A
261	Kaneko, Y.	免疫代謝内科学分野	Comparison of adding tocilizumab to methotrexate with switching to tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis with inadequate response to methotrexate: 52-week results from a prospective, randomised, controlled study (SURPRISE study).	Ann Rheum Dis
262	Kato, M.	免疫代謝内科学分野	Reactivation of occult hepatitis B virus infection in patients with rheumatic diseases: pathogenesis, risk assessment and prevention.	Rheumatol Int
263	Noguchi, A.	免疫代謝内科学分野	Bi-ventricular interplay in patients with systemic sclerosis-associated pulmonary arterial hypertension: Detection by cardiac magnetic resonance.	Mod Rheumatol
264	Oku, K.	免疫代謝内科学分野	Autoantibodies against a complement component 1 q subcomponent contribute to complement activation and recurrent thrombosis/pregnancy morbidity in anti-phospholipid syndrome.	Rheumatology
265	Oku, K.	免疫代謝内科学分野	Significance of fully automated tests for the diagnosis of antiphospholipid syndrome.	Thromb Res
266	Oku, K.	免疫代謝内科学分野	Complement and thrombosis in the antiphospholipid syndrome.	Autoimmun Rev

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
267	Otomo, K	免疫代謝内科学分野	Role of apolipoprotein B100 and oxidized low-density lipoprotein in the monocyte tissue factor induction mediated by anti-beta2 glycoprotein I antibodies.	Lupus
268	Sada, K.E.	免疫代謝内科学分野	Comparison of severity classification in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in a nationwide, prospective, inception cohort study.	Mod Rheumatol
269	Sakashita, T	免疫代謝内科学分野	Accurate quantitative assessment of synovitis in rheumatoid arthritis using pixel-by-pixel, time-intensity curve shape analysis.	Br J Radiol
270	Shimizu, Y	免疫代謝内科学分野	Post-steroid neuropsychiatric manifestations are significantly more frequent in SLE compared with other systemic autoimmune diseases and predict better prognosis compared with de novo neuropsychiatric SLE.	Autoimmun Rev
271	Sugiyama, N	免疫代謝内科学分野	Treatment Patterns, Direct Cost of Biologics, and Direct Medical Costs for Rheumatoid Arthritis Patients: A Real-world Analysis of Nationwide Japanese Claims Data.	Clin Ther
272	Yasuda, S	免疫代謝内科学分野	Brain MRI abnormalities defined as risks for poor prognosis in lupus patients with acute confusional state: Are they antibody mediated?	Mod Rheumatol
273	Zhang, P.	免疫代謝内科学分野	The Fifth Domain of Beta 2 Glycoprotein I Protects from Natural IgM Mediated Cardiac Ischaemia Reperfusion Injury.	PLoS One
274	Komatsu, Y	免疫代謝内科学分野	Safety and tolerability of diazoxide in Japanese patients with hyperinsulinemic hypoglycemia.	Endocr J
275	Koyanagawa, N	免疫代謝内科学分野	Comparative effects of vildagliptin and sitagliptin determined by continuous glucose monitoring in patients with type 2 diabetes mellitus.	Endocr J
276	Miyoshi, A	免疫代謝内科学分野	Circulating Neutrophil Extracellular Trap Levels in Well-Controlled Type 2 Diabetes and Pathway Involved in Their Formation Induced by High-Dose Glucose.	Pathobiology
277	Nakamura, A	免疫代謝内科学分野	Impact of renal transplantation on glucose tolerance in Japanese recipients with impaired glucose tolerance.	Diabet Med
278	Nakamura, A	免疫代謝内科学分野	Usefulness of the octreotide test in Japanese patients for predicting the presence/absence of somatostatin receptor 2 expression in insulinomas.	Endocr J
279	Yamamoto, C	免疫代謝内科学分野	Degludec is superior to glargine in terms of daily glycemic variability in people with type 1 diabetes mellitus.	Endocr J
280	Yamamoto, C	免疫代謝内科学分野	Ipragliflozin effectively reduced visceral fat in Japanese patients with type 2 diabetes under adequate diet therapy	Endocr J

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
281	Yamashita H, Ogiya A, Shien T, Horimoto Y, Masuda N, Inao T, Osako T, Takahashi M, Endo Y, Hosoda M, Ishida N, Horii R, Yamazaki K, Miyoshi Y, Yasojima H, Tomioka N; Collaborative Study Group of Scientific Research of the Japanese Breast Cancer Society	乳腺外科	Clinicopathological factors predicting early and late distant recurrence in estrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer	Breast Cancer, 2015 (online)
282	Baba M, Takahashi M, Yamashiro K, Yokoo H, Fukai M, Sato M, Hosoda M, Kamiyama T, Taketomi A, Yamashita H	乳腺外科	Strong cytoplasmic expression of NF- $\kappa$ B/p65 correlates with good prognosis in triple-negative breast cancer	Surg Today. 2016 Jul;46(7):843-51
283	Ishida N, Araki K, Sakai T, Kobayashi K, Kobayashi T, Fukada I, Hosoda M, Yamamoto M, Ichinokawa K, Takahashi S, Iwase T, Ito Y, Yamashita H	乳腺外科	Fulvestrant 500 mg in postmenopausal patients with metastatic breast cancer: the initial clinical experience	Breast Cancer. 2016 Jul;23(4):617-23
284	Kurebayashi J, Miyoshi Y, Ishikawa T, Saji S, Sugie T, Suzuki T, Takahashi S, Nozaki M, Yamashita H, Tokuda Y, Nakamura S	乳腺外科	Clinicopathological characteristics of breast cancer and trends in the management of breast cancer patients in Japan: Based on the Breast Cancer Registry of the Japanese Breast Cancer Society between 2004 and 2011	Breast Cancer. 2015 May;22(3):235-44
285	Shiba E, Yamashita H, Kurebayashi J, Noguchi S, Iwase H, Ohasni Y, Sasai K, Fujimoto T:	乳腺外科	A randomized controlled study evaluating safety and efficacy of leuprorelin acetate every-3-months depot for 2 versus 3 or more years with tamoxifen for 5 years as adjuvant treatment in premenopausal patients with endocrine-responsive breast cancer	Breast Cancer. 2016 May;23(3):499-509
286	篠原 信雄	泌尿器科	Prognostic factors and risk classifications for patients with metastatic renal cell carcinoma.	International journal of urology
287	篠原 信雄	泌尿器科	Prognosis of Japanese patients with previously untreated metastatic renal cell carcinoma in the era of molecular-targeted therapy.	Cancer science
288	安部 崇重	泌尿器科	Laparoscopic resection of paraaortic/paracaval neurogenic tumors: surgical outcomes and technical tips.	Surgical endoscopy
289	橘田 岳也	泌尿器科	Editorial Comment to Improvement of overactive bladder symptoms after tension-free vaginal mesh operation in women with pelvic organ prolapse: Correlation with preoperative urodynamic findings.	International journal of urology
290	橘田 岳也	泌尿器科	Brain-bladder control network: The unsolved 21st century urological mystery.	International journal of urology
291	岩見 大基	泌尿器科	Lymph Node Stromal Fiber ER-TR7 Modulates CD4+ T Cell Lymph Node Trafficking and Transplant Tolerance	Transplantation

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
292	岩見 大基	泌尿器科	Vascular Endothelial Growth Factor C/Vascular Endothelial Growth Factor Receptor 3 Signaling Regulates Chemokine Gradients and Lymphocyte Migration from Tissues to Lymphatics.	Transplantation
293	菅野 由岐子	泌尿器科	The inflammatory cytokine IL-1beta is involved in bladder remodeling after bladder outlet obstruction in mice.	Neurourology and urodynamics
294	佐々木 元	泌尿器科	New Immunosuppressive Cell Therapy to Prolong Survival of Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Allografts.	Transplantation
295	篠原 信雄	泌尿器科	Editorial Comment to Features, risk factors and clinical outcome of "very late" recurrences after surgery for localized renal carcinoma: A retrospective evaluation of a cohort with a minimum of 10 years of follow up	International journal of urology
296	Fujimura Y	皮膚科	Plasma cell cheilitis extending beyond vermilion border	J Dermatol
297	Haga N	皮膚科	Non-solar-induced elastotic bands on the forearm	Eur J Dermatol
298	Hata H	皮膚科	MMP13 can be a useful differentiating marker between squamous cell carcinoma and benign hyperkeratotic lesions in recessive dystrophic epidermolysis bullosa	Br J Dermatol
299	Hata H	皮膚科	Lessons from 28 cases of reconstruction by lenticular island pedicle flap at a single institution	J Eur Acad Dermatol Venereol
300	Homma E	皮膚科	Primary mucinous carcinoma of the skin with in-transit metastasis	J Eur Acad Dermatol Venereol
301	Homma E	皮膚科	Nanoparticle albumin-bound paclitaxel can be useful agent to advanced primary mucinous carcinoma of the skin	J Eur Acad Dermatol Venereol
302	Horie K	皮膚科	Eccrine poroma on the helix: A rare anatomical presentation	Clin Exp Dermatol
303	Horie K	皮膚科	Deep venous thrombosis in patients with Behcet's disease	J Dermatol
304	Imafuku K	皮膚科	In-transit metastasis of advanced eccrine porocarcinoma	Int J Dermatol
305	Imafuku K	皮膚科	Diagnostic pitfall of localized lentigo accompanied by post-inflammatory pigmentation on the palm with a several-month history	Our Dermatol Online

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
306	Imafuku K	皮膚科	Erythema annulare centrifugum-like mycosis fungoides after unrelated bone marrow transplantation	Br J Haematol
307	Kitamura S	皮膚科	Pigmented skin metastasis of breast cancer showing dermoscopic features of malignant melanoma	J Eur Acad Dermatol Venereol
308	Kitamura S	皮膚科	Pazopanib can preserve cosmetic quality of life even in end-stage angiosarcoma	Clin Exp Dermatol
309	Kitamura S	皮膚科	Positron emission tomography-computed tomography can be useful in the early detection of metastases in primary mucinous carcinoma of the skin on the head and neck	Br J Dermatol
310	Kitamura S	皮膚科	Dark-violaceous lesions on the dorsa of both hands	Clin Exp Dermatol
311	Kitamura S	皮膚科	Bowen's disease on the palm presents refractory skin erosion without erythematous plaque	J Dermatol
312	Miyauchi T	皮膚科	CD4/cdCD8 double-negative t-cell lymphoma: A variant of primary cutaneous cd8+ aggressive epidermotropic cytotoxic t-cell lymphoma?	Acta Derm Venereol
313	Miyauchi T	皮膚科	Pruritic papules following lumbar corset use: A quiz	Acta Derm Venereol
314	Miyauchi T	皮膚科	Sweet syndrome-like eruption with prominent dermal leukocytoclasia associated with systemic lupus erythematosus	J Dermatol
315	Mizuno O	皮膚科	Loss-of-function mutations in the gene encoding filaggrin underlie a Japanese family with food-dependent exercise-induced anaphylaxis	J Eur Acad Dermatol Venereol
316	Moriuchi R	皮膚科	Elephantiasis nostras verrucosa occurring in voluntary shut-in ("hikikomori")	Eur J Dermatol
317	Moriuchi R	皮膚科	In vivo analysis of IgE autoantibodies in bullous pemphigoid: A study of 100 cases	J Dermatol Sci
318	Nakayama C	皮膚科	Development of bullous pemphigoid during treatment of psoriatic onychopachydermo periostitis with ustekinumab	J Dermatol
319	Nakayama C	皮膚科	The different intensity of autoantibody deposits in bullous pemphigoid associated with psoriasis vulgaris	Eur J Dermatol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
320	Nakazato S	皮膚科	A case of papular elastolytic giant cell granuloma: A mini-review of reported cases	Eur J Dermatol
321	Nishie W	皮膚科	Context-dependent regulation of collagen XVII ectodomain shedding in skin	Am J Pathol
322	Nomura T	皮膚科	Striate palmoplantar keratoderma: Report of a novel DSG1 mutation and atypical clinical manifestations	J Dermatol Sci
323	Nomura T	皮膚科	Low-dose etretinate shows promise in management of punctate palmoplantar keratoderma type 1: Case report and review of the published work	J Dermatol
324	Nomura T	皮膚科	Punctate palmoplantar keratoderma type 1: A novel AAGAB mutation and efficacy of etretinate	Acta Derm Venereol
325	Shiia C	皮膚科	Dermoscopic features of hidroacanthoma simplex: Usefulness in distinguishing it from Bowen's disease and seborrheic keratosis	J Dermatol
326	Shimizu S	皮膚科	Cutaneous manifestations of methotrexate-associated lymphoproliferative disorders: Report of 2 cases and a review of the literature	Acta Derm Venereol
327	Takashima S	皮膚科	Dermoscopic observation in adenoma of the nipple	J Dermatol
328	Takashima S	皮膚科	Widespread erythema ab igne caused by hot bathing	J Eur Acad Dermatol Venereol
329	Takashima S	皮膚科	An iatrogenic metastasis	Am J Med
330	Takashima S	皮膚科	Methotrexate-induced nodulosis	CMAJ
331	Takashima S	皮膚科	Herpes zoster triplex	Cleve Clin J Med
332	Takashima S	皮膚科	Creeping lymphangitis	BMJ
333	Toyonaga E	皮膚科	A rare case of a symptomatic tumor found in the groin area: An atypical location unexposed to the known causes	Case Rep Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
334	Toyonaga E	皮膚科	Nipple-like tumour of the shoulder in a male patient	Clin Exp Dermatol
335	Toyonaga E	皮膚科	Skipped exon in COL7A1 determines the clinical phenotypes of dystrophic epidermolysis bullosa	Br J Dermatol
336	Tsujiwaki M	皮膚科	Warty intralymphatic histiocytosis successfully treated with topical tacrolimus	J Eur Acad Dermatol Venereol
337	Watanabe M	皮膚科	Mycosis fungoides associated with splenic infarction and muscle involvement	Br J Dermatol
338	Watanabe M	皮膚科	Kimura disease associated with severe visual dysfunction due to remarkable periorbital involvement	J Dermatol
339	Natsuga K	皮膚科	Plectin-related skin diseases	J Dermatol Sci
340	Shinkuma S	皮膚科	Dystrophic epidermolysis bullosa: A review	Clin Cosmet Investig Dermatol
341	Ujiie H	皮膚科	IgE autoantibodies in bullous pemphigoid: Supporting role, or leading player?	J Dermatol Sci
342	Kubota Y	病理部	CTNNB1 mutational analysis of solid-pseudopapillary neoplasms of the pancreas using endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration and next-generation deep sequencing.	J Gastroenterol
343	Honma R	病理部	Expression of fucosyltransferase 8 is associated with an unfavorable clinical outcome in non-small cell lung cancers.	Oncology
344	Fujita H	病理部	Immunohistochemical validation and expression profiling of NKG2D ligands in a wide spectrum of human epithelial neoplasms.	J Histochem Cytochem
345	Tsunematsu S	病理部	Intratumoral artery on contrast-enhanced computed tomography imaging: differentiating intrahepatic cholangiocarcinoma from poorly differentiated hepatocellular carcinoma.	Abdom Imaging
346	Einama T	病理部	Importance of luminal membrane mesothelin expression in intraductal papillary mucinous neoplasms.	Oncol Lett
347	Yoshioka T	病理部	Prognostic significance of pathologic complete response and Ki67 expression after neoadjuvant chemotherapy in breast cancer.	Breast Cancer

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
348	Abe Y	病理部	EUS-FNA stilet Study Group. The effect of a stilet on histological specimen in endoscopic ultrasound-guided fine needle tissue acquisition using 22-gauge needles: A multicenter prospective randomized controlled trial	Gastrointestinal Endoscopy
349	Yamada Y	病理部	Decreased proteasomal function accelerates cigarette smoke-induced pulmonary emphysema in mice.	Lab Invest
350	Matsuno Y	病理部	WHO Classification of Tumours of the Lung, Pleura, Thymus and Heart	World Health Organization Classification of Tumours
351	Terui H	病理部	Two cases of hard metal lung disease showing gradual improvement in pulmonary function after avoiding dust exposure.	J Occup Med Toxicol
352	Iwasaki S	病理部	Fatal cardiac small-vessel involvement in ANCA-associated vasculitis: an autopsy case report.	Cardiovasc Pathol
353	Oguro S	病理部	Clinical significance of tumor-infiltrating immune cells focusing on BTLA and Cbl-b in patients with gallbladder cancer.	Cancer Sci
354	Masuda A	病理部	Cardiac fibroma with high (18)F-FDG uptake mimicking malignant tumor.	J Nucl Cardiol
355	Ujihira K	病理部	A case report of primary cardiac myxofibrosarcoma presenting with severe congestive heart failure.	J Cardiothorac Surg
356	Sato D	病理部	Stromal palladin expression is an independent prognostic factor in pancreatic ductal adenocarcinoma.	PLoS One
357	Kase S	病理部	Diagnostic efficacy of cell block method for vitreoretinal lymphoma.	Diagn Pathol
358	Abe T	病理部	Outcome of regional lymphadenectomy in accordance with primary tumor location on laparoscopic nephroureterectomy for urothelial carcinoma of the upper urinary tract: a prospective study.	J Endourol
359	Nishida M	病理部	Ultrasonographic evaluation of gastrointestinal graft-versus-host disease after hematopoietic stem cell transplantation.	Clin Transplant
360	Matsuno R	病理部	Prospective mapping of lymph node metastasis in Japanese patients undergoing radical cystectomy for bladder cancer: characteristics of micrometastasis.	Jpn J Clin Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
361	Murahashi N	病理部	Diagnostic outcome of ureteroscopy in urothelial carcinoma of the upper urinary tract: Incidence of later cancer detection and its risk factors after the first examination.	BMC Urol
362	Kawakubo K	病理部	Feasibility of Using an Enzymatically Activatable Fluorescence Probe for the Rapid Evaluation of Pancreatic Tissue Obtained Using Endoscopic Ultrasound-Guided Fine Needle Aspiration: a Pilot Study.	Mol Imaging Biol
363	Terashita K	病理部	ZEB1 expression is associated with prognosis of intrahepatic cholangiocarcinoma.	J Clin Pathol
364	Kato F	病理部	Differences in morphological features and minimum apparent diffusion coefficient values among breast cancer subtypes using 3-tesla MRI.	Eur J Radiol
365	Omotehara S	病理部	Sonographic findings of immunoglobulin G4-related sclerosing sialadenitis.	J Med Ultrason
366	Jun Kunimatsu, Naoki Miyamoto, Masayori Ishikawa, Hiroki Shirato, Masaki Tanaka	放射線治療科	Application of radiosurgical techniques to produce a primate model of brain lesions	Front Syst Neurosci.
367	Ritu Bhusal Chhatkuli, Kazuyuki Demachi, Naoki Miyamoto, Mitsuru Uesaka, Akihiro Haga	放射線治療科	Dynamic Image Prediction Using Principal Component and Multi-Channel Singular Spectral Analysis: A Feasibility Study	Open Journal of Medical Imaging
368	Seishin Takao, Naoki Miyamoto, Taeko Matsuura, Rikiya Onimaru, Norio Katoh, Tetsuya Inoue, Kenneth Lee Sutherland, Ryusuke Suzuki, Hiroki Shirato, Shinichi Shimizu	放射線治療科	Intrafractional baseline shift/drift of lung tumor motion during gated radiotherapy with a real-time tumor-tracking system	Int J Radiat Oncol Biol Phys.
369	Keiichi Harada, Norio Katoh, Ryusuke Suzuki, Yoichi M. Ito, Shinichi Shimizu, Rikiya Onimaru, Tetsuya Inoue, Naoki Miyamoto, Hiroki Shirato	放射線治療科	Evaluation of the motion of lung tumors during stereotactic body radiation therapy (SBRT) with four-dimensional computed tomography (4DCT) using real-time tumor-tracking radiotherapy system (RTRT)	European Journal of Medical Physics
370	Matsuura T, Fujii Y, Takao S, Yamada T, Matsuzaki Y, Miyamoto N, Takayanagi T, Fujitaka S, Shimizu S, Shirato H, Umegaki K	放射線治療科	Development and evaluation of a short-range applicator for treating superficial moving tumors with respiratory-gated spot-scanning proton therapy using real-time image guidance	Physics in Medicine and Biology
371	Mori T, Onimaru R, Onodera S, Tsuchiya K, Yasuda K, Hatakeyama H, Kobayashi H, Terasaka S, Homma A, Shirato H.	放射線治療科	Olfactory neuroblastoma: the long-term outcome and late toxicity of multimodal therapy including radiotherapy based on treatment planning using computed tomography.	Radiat Oncol.
372	Onimaru R, Shirato H, Shibata T, Hiraoka M, Ishikura S, Karasawa K, Matsuo Y, Kokubo M, Shioyama Y, Matsushita H, Ito Y, Onishi H.	放射線治療科	Phase I study of stereotactic body radiation therapy for peripheral T2N0M0 non-small cell lung cancer with PTV<100cc using a continual reassessment method (JCOG0702).	Radiother Oncol.
373	Onimaru R, Hida K, Takeda N, Onodera S, Nishikawa Y, Mori T, Shirato H.	放射線治療科	Three-dimensional conformal fractionated radiotherapy for spinal schwannoma with a paravertebral or an intraosseous component.	Jpn J Radiol.
374	Harada Y, Hirata K, Nakayama N, Yamaguchi S, Yoshida M, Onodera S, Manabe O, Shiga T, Terae S, Shirato H, Tamaki N.	放射線治療科	Improvement of cerebral hypometabolism after resection of radiation-induced necrotic lesion in a patient with cerebral arteriovenous malformation.	Acta Radiol Open.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
375	Harada K, Katoh N, Suzuki R, Ito YM, Shimizu S, Onimaru R, Inoue T, Miyamoto N, Shirato H.	放射線治療科	Evaluation of the motion of lung tumors during stereotactic body radiation therapy (SBRT) with four-dimensional computed tomography (4DCT) using real-time tumor-tracking radiotherapy system (RTRT).	Phys Med.
376	Sakuhara Y, Nishio S, Morita K, Abo D, Hasegawa Y, Yuasa N, Mochizuki T, Soyama T, Oba K, Shirato H, Kudo K	放射線診断科	Transcatheter Arterial Embolization with Ethanol Injection in Symptomatic Patients with Enlarged Polycystic Kidneys.	Radiology. 2015 Oct;277(1):277-85.
377	Fujima N, Kudo K, Tsukahara A, Yoshida D, Sakashita T, Homma A, Tha KK, Shirato H	放射線診断科	Measurement of tumor blood flow in head and neck squamous cell carcinoma by pseudo-continuous arterial spin labeling: comparison with dynamic contrast-enhanced MRI.	J Magn Reson Imaging. 2015 Apr;41(4):983-91. doi: 10.1002/jmri.24885
378	Fujima N, Nakamaru Y, Sakashita T, Homma A, Tsukahara A, Kudo K, Shirato H	放射線診断科	Differentiation of squamous cell carcinoma and inverted papilloma using non-invasive MR perfusion imaging.	Dentomaxillofac Radiol. 2015 Jul 6:20150074. [Epub ahead of print]
379	Fujima N, Yoshida D, Sakashita T, Homma A, Tsukahara A, Tha KK, Kudo K, Shirato H.	放射線診断科	Usefulness of Pseudocontinuous Arterial Spin-Labeling for the Assessment of Patients with Head and Neck Squamous Cell Carcinoma by Measuring Tumor Blood Flow in the Pretreatment and Early Treatment Period.	AJNR Am J Neuroradiol. 2015 Oct 1. [Epub ahead of print]
380	Fujima N, Kameda H, Tsukahara A, Yoshida D, Sakashita T, Homma A, Tha KK, Kudo K, Shirato H	放射線診断科	Diagnostic value of tumor blood flow and its histogram analysis obtained with pCASL to differentiate sinonasal malignant lymphoma from squamous cell carcinoma.	Eur J Radiol. 2015 Nov; 84(11):2187-93. doi: 10.1016/j.ejrad.2015.07.026. Epub 2015 Jul 30.
381	Fujima N, Osanai T, Shimizu Y, Yoshida A, Harada T, Nakayama N, Kudo K, Houkin K, Shirato H.	放射線診断科	Utility of noncontrast-enhanced time-resolved four-dimensional MR angiography with a vessel-selective technique for intracranial arteriovenous malformations.	J Magn Reson Imaging. 2016 Mar 10. [Epub ahead of print]
382	Kudo K, Liu T, Murakami T, Goodwin J, Uwano I, Yamashita F, Higuchi S, Wang Y, Ogasawara K, Ogawa A, Sasaki M	放射線診断科	Oxygen Extraction Fraction Measurement using Quantitative Susceptibility Mapping: Comparison with Positron Emission Tomography.	JCBFM 2015 [Epub ahead of print]
383	Harada T, Abe T, Kato F, Matsumoto R, Fujita H, Murai S, Miyajima N, Tsuchiya K, Maruyama S, Kudo K, Shinohara N	放射線診断科	Five-point Likert scaling on MRI predicts clinically significant prostate carcinoma.	BMC Urol. 2015 Sep 4;15:91. doi: 10.1186/s12894-015-0087-5
384	Kato F, Oyama-Manabe N, Sakuhara Y, Mito S, Takahashi M, Sakamoto T, Hosoda M, Terae S, Shirato H.	放射線診断科	Earlier and better high-resolution single breast imaging during bilateral breast dynamic scans at 3-T MRI: comparison with post dynamic high-resolution imaging.	Breast Cancer. 2015 Sep;22(5):475-9. doi: 10.1007/s12282-013-0505-z. Epub 2013 Oct 31.
385	Kato F, Kudo K, Yamashita H, Wang J, Hosoda M, Hatanaka KC, Mimura R, Oyama-Manabe N, Shirato H	放射線診断科	Differences in morphological features and minimum apparent diffusion coefficient values among breast cancer subtypes using 3-tesla MRI.	Eur J Radiol. 2016 85: 96-102. doi.org/10.1016/j.ejrad.2015.10.018. Epub 2015 Nov 18
386	Ohno T, Kudo K, Zaharchuk G, Fujima N, Shirato H	放射線診断科	Evaluation of diagnostic accuracy in CT perfusion analysis in moyamoya disease	JJR 2015 [Epub ahead of print]
387	Tomiyama Y, Manabe O, Oyama-Manabe N*, Naya M, Sugimori H, Hirata K, Mori Y, Tsutsui H, Kudo K, Tamaki N, Katoh C	放射線診断科	Quantification of myocardial blood flow with dynamic perfusion 3.0 Tesla MRI: Validation with 15O-water PET.	J Magn Reson Imaging. 2015 Sep;42(3):754-62
388	Miyamoto N, Yabusaki S, Sakamoto K, Kikuchi Y, Mimura R, Kato F, Oyama-Manabe N, Takahashi B, Soyama T, Abo D, Sakuhara Y, Kudo K, Shirato H, Nakamura T, Tsuchikawa T, Okamura K, Hirano S	放射線診断科	Prediction of pancreatic anastomotic failure after pancreatic head resection using preoperative diffusion-weighted MR imaging.	Jpn J Radiol, 33,59-66, 2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
389	Wang J, Kato F, Oyama-Manabe N, Li R, Cui Y, Tha KK, Yamashita H, Kudo K, Shirato H.	放射線診断科	Identifying Triple-Negative Breast Cancer Using Background Parenchymal Enhancement Heterogeneity on Dynamic Contrast-Enhanced MRI: A Pilot Radiomics Study.	PLoS One. 2015 Nov 24;10(11):e0143308. doi: 10.1371/journal.pone.0143308.
390	Mimura R, Kato F, Tha KK, Kudo K, Konno Y, Oyama-Manabe N, Kato T, Watari H, Sakuragi N, Shirato H	放射線診断科	Comparison between borderline ovarian tumors and carcinomas using semi-automated histogram analysis of diffusion-weighted imaging: focusing on solid components.	Jpn J Radiol. 2016 Jan 21. [Epub ahead of print]
391	Soyama T, Sakuhara Y, Kudo K, Abo D, Wang J, Ito YM, Hasegawa Y, Shirato H	放射線診断科	Comparison of conventional ultrasonography and ultrasonography-computed tomography fusion imaging for target identification using digital/real hybrid phantoms: a preliminary study.	J Med Ultrason (2001). 2016 Feb 26. [Epub ahead of print]
392	Harada T, Kudo K, Uwano I, Yamashita F, Kameda H, Matsuda T, Sasaki M, Shirato H	放射線診断科	Breath-holding during the Calibration Scan Improves the Reproducibility of Parallel Transmission at 7T for Human Brain.	Magn Reson Med Sci. 2016 Mar 21. [Epub ahead of print]
393	吉村高明	陽子線治療センター	NTCP modeling analysis of acute hematologic toxicity in whole pelvic radiation therapy for gynecologic malignancies – A dosimetric comparison of IMRT and spot-scanning proton therapy (SSPT)	Phys Med
394	Nobuhiro Tanaka, Hideo Tokuyama, Yosuke Uchida, Yuji Morimoto, Tsuyoshi Tachibana	北大麻酔科	Changes in cerebral oxygen saturation during pediatric surgery in patients with cyanotic and non-cyanotic congenital heart defects.	Circulation Control 36
395	Noriaki Fujita, Yasuteru Meguro, Hitoshi Saito, Hideo Tokuyama, Yuji Morimoto, Tsuyoshi Tachibana	北大麻酔科	Effect of age difference of cerebral oxygen saturation to predict early outcome in pediatric cardiac surgery for ventricular septal defect.	Circulation Control 36
396	Arima Y; Kamimura D; Atsumi T; Harada M; Kawamoto T; Nishikawa N; Stofkova A; Ohki T; Higuchi K; Morimoto Y; Wieghofer P; Okada Y; Mori Y; Sakoda S; Saika S; Yoshioka Y; Komuro I; Yamashita T; Hirano T; Prinz M; Murakami M	北大麻酔科	A pain-mediated neural signal induces relapse in murine autoimmune encephalomyelitis, a multiple sclerosis model.	eLife 4
397	Yamada T, Ishiguro N, Oku K, Higuchi I, Nakagawa I, Noguchi A, Yasuda S, Fukumoto T, Iwasaki S, Akizawa K, Furugen A, Yamaguchi H, Iseki K.	薬剤部	Successful colistin treatment of multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa infection using a rapid method for determination of colistin in plasma : usefulness of therapeutic drug monitoring.	Biol. Pharm. Bull.
398	Furugen A, Kobayashi M, Nishimura A, Takamura S, Narumi K, Yamada T, Iseki K.	薬剤部	Quantification of new antiepileptic drugs by liquid chromatography/electrospray ionization tandem mass spectrometry and its application to cellular uptake experiment using human placental choriocarcinoma BeWo cells.	J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci.
399	Mori Y, Manabe O, Naya M, Tomiyama Y, Yoshinaga K, Magota K, yama-Manabe N, Hirata K, Tsutsui H, Tamaki N, Katoh C	Nuclear Medicine	Improved spillover correction model to quantify myocardial blood flow by 11C-acetate PET: comparison with 15O-H2O PET.	Ann Nucl Med.
400	Nakahara M, Ito M, Hattori N, Magota K, Takahata M, Nagahama K, Sudo H, Kamishima T, Tamaki N, Iwasaki N	Nuclear Medicine	18F-FDG-PET/CT better localizes active spinal infection than MRI for successful minimally invasive surgery.	Acta Radiol.
401	Yimin, Kohanawa M, Zhao S, Li M, Kuge Y, Tamaki N, Watanabe M	Nuclear Medicine	Regulatory effect of interleukin-4 in the innate inflammatory response to Rhodococcus aurantiacus infection in mice.	J Interferon Cytokine Res.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
402	Kiriyama T, Kumita S, Moroi M, Nishimura T, Tamaki N, Hasebe N, Kikuchi K	Nuclear Medicine	Interpretative variability and its impact on the prognostic value of myocardial fatty acid imaging in asymptomatic hemodialysis patients in a multicenter trial in Japan.	Circ J.
403	Yamaguchi S, Hirata K, Kaneko S, Kobayashi H, Shiga T, Kobayashi K, Onimaru R, Shirato H, Tamaki N, Terasaka S, Houkin K	Nuclear Medicine	Combined use of 18 F-FDG PET and corticosteroid for diagnosis of deep-seated primary central nervous system lymphoma without histopathological confirmation.	Acta Neurochir (Wien).
404	Sudo S, Hattori N, Manabe O, Kato F, Mimura R, Magota K, Sugimori H, Hirata K, Sakuragi N, Tamaki N	Nuclear Medicine	FDG PET/CT diagnostic criteria may need adjustment based on MRI to estimate the presurgical risk of extrapelvic infiltration in patients with uterine endometrial cancer.	Eur J Nucl Med Mol Imaging.
405	Tomiyama Y, Manabe O, Oyama-Manabe N, Naya M, Sugimori H, Hirata K, Mori Y, Tsutsui H, Kudo K, Tamaki N, Katoh C	Nuclear Medicine	Quantification of myocardial blood flow with dynamic perfusion 3.0 Tesla MRI: Validation with (15) O-water PET.	J Magn Reson Imaging.
406	Gaertner FC, Okamoto S, Shiga T, Ito YM, Uchiyama Y, Manabe O, Hattori N, Tamaki N	Nuclear Medicine	FDG PET performed at thyroid remnant ablation has a higher predictive value for long-term survival of high-risk patients with well-differentiated thyroid cancer than radioiodine uptake	Clin Nucl Med.
407	Kobayashi K, Hattori N, Manabe O, Hirata K, Magota K, Shimamura T, Tamaki N	Nuclear Medicine	Postoperative assessment of hepatic asialoglycoprotein receptor function with Tc-99m GSA: the safety margin of resection size in living donor liver transplantation.	Ann Transplant.
408	Manabe O, Hattori N, Yamaguchi S, Hirata K, Kobayashi K, Terasaka S, Kobayashi H, Motegi H, Shiga T, Magota K, Oyama-Manabe N, Nishijima K, Kuge Y, Tamaki N	Nuclear Medicine	Oligodendroglial component complicates the prediction of tumour grading with metabolic imaging.	Eur J Nucl Med Mol Imaging.
409	Tomiyama Y, Yoshinaga K, Fujii S, Ochi N, Inoue M, Nishida M, Aziki K, Horie T, Katoh C, Tamaki N	Nuclear Medicine	Accurate quantitative measurements of brachial artery cross-sectional vascular area and vascular volume elastic modulus using automated oscillometric measurements: comparison with brachial artery ultrasound.	Hypertens Res.
410	Kobayashi K, Hirata K, Yamaguchi S, Manabe O, Terasaka S, Kobayashi H, Shiga T, Hattori N, Tanaka S, Kuge Y, Tamaki N	Nuclear Medicine	Prognostic value of volume-based measurements on 11C-methionine PET in glioma patients.	Eur J Nucl Med Mol Imaging
411	Saito Y, Watanabe M, Aonuma K, Hirayama A, Tamaki N, Tsutsui H, Murohara T, Ogawa H, Akasaka T, Yoshimura M, Sato A, Takayama T, Sakakibara M, Suzuki S, Ishigami K, Onoue K	Nuclear Medicine	CINC-J study investigators. Proteinuria and Reduced Estimated Glomerular Filtration Rate Are Independent Risk Factors for Contrast-Induced Nephropathy After Cardiac Catheterization.	Circ J.
412	Zhao S, Li H, Nishijima K, Zhao Y, Akizawa H, Shimizu Y, Ohkura K, Tamaki N, Kuge Y	Nuclear Medicine	Relationship between biodistribution of a novel thymidine phosphorylase (TP) imaging probe and TP expression levels in normal mice.	Ann Nucl Med.
413	Hirata K, Hattori N, Takeuchi W, Shiga T, Morimoto Y, Umegaki K, Kobayashi K, Manabe O, Okamoto S, Tamaki N	Nuclear Medicine	Metabolic Activity of Red Nucleus and Its Correlation with Cerebral Cortex and Cerebellum: A Study Using a High-Resolution Semiconductor PET System.	J Nucl Med.
414	Nishimura M, Hashimoto T, Tamaki N, Kobayashi H, Ono T	Nuclear Medicine	Focal impairment in myocardial fatty acid imaging in the left anterior descending artery area, a strong predictor for cardiac death in hemodialysis patients without obstructive coronary artery disease.	Eur J Nucl Med Mol Imaging.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
415	Hanzawa H, Sakamoto T, Kaneko A, Manri N, Zhao Y, Zhao S, Tamaki N, Kuge Y	Nuclear Medicine	Combined plasma and tissue proteomic study of atherogenic model mouse: approach to elucidate molecular determinants in atherosclerosis development.	J Proteome Res.
416	Endo S, Kudo N, Yamaguchi S, Sumiyoshi K, Motegi H, Kobayashi H, Terasaka S, Houkin K	Nuclear Medicine	Porphyrin Derivatives Mediated Sonodynamic Therapy on Malignant Gliomas in Vitro.	Ultrasound Med Biol.
417	Masaki Y, Shimizu Y, Yoshioka T, Tanaka Y, Nishijima K, Zhao S, Higashino K, Sakamoto S, Numata Y, Yamaguchi Y, Tamaki N, Kuge Y	Nuclear Medicine	The accumulation mechanism of the hypoxia imaging probe "FMISO" by imaging mass spectrometry: possible involvement of low-molecular metabolites.	Sci Rep.
418	Sugimoto M, Shimizu Y, Yoshioka T, Wakabayashi M, Tanaka Y, Higashino H, Numata Y, Sakai S, Kihara A, Igarashi Y, Kuge Y	Nuclear Medicine	Histological analyses by matrix-assisted laser desorption/ionization-imaging mass spectrometry reveal differential localization of sphingomyelin molecular species regulated by particular ceramide synthase in mouse brains.	Biochim Biophys Acta
419	Kawashima H, Kimura H, Nakaya Y, Tomatsu K, Arimitsu K, Nakanishi H, Ozeki E, Kuge Y, Saji H	Nuclear Medicine	Application of Microreactor to the Preparation of C-11-Labeled Compounds via O-[(11)C]Methylation with [(11)C]CH3I: Rapid Synthesis of [(11)C]Raclopride.	Chem Pharm Bull (Tokyo).
420	Yamaguchi A, Hanaoka H, Fujisawa Y, Zhao S, Suzue K, Morita A, Tominaga H, Higuchi T, Hisaeda H, Tsushima Y, Kuge Y, Iida Y	Nuclear Medicine	Differentiation of malignant tumours from granulomas by using dynamic [18F]-fluoro-L- $\alpha$ -methyltyrosine positron emission tomography.	EJNMMI Res.
421	Ouchi M, Hasebe A, Hata H, Segawa T, Yamazaki Y, Yoshida Y, Kitagawa Y, Shibata KI	高齢者歯科学講座	Kitagawa Y, Shibata KI: Age-related alteration of expression and function of TLRs and NK activity in oral candidiasis.	Oral Dis
422	Sugeta S, Hirai Y, Maezawa H, Inoue N, Yamazaki Y, Funahashi M	高齢者歯科学講座	Presynaptically mediated effects of cholecystokinin-8 on the excitability of area postrema neurons in rat brain slices.	Brain Res
423	Ohga N, Yamazaki Y, Sato J, Hata H, Murata T, Sakata K, Inoue T, Kitagawa Y	高齢者歯科学講座	Dose escalation effectiveness and tolerability of paroxetine in patients with burning mouth syndrome and depressive conditions.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology.
424	Matsukawa T, Hashimoto D, Sugita J, Nakazawa S, Matsushita T, Kashiwazaki H, Goto H, Onozawa M, Kahata K, Fujimoto K, Endo T, Kondo T, Hashino S, Yamazaki Y, Teshima T	高齢者歯科学講座	Reduced-dose methotrexate in combination with tacrolimus was associated with rapid engraftment and recovery from oral mucositis without affecting the incidence of GVHD.	International Journal of Hematology
425	Ohga N, Yamazaki Y, Tsuboi K, Kkitagawa Y	高齢者歯科学講座	Healing of osteonecrosis of the jaw (ONJ) after discontinuation of denosumab in a patient with bone metastases of colorectal cancer: A case report and hypothesis.	QUINTESENCE INT
426	Zaitu M, Yamashita K, Shibusaki S, Tsunetoshi Y, Fukai M, Ogura M, Yoshida T, Igarashi R, Kobayashi N, Umezawa K, Todo S.	消化器外科 I	3-[(dodecylthiocarbonyl)methyl]-glutarimide attenuates graft arterial disease by suppressing alloimmune responses and vascular smooth muscle cell proliferation.	Transplantation
427	Shimada S, Fukai M, Wakayama K, Ishikawa T, Kobayashi N, Kimura T, Yamashita K, Kamiyama T, Shimamura T, Taketomi A, Todo S.	消化器外科 I	Hydrogen sulfide augments survival signals in warm ischemia and reperfusion of the mouse liver.	Surg Today

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
428	Matsuzawa F, Omoto K, Einama T, Abe H, Suzuki T, Hamaguchi J, Kaga T, Sato M, Oomura M, Takata Y, Fujibe A, Takeda C, Tamura E, Taketomi A, Kyuno K.	消化器外科 I	Accurate evaluation of axillary sentinel lymph node metastasis using contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid in breast cancer: a preliminary clinical trial.	Springerplus
429	Kamiyama T, Yokoo H, Kakisaka T, Orimo T, Wakayama K, Kamachi H, Tsuruga Y, Yamashita K, Shimamura T, Todo S, Taketomi A.	消化器外科 I	Multiplication of alpha-fetoprotein and protein induced by vitamin K absence-II is a powerful predictor of prognosis and recurrence in hepatocellular carcinoma patients after a hepatectomy.	Hepatol Res.
430	Yoshida T, Yamashita K, Watanabe M, Koshizuka Y, Kuraya D, Ogura M, Asahi Y, Ono H, Emoto S, Mizukami T, Kobayashi N, Shibasaki S, Tomaru U, Kamachi H, Matsushita M, Shiozawa S, Hirono S, Todo S.	消化器外科 I	The Impact of c-Fos/Activator Protein-1 Inhibition on Allogeneic Pancreatic Islet Transplantation.	Am J Transplant.
431	Fujiyoshi M, Kuno A, Gotoh M, Fukai M, Yokoo H, Kamachi H, Kamiyama T, Korenaga M, Mizokami M, Narimatsu H, Taketomi A.	消化器外科 I	Clinicopathological characteristics and diagnostic performance of Wisteria floribunda agglutinin positive Mac-2-binding protein as a preoperative serum marker of liver fibrosis in hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol.
432	Kawamura H, Shibasaki S, Yoshida T, Homma S, Takahashi M, Taketomi A.	消化器外科 I	Strategy of Laparoscopic Partial Resection for Gastric Gastrointestinal Stromal Tumors According to the Growth Pattern.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech.
433	Ishikawa T, Homma S, Shibasaki S, Yoshida T, Minagawa N, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A.	消化器外科 I	Dual-port laparoscopic abdominoperineal resection using the intended stoma site as the multichannel port.	Surg Today.
434	Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Kakisaka T, Orimo T, Shimada S, Tsuruga Y, Kamachi H, Taketomi A, Kamachi H, Taketomi A.	消化器外科 I	Our technique of preceding diaphragm resection and partial mobilization of the hepatic right lobe using a vessel sealing device (LigaSure™) for huge hepatic tumors with diaphragm invasion.	Surg Today.
435	Homma S, Kawamata F, Shibasaki S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A.	消化器外科 I	Does reduced-port laparoscopic surgery for medically uncontrolled ulcerative colitis do more harm than good?	Asian J Endosc Surg.
~				

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 北海道大学病院で実施される臨床研究が「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に適合して運用されるために「北海道大学病院における臨床研究の取扱いに関する指針」を整備し、臨床研究の分類と担当する委員会、審査に関する手順を定めている。手順書では総則、総長の責務等、病院長の責務等、自主臨床研究審査委員会の責務等、自主臨床研究責任者の責務等、自主臨床研究事務局、個人情報等、研究に係る試料及び情報等の保管の8章72条の手順を規定している。 研究責任者は、該当する審査委員会に審査を受けるための申請を行うこととし、研究者がいずれの審査を受けるべきか判断に苦慮する場合は、本院自主臨床研究委員会事務局へ問い合わせることとなっている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反マネジメント内規」及び「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー」を整備し、本院において実施する臨床研究に係る利益相反の適切な管理、審査及び指導等について必要な事項を定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 2015年6月3日 18:00~19:30「臨床研究に関する研修会」として実施。 演題：「倫理指針改正と臨床研究の質の確保」 講師：浜松医科大学医学部臨床薬理学講座・教授 渡邊 裕司 先生 内容：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について	

2015年7月15日 18:00～19:30「臨床研究に関する研修会」として実施。

演題：「臨床研究の倫理と利益相反(COI)ーこれからの考え方」

講師：徳島市病院局 病院事業管理者 曾根 三郎 先生

内容：利益相反 (COI) と臨床研究の倫理について

2015年9月7日 17:30～19:00「臨床研究に関する研修会」として実施。

演題：「研究倫理の基本的な考え方：臨床試験の倫理を中心に」

講師：国立がん研究センター 研究支援センター生命倫理室 室長 田代 志門 先生

内容：臨床研究の倫理の基礎的な内容，研究相談事例から見る具体的な臨床研究の倫理など

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院は北海道の「最後の砦病院」として高度先進医療を実践するとともに、医育大学として初期臨床研修医のほか、各領域の後期研修医（専攻医）や専門医・指導医資格取得者、さらに国外の医師免許取得者（臨床修練医）に対する高度医療技術の維持・習得を目指し、様々な研修を行っています。教育資源としては、大学病院に特有の稀少症例や難治症例に加えて、北海道内の関連病院と連携して多様な臨床経験ができる様、各領域で研修体制を整備しています。このような体制のもと、全人的な診療能力を有する専門医を育成するとともに、リサーチマインドを涵養するため、大学院での研究活動を推奨し、新たな診断治療法の開発をすすめています。

平成30年度から新専門医制度が導入されますが、当院では総合診療科を除く18の基本領域において基幹施設として研修専門委員会を設置し、専門医制度整備指針に則って専門研修プログラムを取りまとめました。初期臨床研修修了後は、各科専門研修プログラムに沿って、当院および研修連携施設において臨床研修を行なって所定の修了要件を満たしますと、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能になります。尚、専門研修プログラムは、女性医師など専攻医の多彩な背景やニーズを考慮して多様な研修が行える様、配慮されています。

2 研修の実績

研修医の人数	79人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西村 正治	内科 I	教授	40年	内科
有賀 正	小児科	教授	38年	小児科
清水 宏	皮膚科	教授	37年	皮膚科
久住 一郎	精神科神経科	教授	32年	精神科
松居 喜郎	循環器・呼吸器外科	教授	36年	外科
岩崎 倫政	整形外科	教授	28年	整形外科
櫻木 範明	婦人科	教授	40年	産婦人科
石田 晋	眼科	教授	25年	眼科
福田 諭	耳鼻咽喉科	教授	40年	耳鼻咽喉科
篠原 信雄	泌尿器科	教授	32年	泌尿器科
寶金 清博	脳神経外科	教授	37年	脳神経外科
白土 博樹	放射線治療科	教授	35年	放射線科
森本 裕二	麻酔科	教授	30年	麻酔科
松野 吉宏	病理診断科	教授	33年	病理
清水 力	検査・輸血部	准教授	31年	臨床検査
丸藤 哲	先進急性期医療センター	教授	38年	救急
山本 有平	形成外科	教授	32年	形成外科
生駒 一憲	リハビリテーション科	教授	33年	リハビリテーション

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
・ 研修の主な内容	
・ 研修の期間・実施回数	別紙のとおり
・ 研修の参加人数	
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）	
・ 研修の主な内容	
・ 研修の期間・実施回数	別紙のとおり
・ 研修の参加人数	
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況	
・ 研修の主な内容	
・ 研修の期間・実施回数	該当無し
・ 研修の参加人数	

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## ① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

別紙

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
1	平成27年度救急シミュレーション（歯科診療センター第4診療室）	患者急変時の対応訓練	平成28年3月8日	歯科医師約40名 看護師・歯科衛生士約4名
2	「医療安全とチーム医療におけるJCIの有用性」	医療安全の対応について理解を深める	年1回	81名
3	新任リスクマネジャー集合講習会	1. 新任リスクマネジャーとして役割発揮に必要な知識の修得 2. 北海道大学病院の医療安全管理体制の理解	年2回	延べ19名
4	人工呼吸器安全管理講習会Ⅰ（基礎課程）『人工呼吸器パトロール点検結果』『人工呼吸器の管理の基本』『呼吸理学療法』『人工呼吸器装着患者の看護』『人工呼吸器状況別トラブル対策』『人工呼吸器保守点検』	人工呼吸器が稼働している部署の管理水準を向上するとともに現場の人工呼吸器管理に関する指導的人材を育成	年6回	延べ119名
5	「2014年度のインシデントを振り返って」 「2014年度の感染症とその対策を振り返って」	1. インシデントを振り返り、医療安全に関する理解を深める 2. 感染制御のための対策を理解する	年3回	延べ1336名
6	「採血・穿刺時の神経損傷予防」	採血・穿刺時の神経損傷の理解を深め、防止に向けた対応を理解する	年1回	120名
7	医療機器に関する研修「輸液・シリンジポンプ編」	医療機器の操作に関する知識や技術を習熟し、部署内で効果的な指導ができる	年2回	延べ30名
8	「抗癌剤曝露の現状と対策」	医療安全の対応について理解を深める	年1回	240名
9	「法制化された医療事故調査制度」	医療安全の対応について理解を深める	年3回	延べ770名
10	危険薬の取扱い 1. 医薬品に関するインシデントについて 2. 危険薬について	医薬品に関する知識を習熟し、効果的な指導が展開できる	年2回	延べ35名
11	「現代実践に活かす「臨床倫理」の考え方—倫理的ジレンマを「個人の悩み」にしないために—」	医療安全の対応について理解を深める	年1回	435名
12	人工呼吸器安全管理講習会Ⅱ（認定過程）	人工呼吸器が稼働している部署の管理水準を向上するとともに現場の人工呼吸器管理に関する指導的人材を育成する	年1回	9名
13	「B型肝炎活性化対策」	医療安全の対応について理解を深める	年2回	405名
14	人工呼吸器安全管理講習会認定課程試験（筆記・実技）	人工呼吸器が稼働している部署の管理水準を向上するとともに現場の人工呼吸器管理に関する指導的人材を育成する	年1回	9名
15	人工呼吸器安全管理認定者更新者予備講習	人工呼吸器が稼働している部署の管理水準を向上するとともに現場の人工呼吸器管理に関する指導的人材を育成する	年2回	延べ8名
16	「チーム医療と医療安全」	医療安全の対応について理解を深める	年1回	129名
17	人工呼吸器認定者更新試験（筆記・実技）	人工呼吸器認定者の質を保証するを図る	年1回	3名
18	「平成27年度 歯科インシデントより」	医療安全の対応について理解を深める	年1回	176名
19	「PMDAによる医薬品の安全対策の基本的概念と実際」	医薬品に関する知識を深め、各部署で効果的な指導が展開できる	年1回	87名
20	院内BLS/AED講習会 1. 心肺蘇生 2. AEDを用いた蘇生シミュレーション	一次救命処置ができる	年3回	延べ43名
21	医科研修医採用時オリエンテーション 「Antibiogramの読み方」	医科研修医に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	35名
22	研修医 院内感染対策研修 「1. 感染防御具の脱着方法」 「2. 安全装置付器材による採血と静脈留置の実際」	研修医に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	35名
23	研修医セミナー「恐怖の一類感染症：日本上陸時の対応は」	研修医に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	41名
24	医事課所属事務補助員（新規採用者）院内感染対策研修 「感染制御の基本と 北大病院の感染管理」	新任職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	22名
25	初任職員研修 「院内感染予防」	新任職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	139名
26	新任事務職員研修 「病院事務職員の 感染対策」	新任職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	23名
27	看護助手研修「感染対策の基礎知識」	チーム医療における看護助手の役割を理解し、実践できる感染について基礎知識を学び、感染予防策を実践する救命救急処置の基本を理解する	年5回	延べ154名
28	新規感染対策マネジャー講習会 「感染対策マネージャーの役割」	北海道大学病院院内感染対策指針と感染対策マネージャーの役割	年2回	20名
29	専門領域別研修会感染管理 「スタンダードプリコーション」 「感染経路別予防策」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	23名
30	専門領域別研修会感染管理 「1. 血管内留置カテーテル管理」 「2. 尿路留置カテーテル管理」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	32名
31	専門領域別研修会感染管理「針刺し・切創・粘膜汚染予防対策」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	17名
32	院内感染対策講演会 「2014年度のインシデントを振り返って」 「2014年度の感染症とその対策を振り返って」	1. インシデントを振り返り、医療安全に関する理解を深める 2. 感染制御のための対策を理解する	年3回	延べ1336名

33	栄養管理部食中毒防止講習会 「1. 食中毒防止について」 「2. 感染防止の基本は手洗いから」	大量調理管理施設に働く職員の健康管理と食中毒予防対策を学ぶ	年1回	13名
34	外注調理職員 食中毒防止講習会 「1. 食中毒防止について」 「2. 感染防止の基本は手洗いから」	大量調理管理施設に働く職員の健康管理と食中毒予防対策を学ぶ	年1回	89名
35	外注清掃職員 清掃教育研修会「病院清掃について」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	85名
36	院内学級(小・中学校生徒及び教諭)感染対策講習会 「院内感染予防」 「手洗い実習」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年3回	18名
37	物流管理センター学習会 「針刺し・切創と皮膚・粘膜汚染防止について」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	35名
38	院内感染対策講演会「多職種連携による医療関連感染対策の成果」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	114名
39	院内感染対策講演会「結核の診断と管理」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	165名
40	院内感染対策講演会「感染性胃腸炎、インフルエンザシーズンに備えて」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	259名
41	院内感染対策講演会「歯科診療センターにおける感染対策の問題点」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	158名
42	院内感染対策講演会「当院における感染対策の問題点」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年1回	129名
43	「知っていれば怖くないHIV感染症～これだけは知っておきたいHIV/AIDSの基礎知識～」 「針刺し事故時に慌てないために」「見落とし注意！HIV感染症」 「HIV感染判明時の対応」	職員に対して、必要な基礎知識を付与	年2回	延べ144名
44	異動後医師研修	研修医に対して、必要な基礎知識を付与	年2回	延べ82名
45	縫合結紮を動物の組織を用いておこなうまた、ドライボックスを用いて内視鏡下に縫合結紮のトレーニングをおこなう内視鏡外科のシュミレーターを用いて手術手技の理解する	縫合手技のレベルアップ、内視鏡外科手技の向上	年2回	延べ45名
46	大動物を用いた内視鏡外科手術のトレーニングをおこなう豚に麻酔をかけ人間と同じ腹腔鏡機器を用いて実際の手術に見立てて手技の確立を目標とする	縫合手技のレベルアップ、内視鏡外科手技の向上	年3回	延べ30名
47	初任職員(医療職)リエンション	労働安全衛生について理解する	年1回	150名
48	【医事課クラーク】 ・労働災害防止対策 ・心身の管理	新任職員に対して、必要な基礎知識を付与	年2回	30名
49	【栄養管理部勤務職員】食中毒防止対策	大量調理管理施設に働く職員の健康管理と食中毒予防対策を学ぶ	年1回	100名
50	【認定感染管理看護師】・労働安全衛生法・職業感染予防の取組み	高度で各専門領域に特化した知識と技術に対する教育を支援	年1回	15名
51	【清掃員】〔講義・演習〕・病院が求める環境衛生と職員の健康・手洗い実習	事務所と病院の清掃の違いを知り、適切な清掃に関する知識を身につける	年2回	75名
52	【医学部学生】医療廃棄物の回収・運搬処理・放射線医薬品使用後の環境消毒の実際・抗癌剤等ミキシング作業に伴う医療廃棄物の取り扱い・職員の暴露防止策、感染症拡散防止策の実施	医療廃棄物を直して、環境汚染防止対策・防疫の実際を学ぶ	年1回	4名
53	自分で出来るストレッチの方法・実技・コルセットの選び方・電気刺激治療器の体験	腰痛予防対策を学ぶ	年1回	26名
54	接遇の基本	北海道大学病院職員として接遇に関する知識を知り、日常の業務に活用できる	年2回	延べ214名
55	担当指導者としての、接遇・コミュニケーション技術について	研修を継続的に受講し、各診療科、部署に求められる「接遇・コミュニケーション技術」について指導ができる	年2回	20名
56	護身術とはどのようなものか(知識・技術)	自分や他人の生命、身体を守るための知識・技術・方法を学ぶ	年1回	14名
57	【看護師】看護助手接遇研修(初任職員研修)	病院における接遇に北海道大学病院職員として接遇に関する知識を知り、日常の業務に活用できる	年1回	15名
58	【看護師】職場復帰直前研修	育児休業者が最近の医療・看護の動向を理解し、実践を学ぶことで円滑に職場復帰ができるように支援する	年1回	31名
59	【医事課クラーク】新任者接遇研修	病院における接遇に北海道大学病院職員として接遇に関する知識を知り、日常の業務に活用できる	年2回	30名
60	パワーハラ・セクハラの正しい知識について	働きやすい職場環境を目ざし、パワーハラ・セクハラについて正しく理解し、適切に防止・対応できる。	年1回	82名
61	【看護師】職場復帰直前研修	育児休業者が最近の医療・看護の動向を理解し、実践を学ぶことで円滑に職場復帰ができるように支援する	年1回	31名
62	【事務職員】発達障害者とは、発達障害者である同僚への接し方、配慮	発達障害について正しく理解し、同僚への偏見をなくし、業務指示・連携が円滑にできる	年2回	22名
63	北大病院PET製薬製造施設 教育プログラム	北大病院PET製薬製造施設 職員に対する定期教育	年2回	延べ50名
64	『だれにでも起こる?!「栄養失調」～ちゃんと食べているのになぜ??～』	臨床検査医学、臨床検査技師の役割等の啓発	年1回	128名
65	血液検査室の現在・将来の検査ニーズ	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	47名
66	CML治療の変遷 LGLの免疫賦活作用について	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	45名
67	自動顕微鏡+血液細胞分類装置CELLAVISION DM9600のご紹介	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	37名

68	腎疾患の新しいバイオマーカー 尿中L-FABPの有用性	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	47名
69	痛みを数値化 ペインビジョン	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	32名
70	The influence of day length on cancer stem cell reserch : 癌細胞研究における昼間時間の影響の検討	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	49名
71	院内環境から株化したアメーバに共生する原始的なクラミジアの感染能力について	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	48名
72	「アンモニア測定試薬の試薬ブランク上昇の原因と対策」 「Effects of Hypertrophy on the Estimation of Left Ventricular Diastolic Function」 「FISH解析が有効であった2種の染色体クローンを持つ急性単急性白血病の1」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	47名
73	潰瘍性大腸炎の活動性評価における超音波検査の有用性の検討-多施設での大腸内視鏡検査との信頼性比較について	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	40名
74	「発色合成基質法を用いた新規経口抗凝固薬edoxabanの血中濃度の測定」 「Xa阻害薬ivaroxabanとapixabanのPTモニタリングにおける比較」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	46名
75	「心房細動例での左室機能評価に有効な代表心拍の決定法：各指標の心周期変動に対する依存性の比較に基づく検討」 「肥大型心筋症における心血管合併症と心筋ストレインの関連：左室グローバルおよび局所ストレインとそのばらつき」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	35名
76	「生化学自動分析装置における反応過程モニタを用いたリアルタイム異常検出の検討」 「微生物検体処理システムWASPとルーチン法の液体検体処理能と比較検討」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	36名
77	「質量分析法（MALDI-TOF MS法）を用いた直微生物同定法の検討について」 「当院における輸血後感染症検査の実施状況」 「フレックスカートリッジ タクロリムスTACの基礎的検討」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	39名
78	「MsEPの消失が超低温循環停止時の脳血流低下によるものと推察された胸部大動脈瘤の一例」 「超音波造影検査による潰瘍性大腸炎の活動性評価の試み」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	39名
79	HAMAにより手術後一過性にCA19-9が偽高値を呈した1例	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	40名
80	「全自動凝固測定装置CS-5100IによるXa阻害活性とPTの同時測定」 「BDバクテックシステムを用いた新しい無菌試験法の検討」	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	42名
81	Spectra Optialによる末梢血幹細胞採取の検討	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	37名
82	簡易間接熱量計の有用性が示唆された重症広範囲熱傷の1例	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	42名
83	特異な画像所見を呈した肝類上皮血管内皮腫の一例	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	34名
84	Waxy casts in the urinary of patients with different types of glomerular disease :Results of aapropective study	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	52名
85	Comparison od in-hospital mortality in patients with COPD, asthma and asthma-COPD overlap exacerbations	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	48名
86	Maldi-TOF MS for Diagnosis of Infections Diseases	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	53名
87	Conventional markers in determination of activity of sarcoidosis	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	52名
88	補助循環装置（PCPS, IABP）	医療機器の安全使用のための研修	1回	41名
89	IABPバルーンの様と挿入術	医療機器の安全使用のための研修	1回	8名
90	キャピオックスSP101の原理と使用方法	医療機器の安全使用のための研修	1回	10名
91	補助循環の原理と実際	医療機器の安全使用のための研修	1回	7名
92	血管内超音波法	医療機器の安全使用のための研修	1回	9名
93	汎用人工呼吸器サーボU	医療機器の安全使用のための研修	1回	16名
94	人工呼吸器MonnalT60	医療機器の安全使用のための研修	1回	8名
95	新生児の呼吸特性と病態生理, VN500	医療機器の安全使用のための研修	1回	15名
96	未熟児新生児用人工呼吸器	医療機器の安全使用のための研修	1回	12名
97	人工呼吸器関連勉強会	医療機器の安全使用のための研修	2回	44名
98	人工呼吸器PB980	医療機器の安全使用のための研修	1回	11名
99	人工呼吸器PB980アドバンスコース	医療機器の安全使用のための研修	1回	6名
100	加温加湿器, 結露コントロールと加湿コントロール	医療機器の安全使用のための研修	1回	8名
101	吸着型血液浄化器リポソーパーシステム	医療機器関連の安全使用のための研修	1回	9名
102	非対称構造血液濾過透析器	医療機器関連の安全使用のための研修	1回	14名

103	血液浄化療法と装置の安全な操作について	医療機器の安全使用のための研修	1回	8名
104	透析関連酸化ストレスを抑制するために	医療機器関連の安全使用のための研修	1回	10名
105	血液浄化療法の関連する手技と知識を身につける	医療機器の安全使用のための研修	1回	14名
106	腹水濾過濃縮再静注法	医療機器関連の安全使用のための研修	1回	9名
107	除細動器の操作について	医療機器の安全使用のための研修	1回	34名
108	除細動器、TEC5621	医療機器の安全使用のための研修	1回	68名
109	除細動器の30分講習	医療機器の安全使用のための研修	1回	18名
110	閉鎖式保育器とは	医療機器の安全使用のための研修	1回	34名
111	開放、閉鎖式保育器	医療機器の安全使用のための研修	1回	8名
112	閉鎖式保育器Incu-i	医療機器の安全使用のための研修	1回	16名
113	閉鎖式吸引システムトラックケア	医療機器関連の安全使用のための研修	1回	17名
114	高気圧酸素療法装置	医療機器の安全使用のための研修	1回	7名
115	放射線障害防止のための教育訓練(臨時)	放射線同位元素等の安全な取り扱い・防護の実際を学ぶ	年1回	約150名
116	看護部初任職員研修	看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護業務について理解する	年1回	128名
117	看護助手研修(初任職員研修)	看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護助手業務について理解する	年1回	120名
118	看護部初任職員研修(メンタルヘルス研修・中央部門研修)	自部署と関連する中央部門の役割および場を理解するメンタルヘルスサポートを実践できるための知識を得る	年1回	117名
119	医療情報	医療情報システムについて理解する	年3回	128名
120	病院初任職員研修	本院職員としての心構えと必要な知識を身につけ、医療職員としての責任ある行動がとれる	年2回	128名
121	新卒者看護技術研修(採血・口腔ケア)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	101名
122	臨地実習担当者研修	基礎教育の理解を深め、臨地実習担当者の役割がわかる	年1回	33名
123	新卒者看護技術研修(注射・ホップ)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	102名
124	看護研究Ⅱ	看護研究のプロセスを学び、研究計画書が立案できる	年1回	9名
125	リーダー研修Ⅰ	看護チームにおけるリーダーの役割を理解し、リーダーシップを発揮できる	年2回	45名
126	リーダー研修Ⅱ	問題解決能力を高め、チーム医療の中でリーダーシップを発揮できる	年3回	14名
127	看護助手研修	看護チームにおける看護助手の役割を理解し、日常業務について考える	年4回	132名
128	看護必要度研修、新卒者看護技術研修(皮膚排泄ケア)	看護必要度について理解する看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	93名
129	再就職者、既卒就職者研修	本院の患者参加型看護・看護記録を理解する	年1回	25名
130	看護倫理研修	チーム医療の中で患者の権利の擁護者として看護師の役割を理解し、看護実践を行う能力を高める	年2回	40名
131	新卒者看護技術研修(心電図・酸素)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	101名
132	2年目看護師研修	看護実践者として、看護過程を展開する能力を高め、看護実践を記録できる力を身につける	年2回	81名
133	看護研究Ⅰ	看護研究の基本を学ぶ	年1回	59名
134	新卒者看護技術研修(膀胱・輸血)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	101名
135	2年目看護師多重課題研修	患者の心身の状況と業務の関連をアセスメントし優先順位を判断できる	年2回	81名
136	プリセプター研修	プリセプターシップの概念が理解できる	年2回	66名
137	3年目看護師研修	3年目の果たす役割を明確にし、看護に対する自己啓発を促す	年2回	57名

138	看護とキャリア研修	チーム医療の中で、看護職としてのキャリアを活かした看護実践ができる	年1回	28名
139	新卒者合同研修②、1年目フィジカルアセスメント研修	組織の一員として職種間連携の必要性を理解し、医療職者として責任ある行動について学ぶ専門職業人として、根拠に基づいた予測性のある観察ができる	年1回	94名
140	新卒者看護技術研修（心肺・理学）	看護施術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	101名
141	新卒者看護技術研修（栄養・ドレージ）	看護施術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	101名
142	家族看護研修	家族看護を学ぶことで、看護実践能力を高める	年2回	34名
143	1年目研修	看護専門職者として、自覚と責任ある行動がとれるための自己の課題が見いだせる	年2回	89名
144	看護記録研修	部署において「患者参加型看護」を推進するための役割が担える	年1回	35名
145	看護必要度研修(指導者)	患者の重症度、看護必要度について適切な評価がおこなえ、部署で指導できる	年1回	50名
146	1年目看護師多重課題研修	多重課題に対して優先順位を判断し、行動できる	年3回	91名
147	静脈注射エキスパートナース研修	静脈注射エキスパートナースとして、実践能力を高め役割を発揮できる	年1回	35名
148	2年目看護師研修（継続）	看護実践者として、看護過程を展開する能力を高め、看護実践を記録できる力をつける	年1回	80名
149	3年目看護師研修（継続）	3年目の果たす役割を明確にし、看護に対する自己啓発できる	年2回	55名
150	新卒者合同研修③	安全な医療の提供のために、臨床の倫理について考える	年1回	106名
151	静脈注射エキスパート認定研修	安全に静脈注射の実践ができるよう知識・技術を獲得し、スタッフに指導ができる	年3回	34名
152	看護研究Ⅱ（継続）	看護研究のプロセスを学び、研究計画書が立案できる	年1回	9名
153	静脈注射エキスパート更新試験	注射スキルの技術アップを図る	年1回	40名
154	職場復帰直前研修	育児休業者が最近の医療・看護の動向を理解し、実践を学ぶことで円滑に職場復帰ができるように支援する	年3回	述べ30名
155	がん化学療法看護	がん化学療法看護を学ぶ	年7回	95名
156	救急看護	災害看護 基礎、応用等を学ぶ	年7回	104名
157	小児救急看護	こどもの一次救命技術等を学ぶ	年6回	31名
158	皮膚・排泄ケア	DESIGN-Rの使い方 基礎編等を学ぶ	年7回	36名
159	感染管理	スタンダードブリーチン	年3回	127名
160	新生児集中ケア	入院中の母乳育児支援を学ぶ	年2回	51名
161	手術看護	手術看護の実際を学ぶ	年2回	29名
162	皮膚・排泄ケア		年7回	36
163	糖尿病看護	糖尿病患者の療養支援	年2回	58名
164	慢性疾患看護	患者の理解を深める	年2回	12名
165	がん放射線療法看護	がん放射線看護を学ぶ	年2回	68名

## ② 業務の管理に関する研修の実施状況

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名	目 的 等		
1	第11回内部監査員勉強会	ISO15189, 品質マネジメントシステムの理解を深める	年1回	58名
2	QMS勉強会	ISO15189, 品質マネジメントシステムの理解を深める	年1回	43名
3	オリエンテーション, 院内ネットワーク, 患者接遇, 医療安全・感染制御 の概要説明	新任職員に対して, 必要な基礎知識を付与	年1回	約50名
4	がん治療の周術期管理	がん治療化学療法前の口腔管理を目的とした治療及び治療計画の作成(チーム医療含む)等理解を深める	年1回	約20名
5	看護師長研修	看護管理者として人材育成のための管理能力の向上を図る	年3回	38名
6	看護師長オリエンテーション	看護師長の役割が理解できる	年1回	20名
7	新副看護師長オリエンテーション	副看護師長の役割が理解できる	年1回	40名
8	副看護師長研修	副看護師長の役割を理解し、看護管理者能力を高める	年3回	79名
9	新任看護師長研修	看護師長の役割が理解できる	年2回	2名

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画      2. 現状
管理責任者氏名	病院長 寶金 清博
管理担当者氏名	総務課長 医事課長 医療支援課長 薬剤部長

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療録管理室	
		看護記録	診療録管理室	
		検査所見記録	診療録管理室	
		エックス線写真	診療録管理室	
		紹介状	診療録管理室	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録管理室	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療支援課
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療支援課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療支援課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		監査委員会の設置状況	医療支援課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療支援課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課
職員研修の実施状況	医療支援課		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	①. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 大石和博, 経営企画課長 入澤秀次	
閲覧担当者氏名	総務係長 山内好子, 分析企画係長 石川裕司	
閲覧の求めに応じる場所	総務課事務室, 経営企画課事務室	
閲覧の手続の概要		
利用者は必要に応じ, 文書により閲覧責任者に閲覧を申し出, 閲覧担当者は閲覧に応じる。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方</li><li>2. 医療に係る安全管理のための委員会等に関する組織の基本的事項</li><li>3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本的事項</li><li>4. 医療機関における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 医療従事者と患者間の情報の共有に関する基本方針</li><li>7. 患者等からの相談に関する基本方針</li></ol></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無（有）</li><li>・ 開催状況：年 1 2 回</li><li>・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療事故等防止対策の検討及び推進に関すること</li><li>2. 医療事故等の対応及び原因究明に関すること</li><li>3. 医事紛争の対応等に関すること</li><li>4. 医療事故等の情報収集及び分析に関すること</li><li>5. 医療事故等防止に関する職員の教育・研修に関すること</li><li>6. その他医療事故等に関すること</li></ol></li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療安全に関する講演会「医療安全とチームにおける J C I の有用性」</li><li>2. 医療安全に関する講演会「2014 年度のインシデントを振り返って」 × 3 回</li><li>3. 医療安全に関する講演会「抗癌剤暴露の現状と対策」</li><li>4. 医療安全に関する講演会「採血・穿刺時の神経損傷予防」</li><li>5. 医療安全に関する講演会「法制化された医療事故調査制度」× 3 回</li><li>6. 医療安全の日講演会「現代実践に活かす「臨床倫理」の考え方ー倫理的ジレンマを「個人の悩み」にしないためにー」</li><li>7. 医療安全に関する講演会「B 型肝炎再活性化対策」× 2 回</li><li>8. 医療安全に関する講演会「チーム医療と医療安全」</li><li>9. 医療安全に関する講演会「平成 27 年度 歯科インシデントより」</li><li>10. 医療安全に関する講演会「PMDA による医薬品の安全対策の基本的概念と実際」</li></ol></li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 報告書に伴う問題点の把握方法（各部署、安全管理部門の問題点の認識） インシデント報告に関する分析からフィードバックまでの対応（職員への周知と再発防止）<ol style="list-style-type: none"><li>1) 専任リスクマネージャー（GRM）が当該リスクマネージャー（RM）へ事実確認を行い、報告内容の監査・分析を行い、問題事例や有害事象の場合は、当該 RM との検討、患者の影響度、患者への対応状況などを協議し対応している。</li></ol></li></ol></li></ul>	

- 2) レベル3 bの有害事象の場合は、当該部署のRMに当該部署として検討を行った結果と再発防止策について、事例報告書として詳細報告を要請し、事例報告書に基づき原因・起因を分析し、病院長に報告している。
  - 3) レベル4, 5の有害事象は、GRMが聞き取り・現場検証などの事実調査を行い、当該RM・関係者との事象の検討、患者の影響度、患者への対応などを協議している。GRMが作成した検証資料に基づき、病院長・医療安全管理部長・当該部署の責任者とRMにより原因検討を行い、重篤な事案の場合は医療事故対策特別部会で原因検討の上、病院の見解を明確にしている。
2. 問題点の分析方法（各部署、安全管理部門の問題点の分析方法）
- 1) 必要な事例については、専門分野の医員を指名し、WG、院内医療事故検討会を設置し、原因分析・再発防止策を作成する。
  - 2) 医療事故等調査・分析専門委員会において、3 a以上の報告については、月ごとにレベル・過誤の判定と合併症の妥当性の検討を行っている。
  - 3) レベル3 b以上の報告は、毎週月曜日に報告内容を分析し、原因と患者への影響度を検討し、医療事故報告制度への報告対象事例の判定を行っている。
3. 改善策の検討方法
- 1) 報告の全体的分析は、毎月と年間において実施し、発生レベル・報告状況・場面別に集計し、発生場面別や職種別の発生状況について定量的分析を行い「医療安全に関する報告集計」を作成し、各委員会に周知を図っている。また、病院運営会議においても報告し、周知を図っている。
  - 2) 各診療科・部署の安全管理を図るために、前年度の当該診療科・部署での報告について年間集計し、当該診療科・部署での優先的課題を分析し、年度前半で、診療科・部署RM等で対策を検討し、年度末に再度、今年度の当該診療科・部署での報告について集計し、優先的課題の評価を実施し、次年度に向けて継続事項を検討している。
  - 3) 医薬品・医療機器に関する事象については、関係専門委員会で再発防止策を検討し、システム改善・教育体制などの企画を検討している。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 院内感染対策に関する管理組織機構 (1) 院内感染対策委員会 (2) 院内感染対策特別部会 (3) 感染制御部 (4) 感染防止対策チーム (5) 感染対策マネージャ連絡会議</li><li>3. 職員研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針</li><li>7. その他院内感染対策の推進のために基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策の検討・推進</li><li>2. 院内感染防止の対応及び原因究明</li><li>3. 院内感染等の情報収集及び分析</li><li>4. 院内感染防止等に関する職員の教育・研修</li><li>5. その他院内感染対策に関する事項</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全従業者に対する研修等</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 第 1 回専門領域別研修会感染管理</li><li>2. 第 1 回（通算61回）院内感染対策講演会①</li><li>3. 第17回H I V学習会</li><li>4. 第 1 回（通算61回）院内感染対策講演会②</li><li>5. 第 2 回専門領域別研修会感染管理</li><li>6. 第 1 回（通算61回）院内感染対策講演会③</li><li>7. 第 3 回専門領域別研修会感染管理</li><li>8. 第18回H I V学習会</li><li>9. 第 2 回（通算62回）院内感染対策講演会</li><li>10. 第 3 回（通算63回）院内感染対策講演会</li><li>11. 第 4 回（通算64回）院内感染対策講演会</li><li>12. 第 5 回（通算65回）院内感染対策講演会</li><li>13. 第 6 回（通算66回）院内感染対策講演会</li></ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>「感染症のアウトブレイク発生に伴う保健所への報告基準」を制定し、保健所や大学内の報告に係る基準及び方法等について整備済みである。（平成 2 3 年 6 月 1 7 日医政指発第 1 号に基づき、平成 2 3 年 8 月 2 5 日病院執行会議において承認）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染防止対策チームを設置して、院内感染状況、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止策等の実施状況の把握と指導。</li></ol>	

2. 耐性菌サーベイランス等，感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応。
3. 感染防止対策加算1を算定する医療機関として，同じく加算1を算定する医療機関との相互評価及び加算2を算定する医療機関との合同カンファレンスの開催等により道内の医療機関との連携を図る。
4. 平成24年4月から，感染制御部専任の医師（医員）1名を新たに配置。
5. 感染制御部専任の事務補佐員（非常勤職員）1名を継続して配置し，平成24年7月から，事務職員（常勤職員）1名を配置。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 研修医オリエンテーション「処方全般」 開催回数：2回（2015年4月6日、7日）、対象：医師</li><li>2. 医薬品に関する講習会「インスリン安全管理講習会、糖尿病・インスリン療法について」 開催回数：1回（2015年7月1日）、対象：全職種</li><li>3. 医薬品に関する講習会「危険薬の取扱い」 開催回数：2回（2015年8月26日、9月2日）、対象：看護師</li><li>4. 異動後医師研修「危険性の高い薬剤の取扱い」 開催回数：2回（2015年6月30日、11月25日）、対象：医師</li><li>5. 医薬品に関する講習会「PMDAによる医薬品の安全対策の基本的概念と実際」 開催回数：1回（2016年3月8日）、対象：全職種</li></ol>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全使用に関する手順書</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 医療安全上、注意を要する薬剤リスト<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 特に安全管理が必要なリスト</li><li>(2) 配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬</li><li>(3) 誤認に注意薬剤</li></ol></li><li>2) 指示・伝達ルール<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 指示・伝達ルール</li><li>(2) 口頭指示は原則禁止</li></ol></li><li>3) 内服薬に関する管理基準<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 内服薬管理基準</li><li>(2) 薬剤管理指導業務手順書</li><li>(3) 入院患者の持参薬確認業務手順書</li><li>(4) 誤調剤に対する調剤室対応手順</li></ol></li><li>4) 注射薬に関する管理基準<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 注射業務管理基準</li><li>(2) 注射薬混合調製（ミキシング）手順書</li></ol></li><li>5) 危険性の高い薬剤に関する手順書<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 危険性の高い薬剤の取扱い手順書</li><li>(2) 注射用抗生物質製剤等によるショック等に対する安全対策</li><li>(3) 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および処置・手術時の対応</li><li>(4) ビグアナイド系糖尿病薬服薬中のヨード造影剤使用の検査について</li></ol></li><li>6) 抗がん薬に関する手順書<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内がん化学療法要項</li><li>(2) がん化学療法実施運用手順書</li><li>(3) 抗がん薬の投与に関する手順書</li><li>(4) 抗がん薬被爆防止に関するマニュアル</li><li>(5) 院内におけるがん化学療法の安全性に関する取り決め</li><li>(6) 血管外漏出およびアレルギー反応発生時の対応について</li></ol></li><li>7) 医療安全情報管理<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療安全性情報管理体制</li><li>(2) 薬剤部における医薬品情報管理マニュアル</li></ol></li><li>8) 医薬品管理<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 病棟における注射剤管理業務手順書</li></ol></li></ol>	

- (2) 病棟における薬剤師業務基準
- (3) 麻薬管理取扱い手順
- 9) インスリン療法マニュアル
  - (1) インスリン療法マニュアル
  - (2) インスリンラインナップ
  - (3) 各製剤の使い方
- 10) 医薬品の採用に関する手順書
- 11) 他施設との連携に関する手順書

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - ・ 医薬品の情報管理体制として、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成し、それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」として、医薬品医療機器総合機構（PMDA）からの医療安全情報は「PMDA医療安全情報」「緊急安全性情報」「安全性速報」「PMDAから医薬品適正使用のお願い」としてメールにより診療科・部門に提供している。また、関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。
  - ・ 医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会内容の検討を行っている。
  - ・ 未承認薬に関して、現在検討中。
  - ・ 適応外使用に関しては、調剤時に確認・記録を実施しているが、更に徹底する方法を現在検討中

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 5 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 人工心肺装置・大動脈内バルーンポンプ装置・経皮的な心肺補助装置 計4回実施 (7月28日, 8月13日, 9月17日, 10月27日)</li><li>2. 人工呼吸装置 計9回実施 (7月30日, 8月6日, 25日, 11月5日, 24日, 12月6日, 20日, 2月4日, 28日)</li><li>3. 人工呼吸器安全管理講習会 院内ワーキング認定試験の講習として基礎課程3回を2クール計6回</li><li>4. 血液浄化装置 計6回実施 (5月26日, 6月11日, 15日, 7月8日, 9月29日, 10月15日)</li><li>5. 除細動器・自動体外式除細動器 (AED) 計4回実施 (4月6日, 8月5日, 9月9日, 12月9日)</li><li>6. 閉鎖式保育器 計3回実施 (4月2日, 6日, 6月10日)</li><li>7. 輸液ポンプ・シリンジポンプ 計2回実施 (6月4日, 18日)</li><li>8. 高気圧酸素療法 計1回実施 (5月14日)</li><li>9. 閉鎖式吸引 計1回実施 (12月3日)</li><li>10. 診療用高エネルギー放射線発生装置 計15回</li><li>11. 診療用放射線照射装置 (9月24日)</li><li>12. 陽子線治療装置 (10月6日)</li><li>13. 新規導入機器研修</li><li>14. 人工呼吸器ベネット980 : 計3回実施 (11月5日, 12月6日, 20日)</li></ol>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>電子カルテ内のME管理システムを使用し、医療機器の種類と機種ごとに保守点検計画の策定、実施、及び、実施の確認をしている。</p> <p>【中央管理機器】 ME機器管理センターにおける使用語の終業点検, 1ヶ月点検, 定期点検の実施 不具合発生時の現場調査と故障点検の実施 故障時のメンテナンスとメーカーとの調整</p> <p>【放射線部管理機器】 放射線部における、①始業点検、②2回/月以上の出力線量測定、③3ヶ月及び6ヶ月毎に放射線及び幾何学的点検、④漏洩線量等の放射線管理に関する測定を実施している。 他に製造メーカーと保守契約を結び年間4回の定期メンテナンスを実施している。</p> <p>【診療科・部門管理機器】 医療機器管理システムを使用して、管理課で保守点検計画により機器のリストを作成し、機器の保守点検を実施。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

医療機器の情報管理体制として、医療安全性情報管理体制を整備。

それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」としてメールで診療科・中央診療部門に提供。

関係機関やメーカーからの医療機器に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼。

また、ME機器管理センターからMEセンターニュースとして医療機器情報を全病棟、外来、中央管理部門へ提供。

医療機器を管理するための北海道大学病院の医療機器管理体制を明文化。

使用頻度の高い医療機器についてeラーニングシステムを構築。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>平成 28 年 10 月 1 日付けで、病院長補佐（医療安全担当）を増設し、医療安全管理責任者として配置した。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3 名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部において、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外、禁忌等の処方に係る確認等については、薬剤師を指名して同様の業務を実施している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認薬に関して、現在検討中。また、適応外使用に関しては、調剤時に確認・記録を実施しているが更に徹底する方法を現在検討中である。</p> <p>・担当者の指名の有無（有）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>インフォームド・コンセントについては、既に院内のマニュアルがあり、マニュアルに沿って実施している。今後は、診療録管理室が現状のモニタリングを行い、指導等を行う予定である。</p> <p>また、説明する機会も増えていることから、関連部門（各診療科・看護部）・医療安全管理部と協議してマニュアルの改正等（要項を含む）があれば、職員に周知する予定である。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・活動の主な内容：</p> <p>インフォームド・コンセントは説明内容を診療録に記載する等、診療録と密接な関係にあるため診療録管理室長を責任者として配置した。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p>	

・活動の主な内容：

1. 医療事故及びインシデント報告の受理及び分析に関すること。
2. リスクマネジャー連絡会議の運営並びにその記録等の作成及び保存，その他リスクマネジャー連絡会議の庶務に関すること。
3. リスクマネジャー連絡会議の運営並びにその記録等の作成及び保存，その他リスクマネジャー連絡会議の庶務に関すること。
4. 医療安全に関する教育及び研修に関すること。
5. 医療現場からの医療事故等の相談に関すること。
6. 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載内容の確認及び必要な指導に関すること。
7. 医療事故等の発生時における患者又はその家族への対応状況の確認及び必要な指導に関すること。
8. 医療事故等に対する原因究明の実施状況確認及び必要な指導に関すること。
9. 医療安全に係る連絡調整に関すること。
10. その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
  - ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
  - ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

現在「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」において、高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置及び高難度新規医療技術評価委員会の設置について検討している。併せて、部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成及び遵守状況の確認方法について、検討を行う。

なお、平成29年3月末までは、既存の委員会である倫理委員会、自主臨床研究審査委員会及び治験審査委員会で審議を行う。

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
  - ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
  - ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

現在「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」において、未承認新規医薬品等の使用の適否等を決定する部門の設置及び未承認新規医薬品等評価委員会の設置について検討している。併せて、部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成及び遵守状況の確認方法について、検討を行う。

なお、平成29年3月末までは、既存の委員会である倫理委員会、自主臨床研究審査委員会及び治験審査委員会で審議を行う。

⑨ 監査委員会の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年 回</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法：</li> </ul> <p>現在「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」において、監査委員会委員の要件等の確認を行った。今後、北海道大学総長と確認しながら委員の選出、規程の整備を行う。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
  1. 医療事故等防止対策の検討及び推進に関すること。
  2. 医療事故等の対応及び原因究明に関すること。
  3. 医事紛争の対応に関すること。
  4. 医療事故等の情報収集及び分析に関すること。
  5. 医療事故等防止に関する職員の教育・研修に関すること。
  6. その他医療事故等に関すること。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ））・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ））・無）
- ・技術的助言の実施状況  
今後、厚生労働省から示される立入の方法等の内容を参考に行う。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
患者相談室を設置し、医療支援課が対応している。医療支援課長が室長となり、業務を総括している。窓口の周知方法は、外来ホールにポスターを掲示し周知している。なお、医療安全に係る情報は、GRMIに連絡し、調査を行う。また、医療支援課と患者相談窓口・医療安全管理部合同会議を月1回開催し、情報を共有している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）

⑭ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
  1. 医療安全に関する講演会「医療安全とチームにおけるJCIの有用性」
  2. 医療安全に関する講演会「2014年度のインシデントを振り返って」×3回
  3. 医療安全に関する講演会「抗癌剤暴露の現状と対策」
  4. 医療安全に関する講演会「採血・穿刺時の神経損傷予防」
  5. 医療安全に関する講演会「法制化された医療事故調査制度」×3回
  6. 医療安全の日講演会「現代実践に活かす「臨床倫理」の考え方ー倫理的ジレンマを「個人の悩み」にしないためにー」
  7. 医療安全に関する講演会「B型肝炎活性化対策」×2回
  8. 医療安全に関する講演会「チーム医療と医療安全」

9. 医療安全に関する講演会「平成27年度 歯科インシデントより」  
10. 医療安全に関する講演会「PMDAによる医薬品の安全対策の基本的概念と実際」

今後、監査委員会からの意見も研修として実施する予定である。  
新たに研修後の理解度を確認するためアンケート形式のテスト等を行い学習効果を測定する予定である。また、e-learningについては、各種のモニタリング結果から必要な内容を追加・改訂していく予定である。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

厚生労働省でも企画を予定している研修及び国立大学附属病院長会議で予定している研修等を受講予定である。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構，平成26年1月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要 広報誌およびウェブサイトにて、本院の理念と目標、地域の中核としての役割、先進的な医療に関する情報提供などを行なっている。  また、市民公開講座を主催し、地域社会へ医療に関する最新情報の提供を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 診療科間の連携についてのルールが整備されており、他診療科への受診依頼、依頼先においての検査結果等の患者情報が電子カルテを通して共有されている。患者の情報が不足している場合は補足説明を電話で直接行う等により緊密かつ緊急に連携できる体制を整えている。	

(様式第 8)

海大第 1081 号  
平成 28 年 10 月 25 日

厚生労働大臣 殿

北海道大学総長 山口 佳三 (印)

北海道大学病院逆紹介率の向上に関する年次計画について

標記について、医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 20 第 6 号口及び第 7 号口の規定に基づき、次のとおり提出します。

記

1 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	84.7 %	逆紹介率	48.2 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,477 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,739 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	649 人	
	D: 初診の患者の数	20,210 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

2 紹介率及び逆紹介率向上のための基本方針と向上のための具体的な予定措置

(注) 「紹介率」又は「逆紹介率」のうち、承認要件を満たしていないものについてのみ記載すること。

### 3 年次計画

#### (1) 紹介率

計画期間	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日	
年次目標紹介率	第1年度 (平成 年度)			・ %
	第2年度 (平成 年度)			・ %
	第3年度 (平成 年度)			・ %
	第4年度 (平成 年度)			・ %
	第5年度 (平成 年度)			・ %

(注)「紹介率」が、承認基準を満たしていない場合についてのみ記載すること。

#### (2) 逆紹介率

計画期間	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日	
年次目標紹介率	第1年度 (平成 年度)			・ %
	第2年度 (平成 年度)			・ %
	第3年度 (平成 年度)			・ %
	第4年度 (平成 年度)			・ %
	第5年度 (平成 年度)			・ %

(注)逆紹介率が、承認要件を満たしていない場合についてのみ記載すること。

(様式第 8)

海大第 1082 号  
平成 28 年 10 月 25 日

厚生労働大臣 殿

北海道大学総長 山口 佳三 (印)

北海道大学病院の専門の医師の配置に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 専門性に関する資格を有する医師数 (平成 28 年 6 月 1 日現在)

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	55人	眼科専門医	16人
外科専門医	52人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	17人	放射線科専門医	38人
小児科専門医	35人	脳神経外科専門医	22人
皮膚科専門医	15人	整形外科専門医	32人
泌尿器科専門医	14人	麻酔科専門医	29人
産婦人科専門医	23人	救急科専門医	13人
		合計	376人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

2 専門の医師の必要数

専門性に関する資格を有する医師の必要数	212人
---------------------	------

(注) 医療法施行規則第二十二條の二第一号の規定による医師の配置基準数の半数を記入すること。

3 専門の医師を配置するための予定措置

--

(様式第 8)

海大第 1083 号  
平成 28 年 10 月 25 日

厚生労働大臣 殿

北海道大学総長 山口 佳三 (印)

北海道大学病院の論文発表等の向上に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 論文発表等の実績

英語による発表論文数	435 件
------------	-------

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資すると判断されるものの数を記入すること。

(注) 2 対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る）。

2 論文発表等を向上するための具体的な予定措置

<p>院内各部門に臨床研究マネージャーを配置し、臨床研究の推進と、研究成果の発表の促進について、臨床研究マネージャー連絡会議にて周知している。</p> <p>また、臨床研究を基に発表された論文について、定期的に調査し、集約して一元的に管理している。このうち、特定臨床研究に基づく論文発表がなされた場合には、「北海道大学病院特定臨床研究報奨金等取扱要領」に基づき、筆頭著者及び所属診療科等に対して報奨金の支給を実施し、さらなる研究の促進を行っている。</p>
--

(様式第 8)

海大第 1084 号  
平成 28 年 10 月 25 日

厚生労働大臣 殿

北海道大学総長 山口 佳三 (印)

北海道大学病院の昨年度の業務報告において提出した年次計画の経過について

標記について、医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 20 第 6 号口及び第 7 号口の規定に基づき、次のとおり提出します。

記

1 提出した年次計画の項目

① 紹介率・逆紹介率 ② 標榜する診療科 ③ 専門の医師の配置 ④ 論文発表

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 昨年度および今年度の実績

昨年度提出した年次計画書での報告事項 (実績及び予定措置)	今年度の実績及び承認要件を満たしていない場合の理由

(注) 1 左欄には、昨年度の業務報告において様式第 8 として報告した事項を記載すること。

2 右欄には、今年度の実績及び、承認要件を満たしていない場合はその理由を記載すること。

3 今後の具体的措置

--

(注) 本年度も承認要件を満たしていない場合、2 で記載した事項以外の更なる措置を記載すること。

(様式第 8)

番 号  
平成 28 年 10 月 日

厚生労働大臣 塩 崎 恭 久 殿

北海道大学総長  
開設者名 山 口 佳 三 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

### 記

#### 1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

○平成 28 年 10 月 1 日付け

病院長から南須原医療安全管理部長を病院長補佐（医療安全管理責任者）に任命し、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させる。

病院長を長とする「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」において、病院長が新たに病院長補佐（医療安全管理責任者）を指名し、南須原医療安全管理部長（医療安全管理責任者）が当該役職に任命され、病院執行部に入ることが決定した。9 月に開催される病院執行会議で報告を行い、10 月 1 日付けで任命する予定である。

#### 2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品安全管理体制専門委員会の委員長が、医薬品安全管理責任者を担うことになっており、すでに医薬品安全管理責任者として活動している。

薬剤部において、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外、禁忌等の処方に係る確認等については、薬剤師を指名して同様の業務は既に実施しているが、医療法の一部改正により、法律に基づいて業務を行うことから、適用外使用の把握等の詳細を薬剤部及び医療安全管理部において確認している。

#### 3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

秋田副病院長を責任者として配置した。（7 月 13 日：特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング）

インフォームド・コンセントは説明内容を診療録に記載する等、診療録と密接な関係にあるため診療録管理室長（秋田副病院長）を責任者として配置した。

#### 4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

インフォームド・コンセントについては、既に院内のマニュアルがあり、マニュアルに沿って実施している。今後は、診療録管理室が現状のモニタリングを行い、指導等を行う予定である。

また、説明する機会も増えていることから、関連部門（各診療科・看護部）・医療安全管理部と協議してマニュアルの改正等（要項を含む）があれば、院内職員に周知する予定である。

#### 5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

秋田副病院長（診療録管理室長）を責任者として配置した。（7月13日：特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング）

現在、診療録管理室と医療安全管理部が連携して診療録点検を年1回行っている。結果をモニタリング、各診療科へ指導、全体評価と強化ポイントをリスクマネジャー連絡会議で報告している。今後は、点検方法やモニタリング項目に問題が無いか確認し、診療録等の管理を行っていく予定である。

#### 6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

現在、全死亡症例を医療安全管理部において把握しているが、能動的に報告するシステムを9月中に構築する予定である。

管理者が定めるインシデントのレベル3b以上（国立大学附属病院医療安全管理協議会）の事象報告は従来から実施しており、医療安全管理部から病院長へ報告している。

#### 7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

北海道大学「公益通報・コンプライアンス通報窓口」があり、全職員に対し連絡先等のパンフレットを配布している。

再度、リスクマネジャー連絡会議等で、職員に周知を行っている。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握で例示されている、手術時の血栓予防対策実施率のモニタリング等については、平成 29 年度末までにはモニタリング項目を具体化し実施していく予定である。

また、職員の研修参加はこれまでどおりモニタリングを行い、研修受講状況の把握と出席を促す活動を継続していく。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

当院では、倫理委員会、自主臨床研究審査委員会及び治験審査委員会等様々な委員会でやっているが、現在、高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置及び高難度新規医療技術評価委員会を設置するため、病院長を長とする「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」を開催している。

平成 29 年 3 月末までに、高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門と委員会を設置する。それまでは、既存の委員会で審議を行う。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

病院長を長とする「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」を開催しており、平成 29 年 3 月末までには、高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門と委員会を設置する予定である。併せて、従業者が遵守すべき事項、設置される部門が確認すべき事項等の規程（要項含む）を平成 29 年 3 月末までに作成する予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための  
予定措置

当院では、倫理委員会、自主臨床研究審査委員会及び治験審査委員会等様々な委員会で  
行っているが、現在、未承認新規医薬品等の使用条件、使用の適否等を決定する部門の設  
置及び未承認新規医薬品等評価委員会を設置するため、病院長を長とする「特定機能病院  
の承認要件の見直しに関するワーキング」を開催している。それまでは、既存の委員会で  
審議を行う予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承  
認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を  
定めた規程を作成するための予定措置

病院長を長とする「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」を開催して  
おり、平成 29 年 3 月末までには、未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を  
決定する部門と委員会を設置する予定である。併せて、従業者が遵守すべき事項、設置さ  
れる部門が確認すべき事項等の規程（要項含む）を平成 29 年 3 月末までに作成する予定で  
ある。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

病院長を長とする「特定機能病院の承認要件の見直しに関するワーキング」において、  
監査委員会の委員の要件等の確認を行った。今後は、開設者と確認しながら委員の選出、  
規程の整備を行い、来年度から開設者が監査委員会を設置して、外部監査を受ける予定で  
ある。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予  
定措置

他の特定機能病院の管理者との連携による立入り等の方法や内容については、厚生労働  
省から示すと説明を受けているが、未だ示されていないのが現状である。  
今後、厚生労働省から示される立入の方法等の内容を参考に来年度から行う予定である。

#### 15. 職員研修を実施するための予定措置

職員研修については既に行っているが、新しく設置する予定の監査委員会からの意見も研修として実施する予定である。

来年度から新たに研修後の理解度を確認するためにアンケート形式のテスト等を行い学習の効果測定する予定である。

e-learning については、各種のモニタリング結果から必要な内容を追加・改訂していく予定である。

#### 16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

厚生労働省でも企画する予定と説明を受けているが、国立大学附属病院長会議で研修の実施を検討していることから、来年度から参加させる予定である。

#### 17. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名

うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（ ）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

#### 18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医療安全管理部に配置している医師、薬剤師等の専従について確認を行い、整備を行った。9月から配置済である。